

## 第3章 調査結果

---

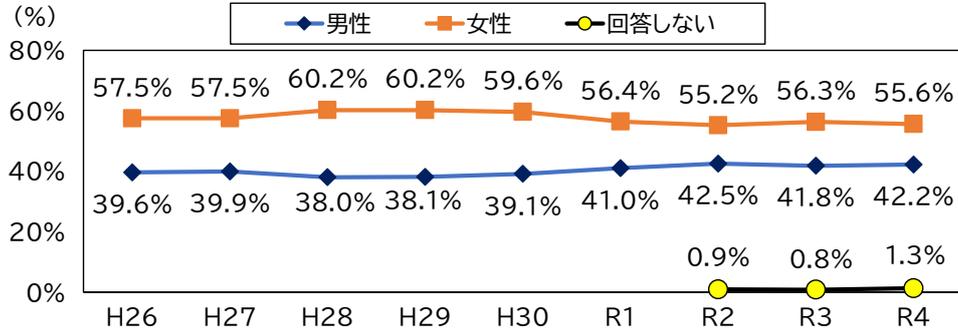


1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

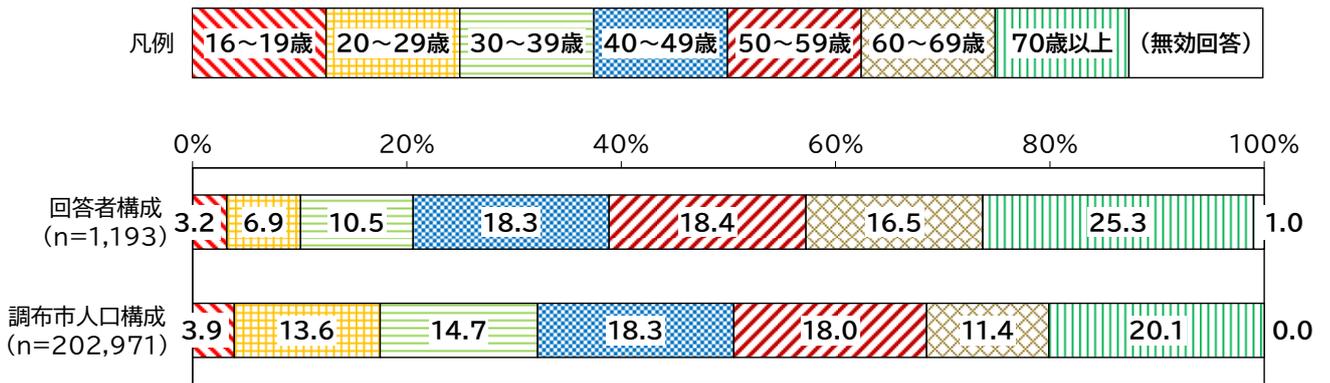
ア 性別

○回答者の性別構成比は、過去の傾向と同様、女性が男性を上回っています。



イ 年齢層別

○回答者の年齢層別構成比は、令和4年10月1日現在の16歳以上の調布市人口（日本人のみ）と比べて、30歳代までは低い一方、50歳代以上は高くなっています。



ウ その他

○回答者のその他の属性の特徴は以下のとおりです。

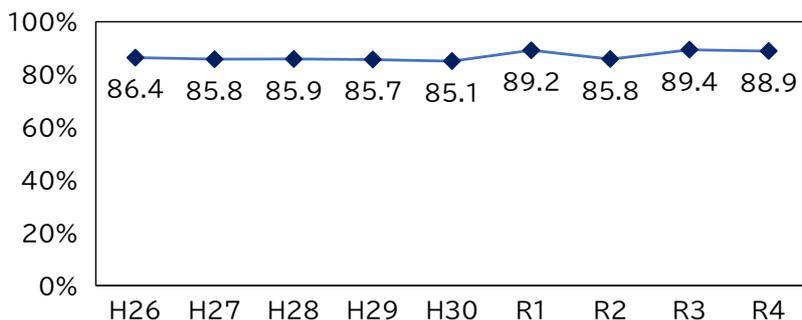
【図表 各属性において割合が高い上位3項目】

属性	割合が高い回答		
	第1位	第2位	第3位
職業	商業・サービス業系などの会社員	(同率2位)	
		派遣・契約・嘱託社員, パート・アルバイト	無職
	20.8%	18.7%	18.7%
通勤(就業)・ 通学先	東京23区内	市内(自宅以外)	多摩地域 (東京23区・島しょを除く地域)
		43.8%	21.7%
住居形態	一戸建て(持ち家)	集合住宅(分譲)	集合住宅(賃貸)
		42.3%	25.8%
居住年数	30年以上	10年以上20年未満	20年以上30年未満
		30.0%	21.5%
前居住地	東京23区内	多摩地域 (東京23区・島しょを除く地域)	その他 (東京都島しょ以外の関東を除く)
		37.5%	22.8%

### 第3章 調査結果<結果の概要>

#### (2) 今後の定住意向

○調布市に住み続けたい人（「住み続けるつもりである」＋「事情が許せば住み続けたい」）は88.9%であり、令和3年度より0.5ポイント減少しています。



#### (3) 市政全般に対する満足度・優先度

##### ア 現在の満足度

<満足度・不満足度が高い項目>

○市民が普段のくらしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する満足度※（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）を見ると、昨年度に引き続き、「日常の買い物の便利さ」が第1位となり、第11位であった「窓口・電話における職員の対応」が第5位となっています。

○一方、不満足度（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）において、第1位は昨年度に引き続き「道路の整備」、第2位は「既設道路の維持管理」であるなど、第1位から第5位まで全て昨年度と同じ項目及び順位となっています。

【図表 満足度及び不満足度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	令和3年度 順位/割合 (%)
満足	1	日常の買い物の便利さ	82.2%	1位/83.3
	2	深大寺地域などの観光振興	81.3%	3位/80.9
	3	図書館	80.7%	4位/79.6
	4	ごみ処理	80.1%	2位/81.6
	5	窓口・電話における職員の対応	79.6%	11位/77.0
不満	1	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	40.9%	1位/41.5
	2	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	35.4%	2位/38.7
	3	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	32.9%	3位/34.3
	4	ホームページの見やすさ	27.0%	4位/27.5
	5	行政サービスのデジタル化の取組	25.5%	5位/26.9

※満足度は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の4段階で評価

## &lt;満足度の経年比較&gt;

- 全項目の満足度の平均値について経年推移を見ると令和4年度は昨年度と比較して0.5ポイント増加しています。また、直近5か年（平成29年度～令和3年度）の平均値を3.9ポイント上回っています。
- 満足度が、直近5か年（平成29年度～令和3年度）の平均値と比較して、増加したのは49項目で、10ポイント以上はありませんでした。また、減少したのは3項目で、10ポイント以上はありませんでした。

【図表 全項目の満足度の平均値】

H29	H30	R1	R2	R3	過去平均値 <sup>※</sup>	R4
59.0%	63.6%	69.0%	71.3%	70.0%	66.6%	70.5%

※一部、令和2年度から調査を開始した項目を含む

### 第3章 調査結果<結果の概要>

【図表 満足度の経年推移】

	項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	過去平均値 <sup>※1</sup>	R 4	増減 <sup>※2</sup> (ポイント)
基本目標 1	地震への災害対策	61.4%	59.9%	65.3%	69.4%	67.6%	64.7%	68.3%	3.6
	風水害などへの災害対策				65.3%	67.6%		63.9%	68.9%
	火災などへの消防対策	67.9%	70.3%	79.2%	75.6%	74.7%	73.5%	75.2%	1.7
	防犯対策	62.1%	64.5%	70.7%	69.2%	70.2%	67.3%	70.2%	2.9
基本目標 2	子育て支援サービス	50.6%	59.4%	61.2%	64.7%	68.3%	60.8%	69.0%	8.2
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	49.0%	56.1%	58.4%	64.6%	64.0%	58.4%	65.9%	7.5
	小・中学校の教育	55.6%	62.5%	62.0%	63.9%	67.7%	62.3%	68.8%	6.5
	青少年の非行防止や健全育成対策	50.6%	59.0%	64.0%	65.4%	67.3%	61.3%	68.4%	7.1
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	44.6%	50.7%	54.5%	58.0%	60.5%	53.7%	62.7%	9.0
基本目標 3	高齢者の福祉	57.4%	61.8%	64.2%	70.7%	69.5%	64.7%	70.2%	5.5
	障害者の福祉	56.6%	59.8%	64.5%	69.5%	68.0%	63.7%	70.1%	6.4
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	50.6%	56.2%	62.3%	66.3%	66.3%	60.3%	67.1%	6.8
	健康診断などの保健サービス	65.5%	69.3%	73.2%	75.3%	74.8%	71.6%	77.6%	6.0
	医療体制の充実	64.9%	69.5%	72.6%	73.0%	70.6%	70.1%	71.3%	1.2
	共生社会の充実・バラハートちょうふの取組	-	-	-	-	69.4%	69.4%	71.1%	1.7
基本目標 4	図書館	69.1%	73.0%	77.9%	80.4%	79.6%	76.0%	80.7%	4.7
	公民館			74.8%	75.4%	74.3%	73.3%	74.4%	1.1
	たづくりを中心とした生涯学習	63.9%	69.4%	77.3%	77.6%	78.0%	73.2%	77.4%	4.2
	スポーツ振興	62.6%	69.4%	75.9%	77.2%	76.3%	72.3%	77.8%	5.5
基本目標 5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	55.9%	63.2%	67.7%	71.3%	69.5%	65.5%	68.8%	3.3
基本目標 6	日常の買い物の便利さ	71.3%	73.8%	82.0%	83.6%	83.3%	78.8%	82.2%	3.4
	市内工業・商業などの活力	53.4%	58.2%	63.5%	67.6%	66.6%	61.9%	67.7%	5.8
	市内中小企業に対する支援	49.2%	56.9%	61.6%	66.3%	67.8%	60.4%	66.9%	6.5
	深大寺地域などの観光振興	69.5%	75.9%	80.8%	81.4%	80.9%	77.7%	81.3%	3.6
	調布花火（映画のまち調布花火）	66.6%	71.2%	83.0%	81.5%	79.5%	76.4%	73.7%	-2.7
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	64.0%	69.0%	75.6%	78.2%	78.6%	73.1%	76.6%	3.5
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	67.2%	71.7%	78.3%	79.4%	79.4%	75.2%	77.9%	2.7
	歴史・文化財の保存や継承	65.6%	70.8%	77.9%	80.4%	79.1%	74.8%	79.5%	4.7
基本目標 7	街並み・景観	60.8%	63.3%	67.7%	74.7%	69.2%	67.1%	69.6%	2.5
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	60.2%	62.3%	69.1%	75.0%	71.5%	67.6%	70.3%	2.7
	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	63.9%	70.5%	53.8%	62.8%	58.4%	61.9%	57.9%	-4.0
	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	40.7%	45.5%	49.7%	53.5%	51.9%	48.3%	51.0%	2.7
	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）				58.6%	54.6%	49.8%	56.3%	6.5
基本目標 8	緑や自然環境の保全	68.7%	68.5%	78.1%	81.5%	76.1%	74.6%	77.7%	3.1
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	-	-	-	-	65.0%	65.0%	63.0%	-2.0
	公園や遊び場	56.7%	58.0%	65.2%	70.6%	66.8%	63.5%	68.1%	4.6
	ごみ処理	72.9%	74.2%	82.4%	82.8%	81.6%	78.8%	80.1%	1.3
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	67.4%	70.8%	80.5%	79.5%	78.8%	75.4%	76.8%	1.4
まちづくりの 基本理念を実現するために	平和・国際交流の取組	-	-	72.5%	75.5%	73.5%	73.8%	76.0%	2.2
	人権に関する啓発・相談	-	-	71.9%	73.8%	72.5%	72.7%	73.8%	1.1
	女性の社会参加・参画	56.4%	61.6%	67.9%	70.3%	68.4%	64.9%	71.4%	6.5
	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	-	-	-	-	67.4%	67.4%	68.2%	0.8
行革プラン 2019	市民参加と協働の取組	55.3%	60.6%	69.6%	72.2%	70.5%	65.6%	70.8%	5.2
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	-	-	70.3%	71.7%	71.6%	71.2%	72.0%	0.8
	ホームページの見やすさ	-	57.5%	62.8%	63.7%	60.8%	61.2%	61.8%	0.6
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	53.6%	58.9%	64.7%	68.4%	68.8%	62.9%	68.6%	5.7
	窓口・電話における職員の対応	64.7%	69.7%	74.8%	76.5%	77.0%	72.5%	79.6%	7.1
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	49.9%	55.0%	60.9%	64.8%	64.1%	58.9%	67.2%	8.3
	行政サービスのデジタル化の取組	-	-	-	-	60.5%	60.5%	61.6%	1.1
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-	58.2%	63.1%	67.8%	64.6%	63.4%	67.1%	3.7
	行政評価の取組	50.8%	55.8%	61.5%	66.1%	63.4%	59.5%	65.5%	6.0
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	47.7%	53.4%	58.0%	63.1%	61.1%	56.7%	63.3%	6.6

※1 平成29年度～令和3年度の平均値

※2 令和4年度の実績値から過去5年間の平均値を引いた値です。

## イ 今後の優先度

<優先度が高い項目>

○市民が普段のくらしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する優先度<sup>※1</sup>（「最優先かつ重点的に取り組むべきである」＋「優先して取り組むべきである」）を見ると、昨年度と同様「地震への災害対策」が第1位となっています。次いで、第2位は「風水害などへの災害対策」、第3位は昨年度第8位だった「子育て支援サービス」となっています。

【図表 優先度が高い上位5項目／他の取組を優先する上位5項目】

	順位	項目	割合	令和3年度 順位/割合(%)
優先 <sup>※2</sup>	1	地震への災害対策	61.1%	1位/63.9
	2	風水害などへの災害対策	57.8%	2位/59.6
	3	子育て支援サービス	54.4%	8位/48.9
	4	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	52.9%	5位/50.4
	5	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	52.1%	11位/46.4
他を優先 <sup>※3</sup>	1	公民館	69.3%	1位/68.6
	2	スポーツ振興	66.6%	3位/66.8
	3	たづくりを中心とした生涯学習	66.2%	4位/66.7
	4	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	65.9%	2位/67.3
	5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	64.7%	6位/65.4

※1 優先度は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」の4段階で評価

※2 「優先」は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」で評価

※3 「他を優先」は、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」で評価

### 第3章 調査結果<結果の概要>

#### (4) まちづくり指標

- 基本計画のまちづくり指標に該当している 29 指標 31 項目のうち、令和 4 年度時点で目標値を達成している項目は 7 項目となりました。
- 現状値と目標値の差が 10 ポイント以上ある指標は、「災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡方法を決めている市民の割合」、「地域包括支援センターを知っている高齢者の割合」、「健康だと感じている市民の割合」、「定期的にがん検診を受けている市民の割合」、「1 年間に生涯学習をした人の割合」、「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」、「地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合」、「地域活動に参加している市民の割合」、「1 年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」、「中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合」、「バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合」、「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」「戦争についての話をしたり、聞いたりしたことのある市民の割合」になります。
- 現状値と目標値の差が 5 ポイント以内の指標は、「子育て支援サービスに満足している市民の割合」、「運動を週に 1 回以上行っている市民の割合」、「市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合」、「住みやすいと感じている市民の割合」、「深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合」になります。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差】

基本目標	施策		調査結果					目標値 (R4年度)	現状値と 目標値 の差
			H30年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度 (現状値)	R2～4年度 平均値		
基本目標1	施策01	災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡方法を決めている市民の割合	71.4%☆	55.5%	54.9%	54.2%	54.9%	75.0%	▲20.8
		避難所 連絡方法	60.5%☆	60.0%	60.6%	58.1%	59.6%	70.0%	▲11.9
	施策02	治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	83.3%	83.7%	83.2%	82.5%	83.1%	90.0%	▲7.5
基本目標2	施策04	子育て支援サービスに満足している市民の割合	59.4%	64.7%	68.3%	69.0%	67.3%	70.0%	▲1.0
	施策04	子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	37.6%	47.5%	49.8%	43.9%	47.1%	50.0%	▲6.1
基本目標3	施策08	地域包括支援センターを知っている高齢者の割合	56.3%	53.3%	56.3%	51.5%	53.7%	65.0%	▲13.5
	施策12	健康だと感じている市民の割合	74.1%	71.1%	72.4%	69.8%	71.1%	80.0%	▲10.2
	施策12	定期的にがん検診を受けている市民の割合	58.0%	45.7%	50.8%	47.1%	47.9%	60.0%	▲12.9
基本目標4	施策13	1年間に生涯学習をした人の割合	38.6%	24.3%	28.4%	28.1%	26.9%	40.0%	▲11.9
	施策13	社会教育施設の満足度							
		図書館	68.3%☆	80.4%	79.6%	80.7%	80.2%	75.0%	5.7
	公民館	41.2%☆	75.4%	74.3%	74.4%	74.7%	50.0%	24.4	
施策13	学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	19.3%	13.4%	14.4%	13.8%	13.9%	25.0%	▲11.2	
基本目標5	施策14	運動を週に1回以上行っている市民の割合	63.9%	60.6%	71.0%	68.9%	66.8%	70.0%	▲1.1
	施策15	地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合	35.8%	31.1%	26.1%	25.7%	27.6%	50.0%	▲24.3
	施策15	地域活動に参加している市民の割合	26.4%	16.8%	15.7%	15.3%	15.9%	33.0%	▲17.7
基本目標6	施策16	日常の買い物に便利と感じている市民の割合	73.8%	83.6%	83.3%	82.2%	83.0%	80.0%	2.2
	施策17	「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	69.0%	78.2%	78.6%	76.6%	77.8%	75.0%	1.6
	施策18	市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合	56.0%	52.7%	52.4%	56.1%	53.7%	60.0%	▲3.9
基本目標7	施策19	1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合	53.9%	42.6%	49.9%	43.6%	45.4%	60.0%	▲16.4
	施策21	住みやすいと感じている市民の割合	93.0%	94.1%	93.0%	93.8%	93.6%	95.0%	▲1.2
	施策21	市内に優れた景観があると感じている市民の割合	82.5%	82.1%	82.7%	81.9%	82.2%	90.0%	▲8.1
	施策22	中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	67.8%	68.1%	68.3%	68.8%	68.4%	80.0%	▲11.2
	施策22	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	67.0%	70.9%	71.1%	70.3%	70.8%	80.0%	▲9.7
	施策22	深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.0%	89.6%	88.2%	89.4%	89.1%	90.0%	▲0.6
	施策23	バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	51.7%	49.1%	50.3%	52.7%	50.7%	65.0%	▲12.3
	施策23	空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合※1	-	61.4%	71.2%	72.7%	68.4%	80.0%	▲7.3
	施策24	自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合※2	72.0%	64.9%	59.6%	60.9%	61.8%	75.0%	▲14.1
	施策24	普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合	58.6%(徒歩)☆	65.5%(徒歩)	62.1%(徒歩)	63.8%(徒歩)	63.8%(徒歩)	60.0%(徒歩)	3.8
基本目標8	施策25	市内の公共交通機関(電車・バス)を利用しやすいと感じている市民の割合	76.3%	80.6%	77.5%	78.5%	78.9%	77.0%	1.5
	施策29	騒音や悪臭などの公害対策について不満を感じる市民の割合	19.5%	13.4%	14.2%	14.4%	14.0%	20.0%	▲5.6
施策30	戦争についての話をしたり、聞いたりしたことのある市民の割合	84.9%	79.8%	81.0%	77.8%	79.5%	90.0%	▲12.2	

※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(調査期間:H30.12.28～H31.1.18)」による把握値

※目標値を達成した項目は、網掛け表示しています。

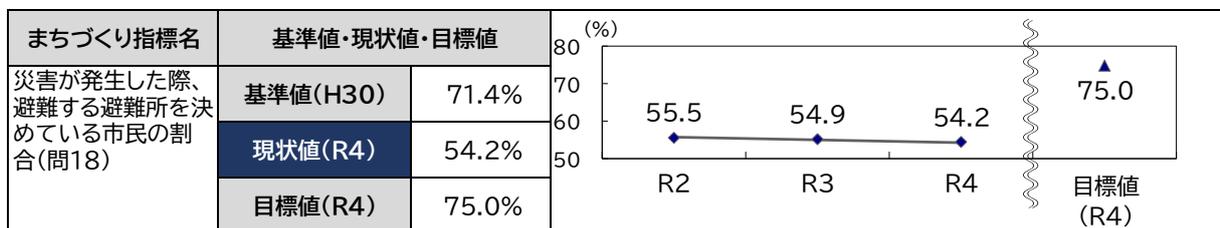
※1「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」は、基本計画(令和元年度～

令和4年度)のまちづくり指標として新たに設定した指標で、令和元年度調査から現状値を把握しました。

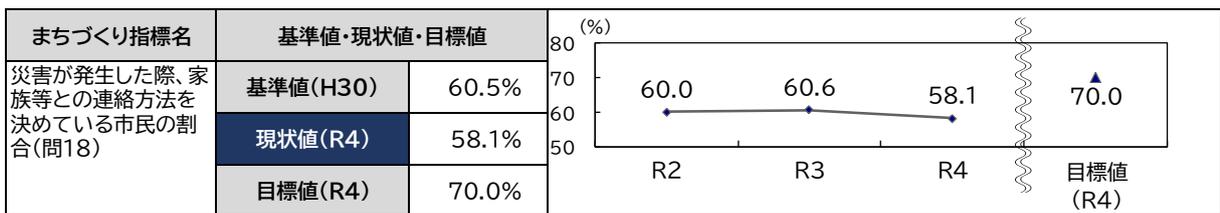
※2「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」は、基本計画(令和元年度～令和4年度)のまちづくり指標として新たに設定した指標で、平成30年度に新設した「自宅などから目的地に向かうときに市内を円滑に移動できる道路が備わっていると思いますか。」という質問項目を、「市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。」に更新し、調査した結果です。

○令和3年度から令和4年度にかけて5ポイント以上減少した指標は、「子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」、「1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」になります。

施策01 災害に強いまちづくり

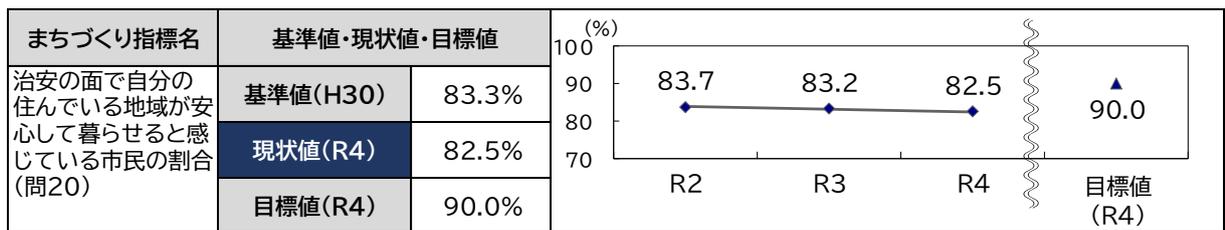


※指標の算出方法：「十分に組み組んでいる」「少し組み組んでいる」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「十分に組み組んでいる」「少し組み組んでいる」と回答した人の割合

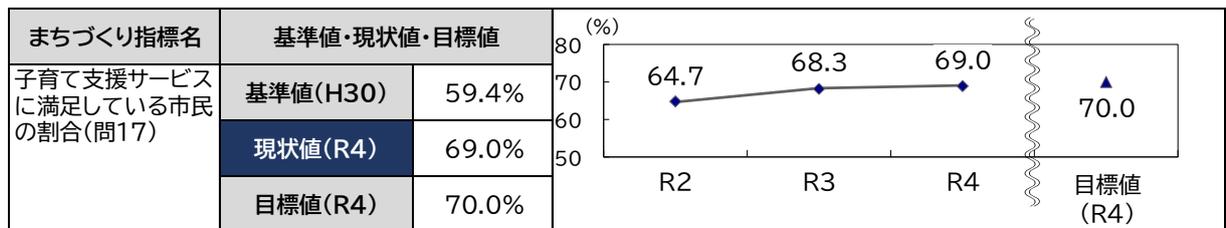
施策02 防犯対策の推進



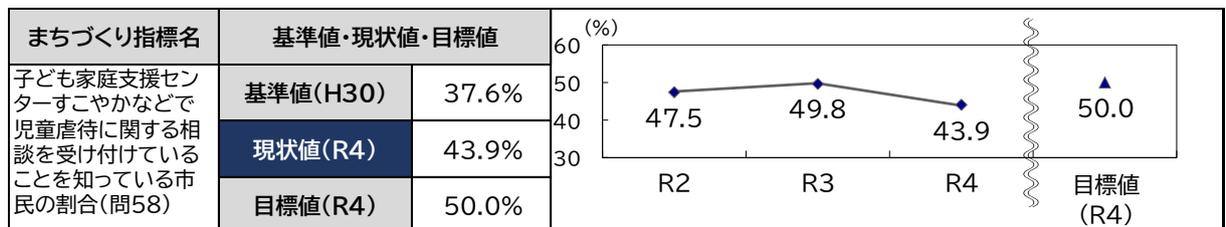
※指標の算出方法：「安心している」「どちらかといえば安心している」と回答した人の割合

### 第3章 調査結果<結果の概要>

#### 施策 04 子ども・子育て家庭の支援

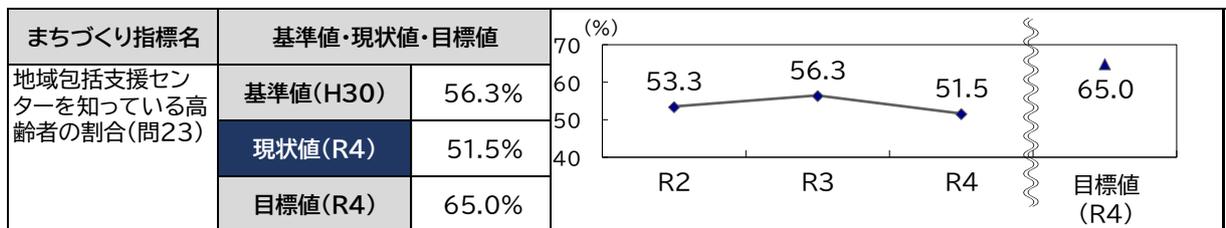


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



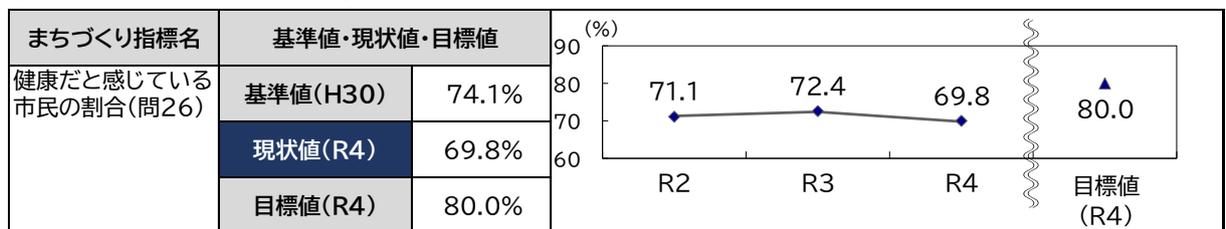
※指標の算出方法：「知っている」と回答した人の割合

#### 施策 08 高齢者福祉の充実

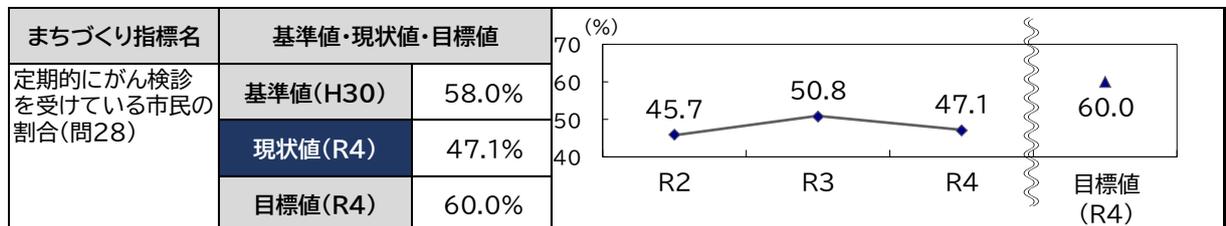


※指標の算出方法：65歳以上の回答者のうち、「知っている」と回答した人の割合

#### 施策 12 生涯を通した健康づくり

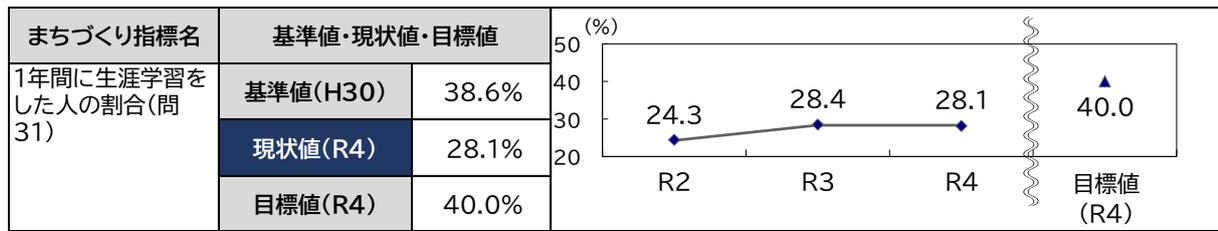


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

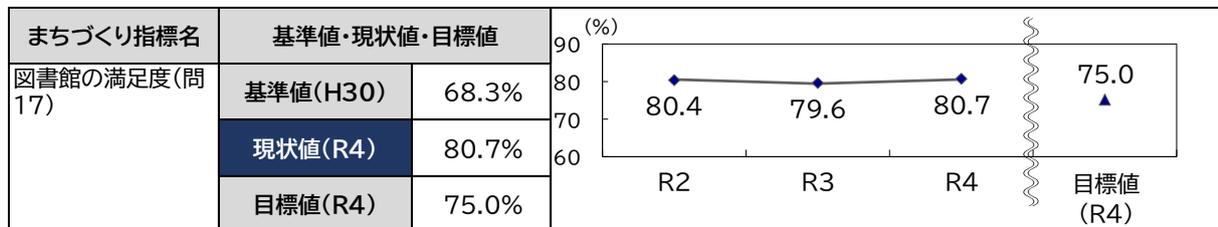


※指標の算出方法：「受けている」と回答した人の割合

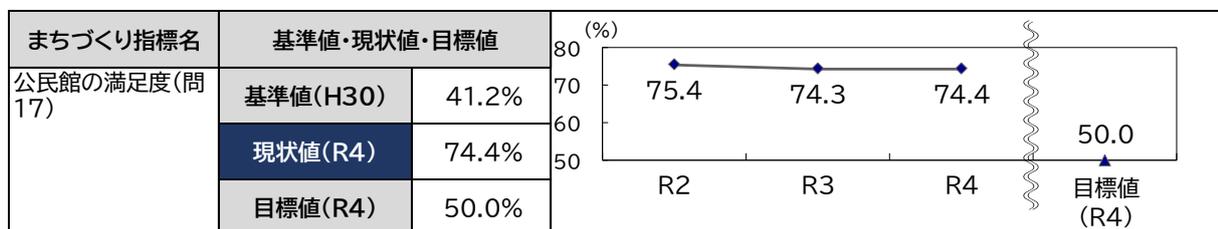
施策13 生涯学習のまちづくり



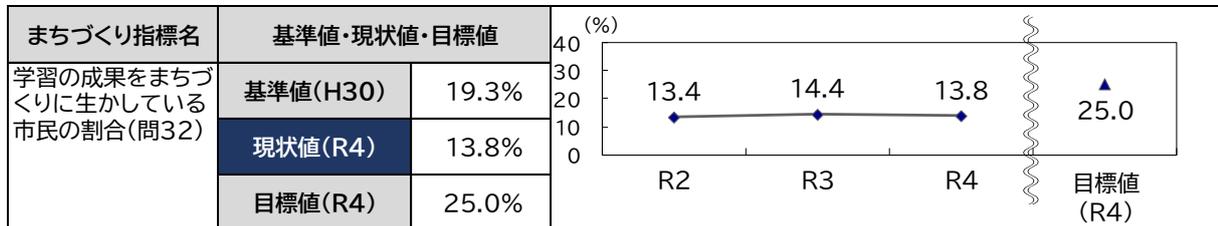
※指標の算出方法：「月1回以上取り組んだ」「年に数回程度取り組んだ」「年1回取り組んだ」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

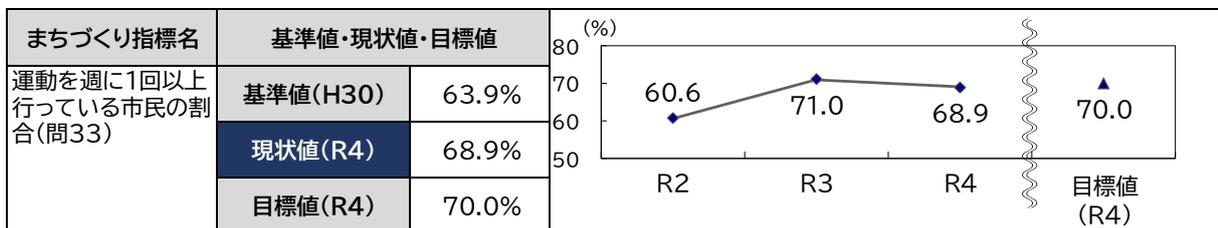


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答した人の割合

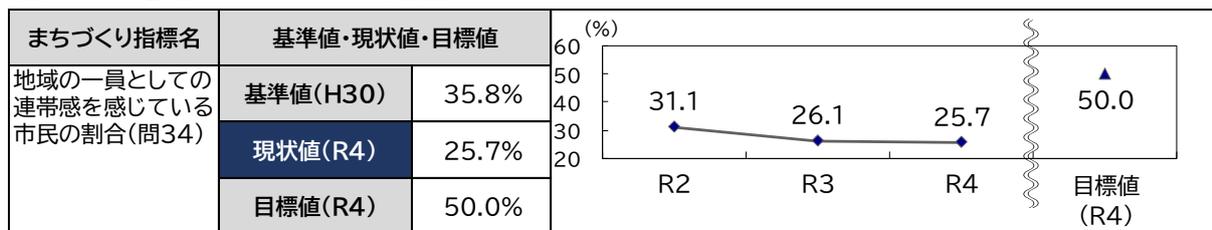
施策14 市民スポーツの振興



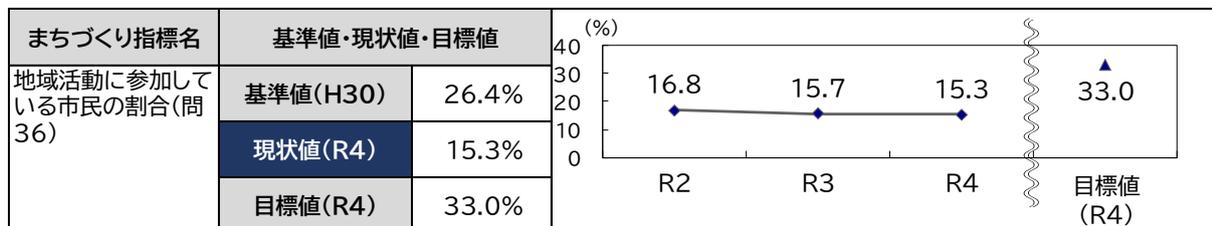
※指標の算出方法：「週2回以上している」「週1回程度している」と回答した人の割合

### 第3章 調査結果<結果の概要>

#### 施策15 地域コミュニティの醸成

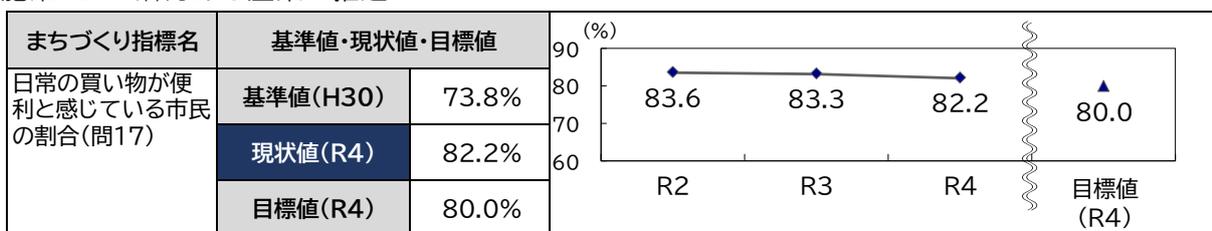


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合



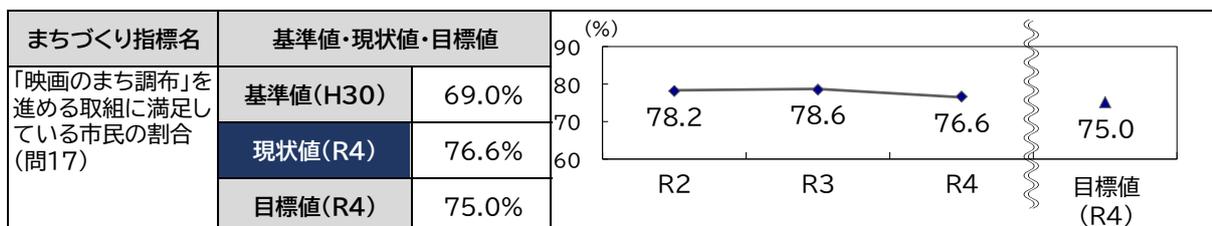
※指標の算出方法：「ほぼ毎日参加している」「週に1回程度参加している」「月に1回程度参加している」「年に数回程度参加している」と回答した人の割合

#### 施策16 活力ある産業の推進



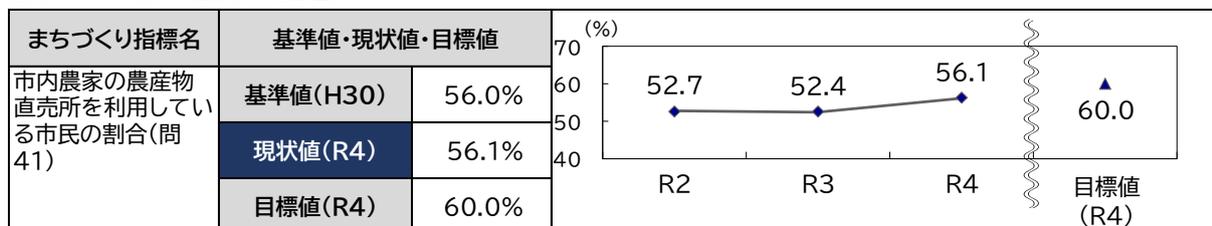
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

#### 施策17 魅力ある観光の振興



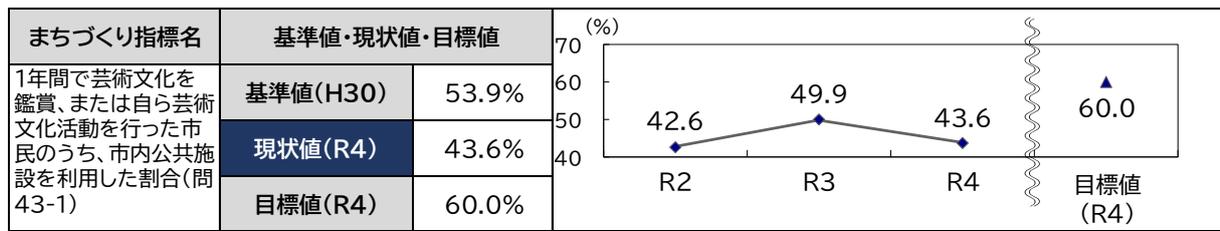
※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

#### 施策18 都市農業の推進



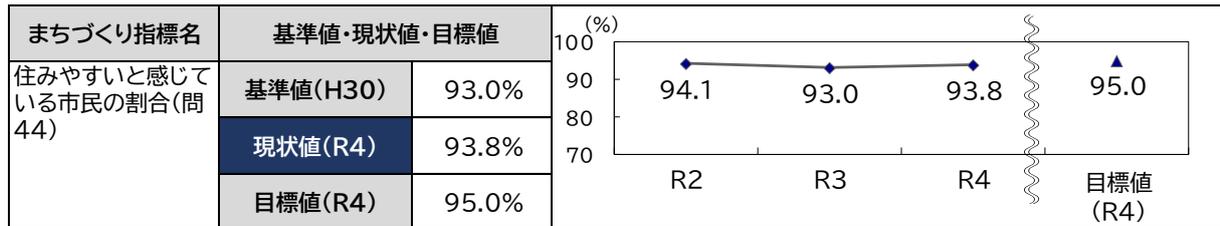
※指標の算出方法：「進んで利用している」「時々利用している」と回答した人の割合

施策 19 芸術・文化の振興

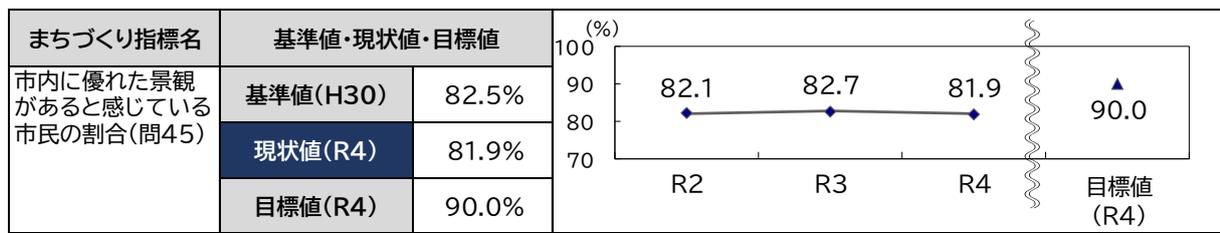


※指標の算出方法：問43で「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」と回答した人のうち、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設」と回答した人の割合

施策 21 良好な市街地の形成



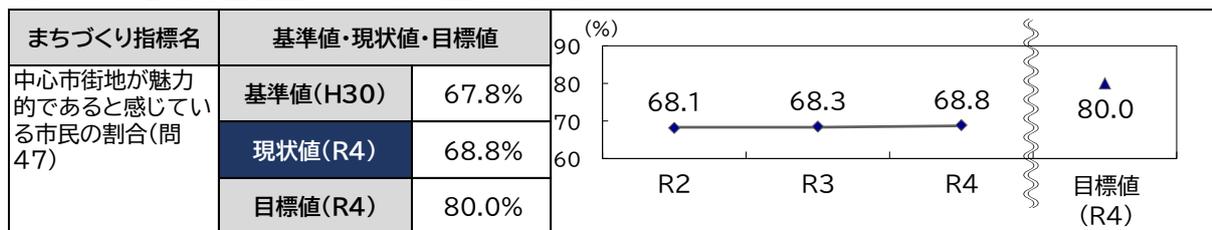
※指標の算出方法：「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合



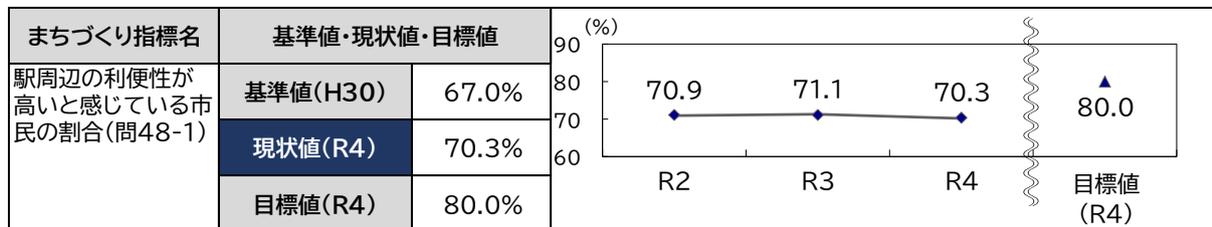
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

### 第3章 調査結果<結果の概要>

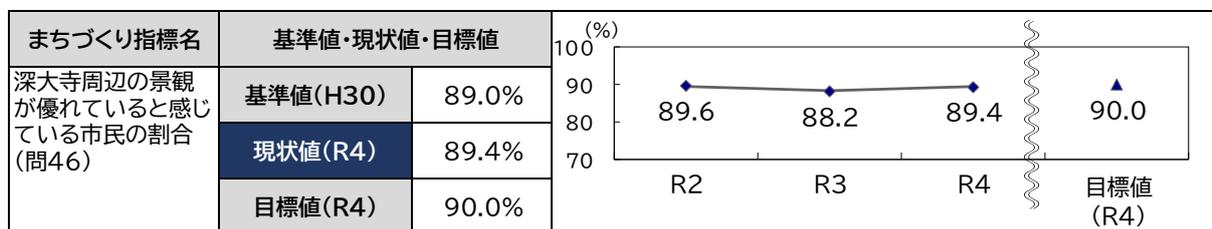
#### 施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成



※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

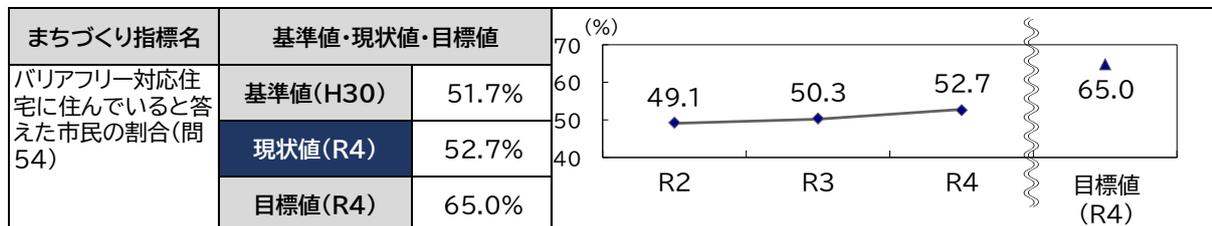


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

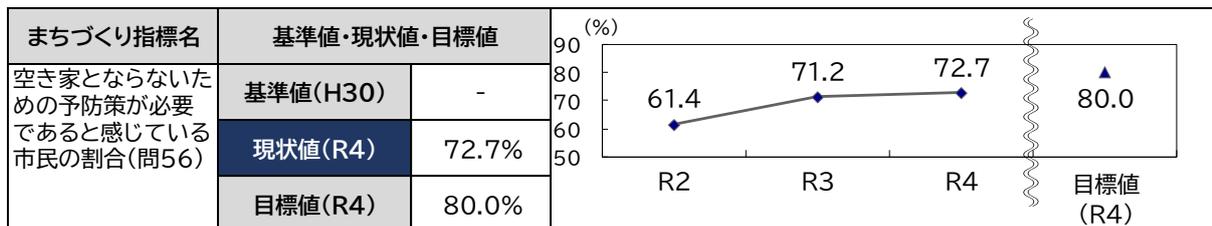


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

#### 施策 23 良好な住環境づくり

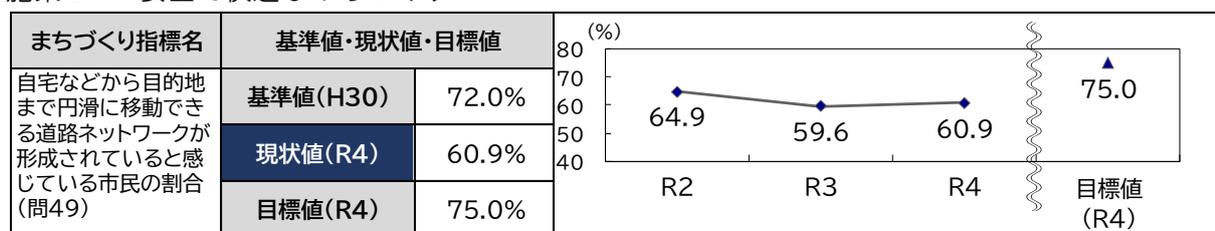


※指標の算出方法：「バリアフリー対応になっている」「一部、バリアフリー対応になっている」と回答した人の割合

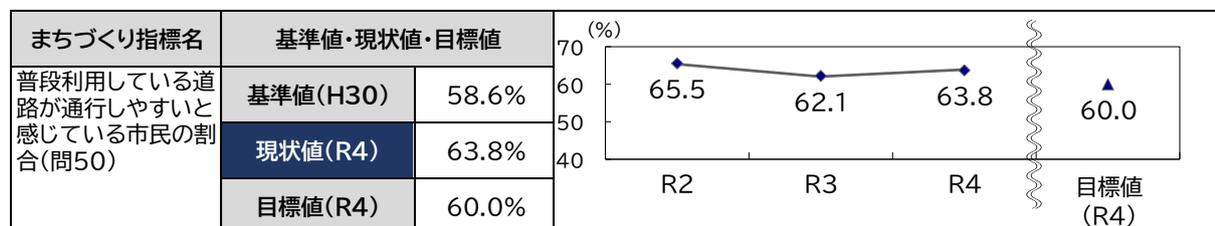


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 24 安全で快適なみちづくり

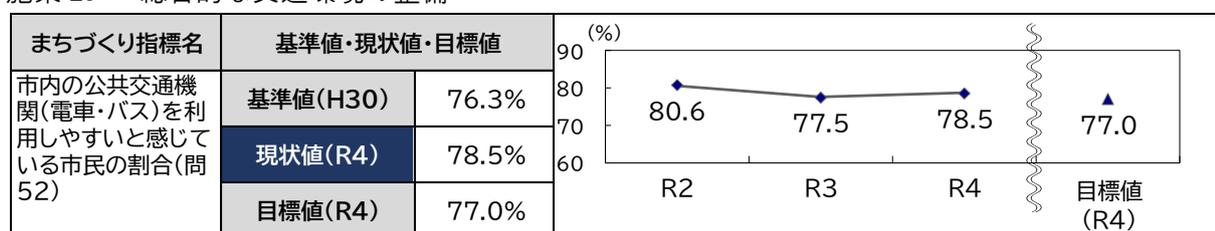


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



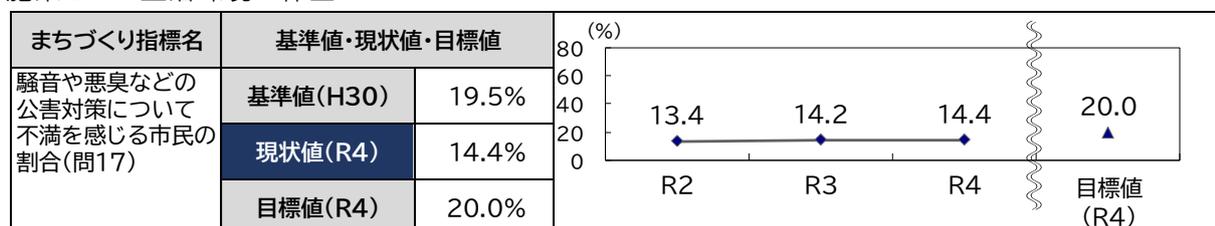
※指標の算出方法：「歩きやすい」「ある程度歩きやすい」と回答した人の割合

施策 25 総合的な交通環境の整備



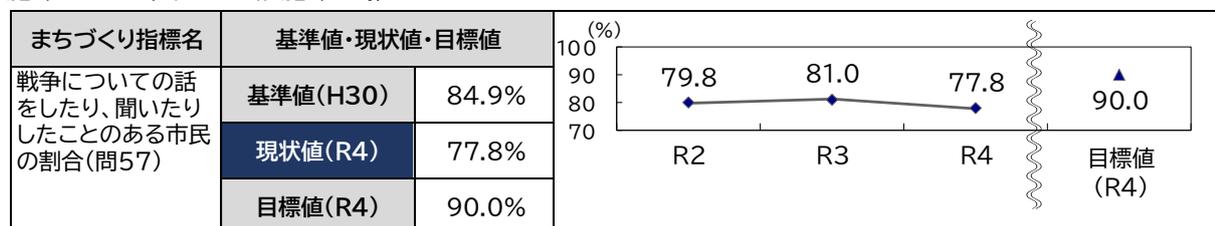
※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 29 生活環境の保全



※指標の算出方法：「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した人の割合

施策 30 平和・人権施策の推進



※指標の算出方法：「ある」と回答した人の割合

2 集計結果

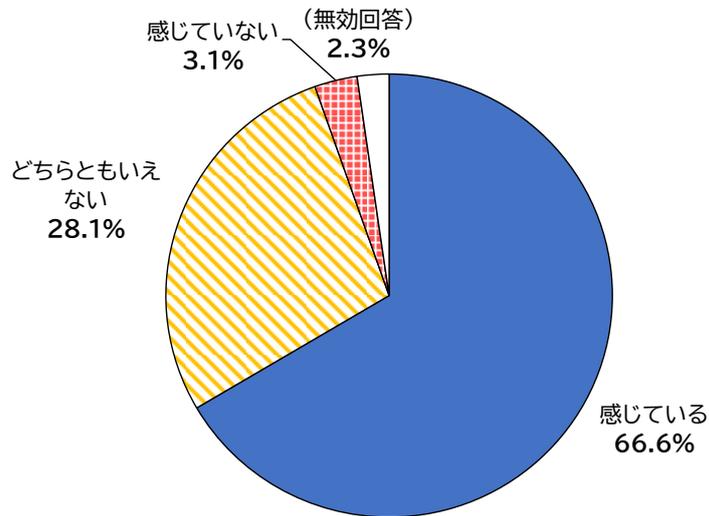
(1) まちの魅力と今後の定住意向

【今後の定住意向について】

問11) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。また、親しみや愛着を感じる場所はどなたところですか。

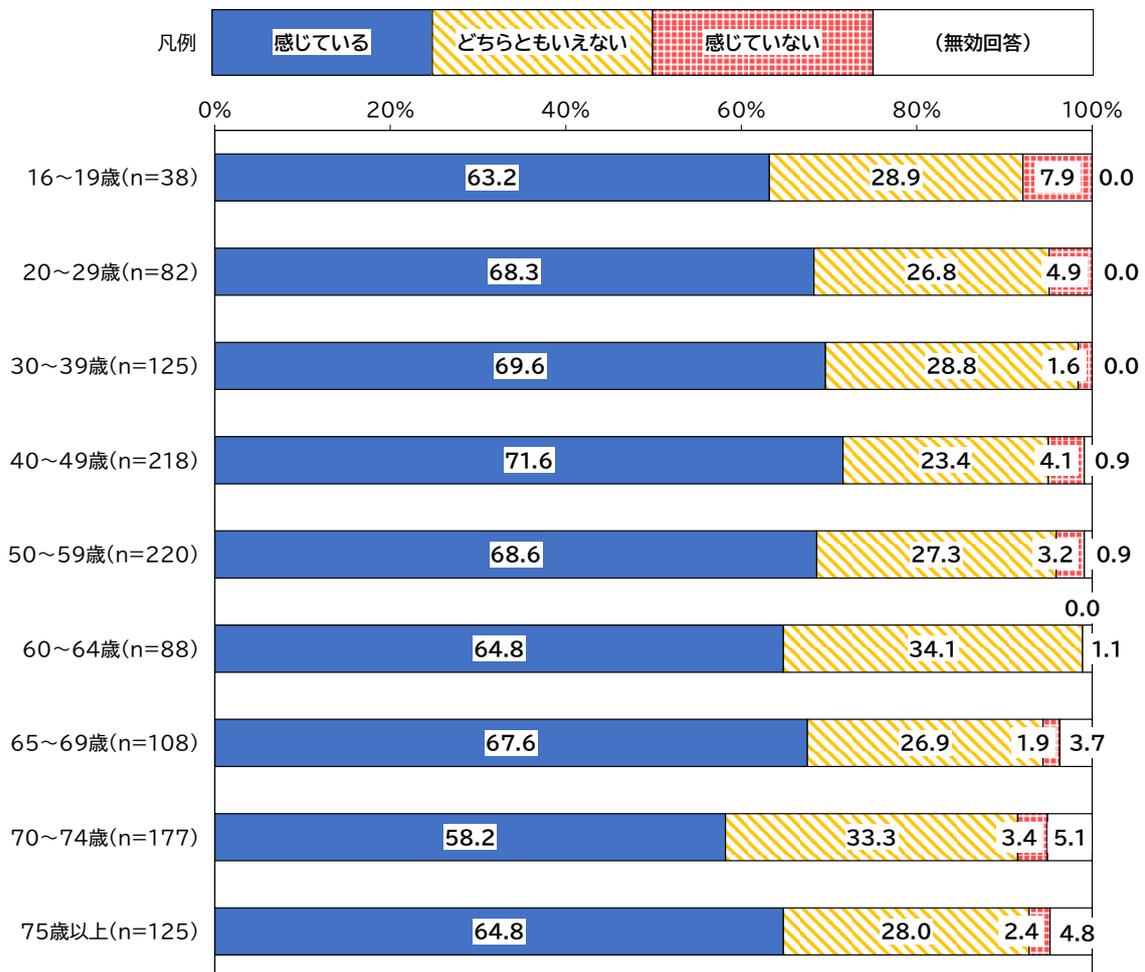
<全体 (n=1,193) >

○「感じている」が66.6%で、令和3年度(68.9%)に比べて2.3ポイント減少しています。



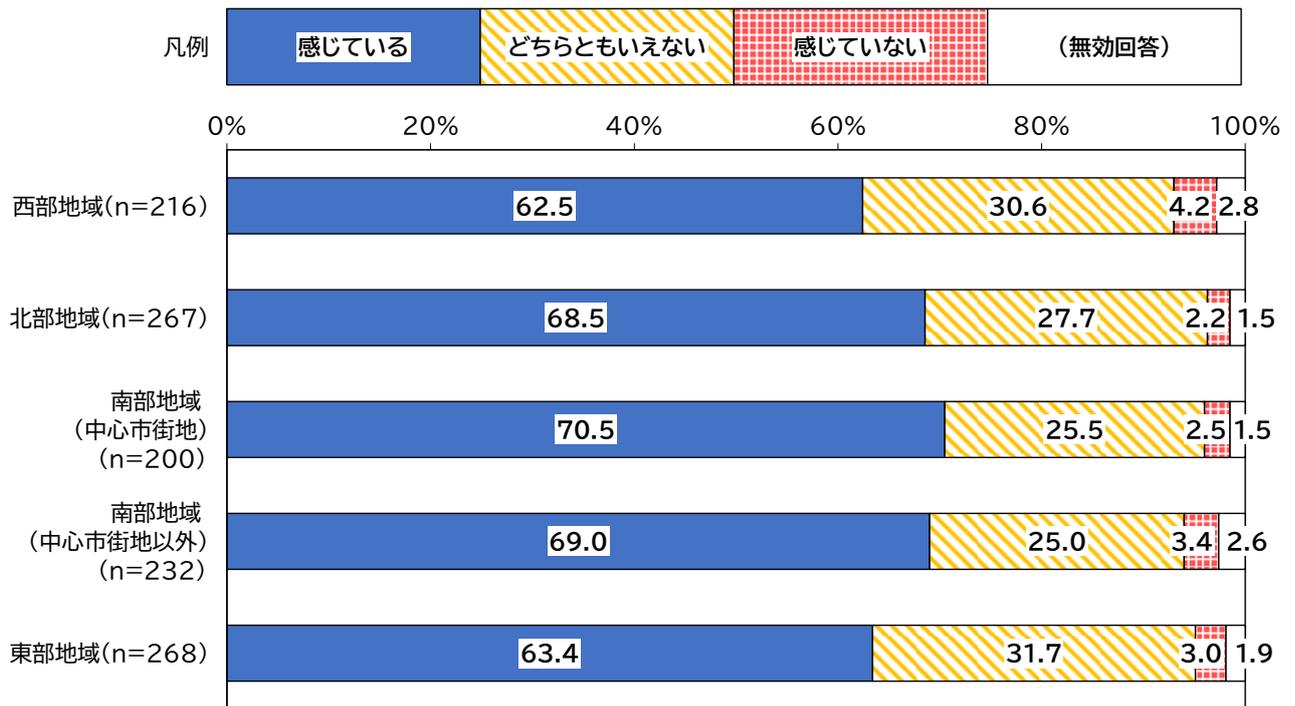
<年齢層別>

○どの年齢層でも「感じている」が半数を上回っています。



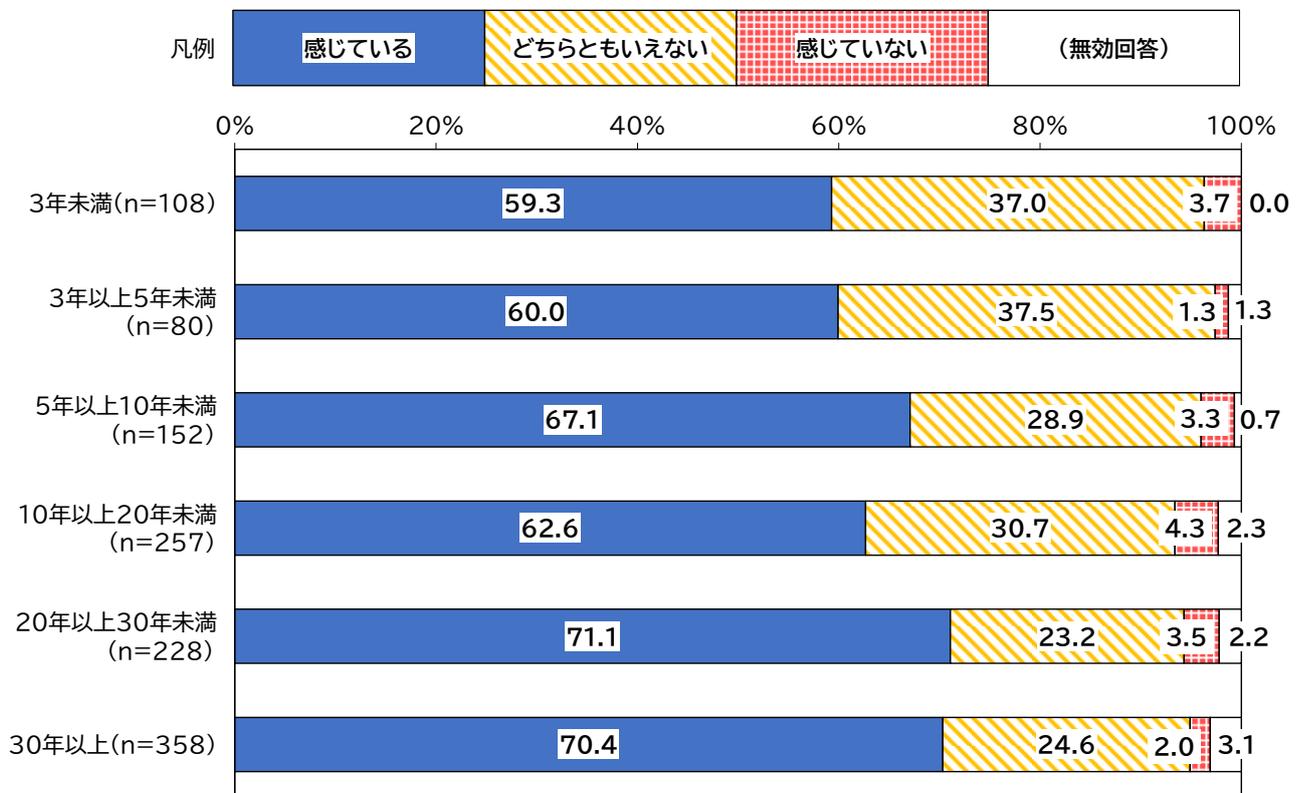
<地域別>

○いずれの地域でも、「感じている」が半数を上回っています。



<居住年数別>

○いずれも「感じている」が半数を上回っています。



問 11-1) 親しみや愛着を感じる場所はどんなところですか。

〈自由記述〉主な意見を抜粋

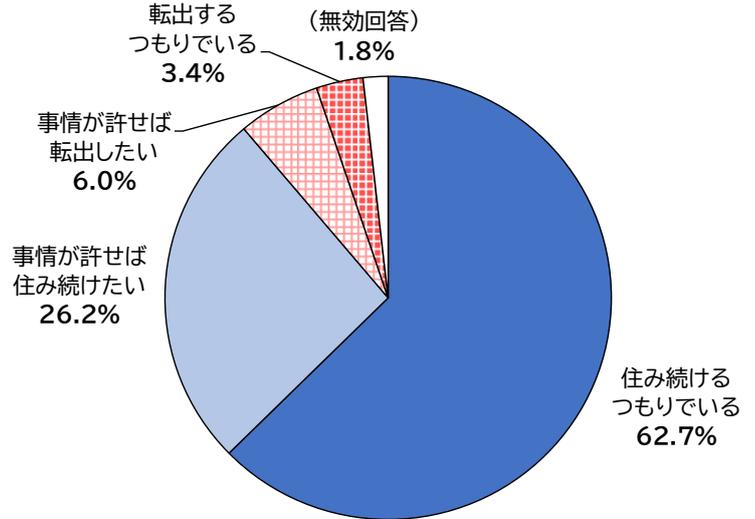
【図表 主な親しみや愛着を感じる場所】(1,816件)

・ 交通の便が良い	・ 公園が多い	・ イベントが多い
・ 買い物が便利	・ 都心へのアクセスが良い	・ 深大寺
・ 自然が多い	・ 子育てしやすい	・ 神代植物公園
・ 治安が良い	・ 調布駅周辺が便利	・ 多摩川
・ 生まれ育ったまち	・ 映画のまち	・ 野川

問12) あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。

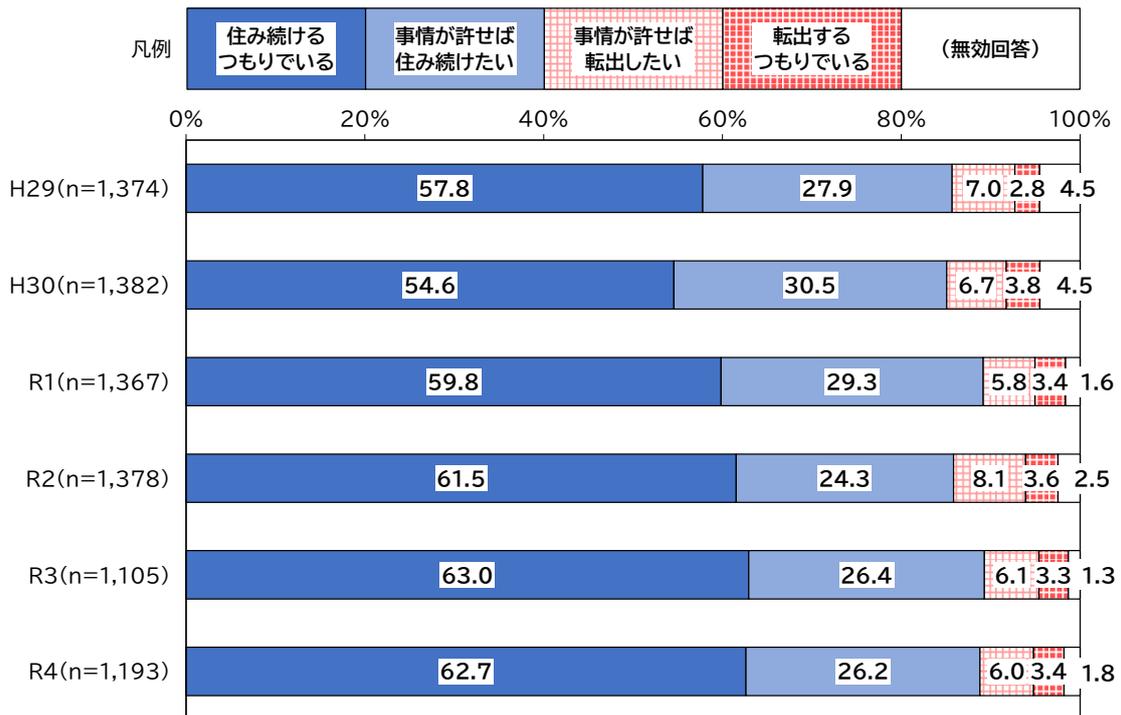
<全体 (n=1,193) >

○「住み続けるつもりである」が62.7%、「事情が許せば住み続けたい」が26.2%で、合計すると88.9%を占めています。



<経年比較>

○「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」の合計 (88.9%) は、令和3年度 (89.4%) より0.5ポイント減少しています。

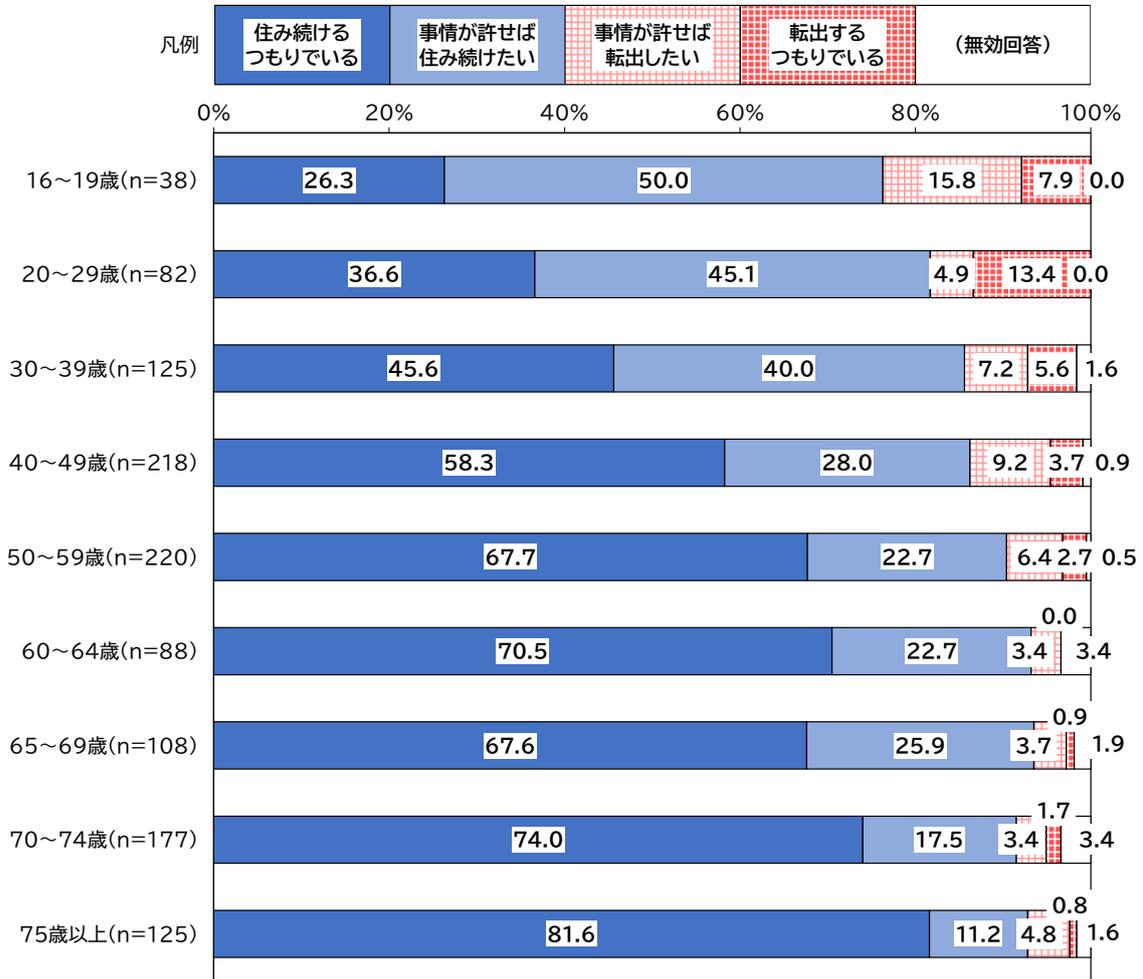


第3章 調査結果<まちの魅力と今後の定住志向>

<年齢層別>

○65～69歳が「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が93.5%と最も高く、次いで60～64歳の93.2%、75歳以上の92.8%の順となっています。

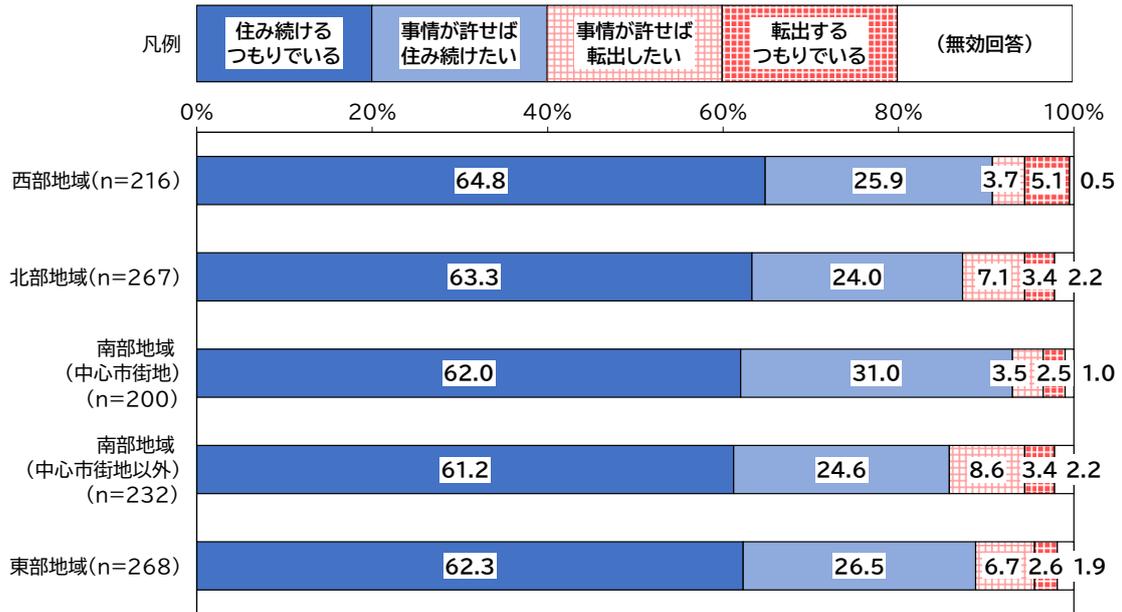
○一方、「転出するつもりである」と「事情が許せば転出したい」の合計は16～19歳が23.7%と最も高くなっています。



※「転出したい理由」の<年齢層別>については、50ページ参照。

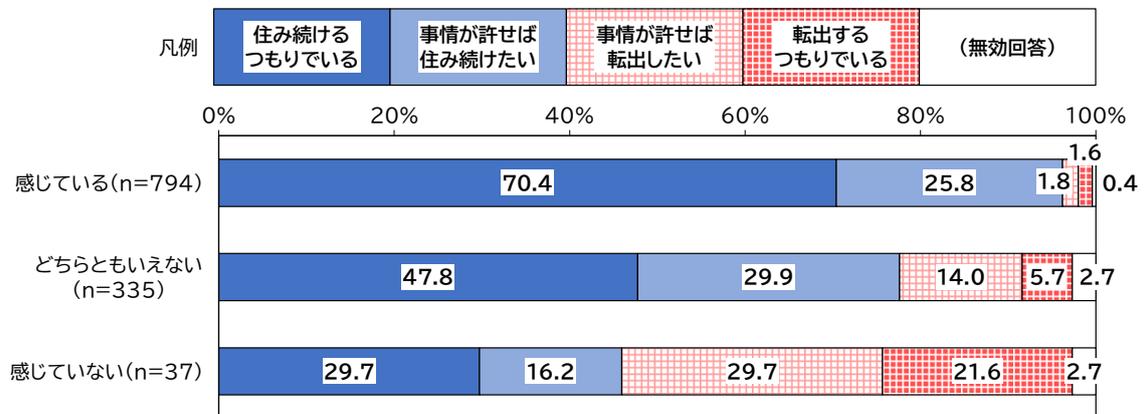
<地域別>

○いずれの地域でも、「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が80%を上回っています。



<まちへの愛着別>

○まちへの愛着を「感じている」人のうち、「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計は96.2%で、「感じていない」人の割合は45.9%となっており、両者に50.3ポイントの差があります。

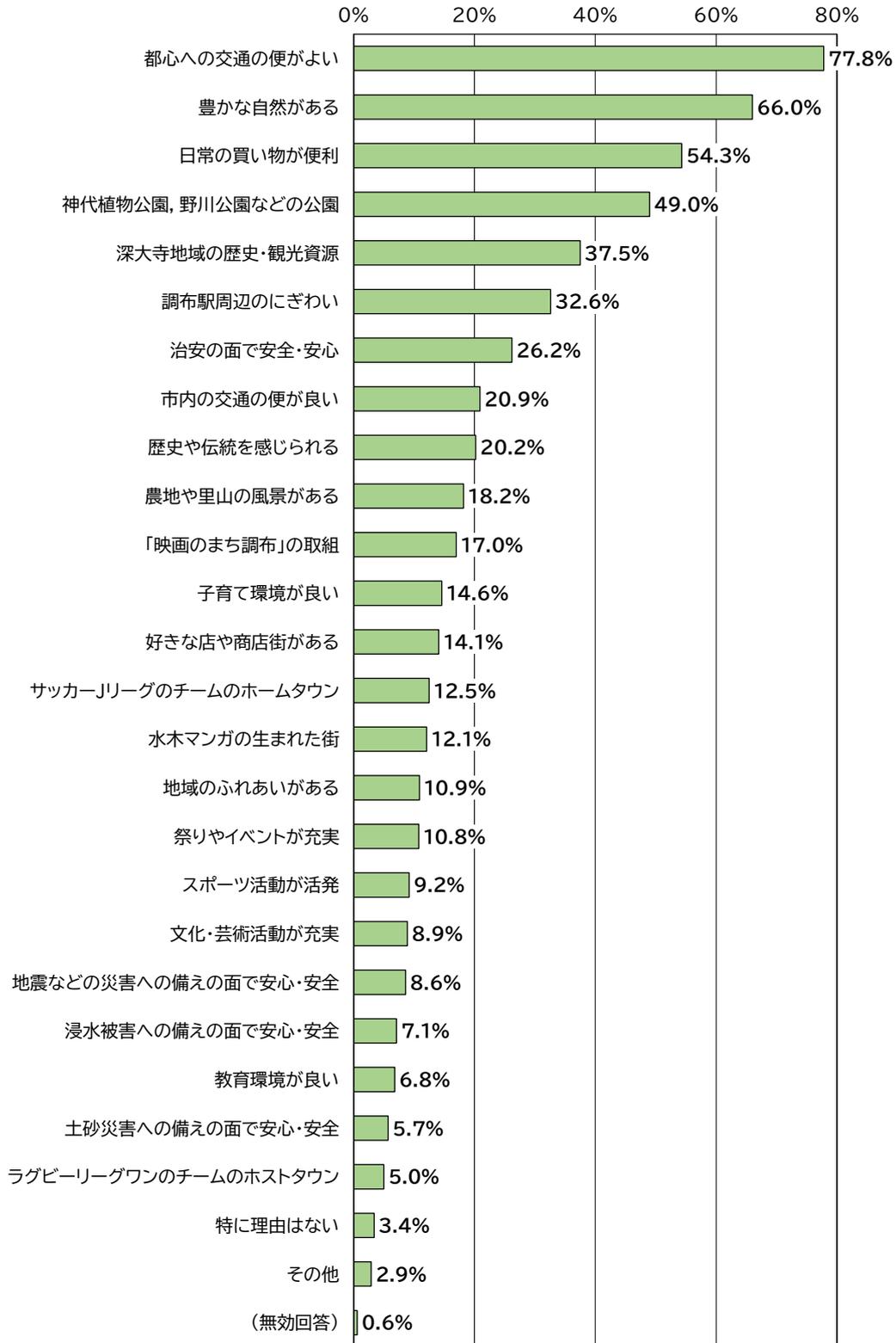


第3章 調査結果＜まちの魅力と今後の定住志向＞

問 12-1) 問 12 で「住み続けるつもりでいる」または「事情が許せば住み続けたい」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思えますか。

＜全体 (n=1,060) ＞

○「都心への交通の便がよい」が 77.8%で最も高く、次いで「豊かな自然がある」の 66.0%、「日常の買い物が便利」の 54.3%の順となっています。



※「調布市から転出意向にある方の転出意向理由」については、49 ページ参照。

＜年齢層別＞

○全ての年齢層で「都心への交通の便がよい」が最も高く、次いで「豊かな自然がある」の順となっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,060	29	67	107	188	199	82	101	162	116
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
都心への交通の便がよい	825	20	53	77	150	149	65	87	126	91
	77.8%	69.0%	79.1%	72.0%	79.8%	74.9%	79.3%	86.1%	77.8%	78.4%
豊かな自然がある	700	18	35	72	126	135	56	63	107	82
	66.0%	62.1%	52.2%	67.3%	67.0%	67.8%	68.3%	62.4%	66.0%	70.7%
日常の買い物便利	576	14	29	61	109	98	45	60	93	63
	54.3%	48.3%	43.3%	57.0%	58.0%	49.2%	54.9%	59.4%	57.4%	54.3%
神代植物公園、野川公園などの公園	519	9	20	51	91	91	38	56	93	66
	49.0%	31.0%	29.9%	47.7%	48.4%	45.7%	46.3%	55.4%	57.4%	56.9%
深大寺地域の歴史・観光資源	397	5	19	35	68	77	34	40	71	46
	37.5%	17.2%	28.4%	32.7%	36.2%	38.7%	41.5%	39.6%	43.8%	39.7%
調布駅周辺のにぎわい	346	17	27	56	69	65	21	26	44	19
	32.6%	58.6%	40.3%	52.3%	36.7%	32.7%	25.6%	25.7%	27.2%	16.4%
治安の面で安全・安心	278	6	27	35	47	50	20	21	43	28
	26.2%	20.7%	40.3%	32.7%	25.0%	25.1%	24.4%	20.8%	26.5%	24.1%
市内の交通の便が良い	222	8	12	29	28	38	16	18	39	33
	20.9%	27.6%	17.9%	27.1%	14.9%	19.1%	19.5%	17.8%	24.1%	28.4%
歴史や伝統を感じられる	214	7	10	16	29	46	24	19	42	20
	20.2%	24.1%	14.9%	15.0%	15.4%	23.1%	29.3%	18.8%	25.9%	17.2%
農地や里山の風景がある	193	2	11	14	33	33	14	21	36	27
	18.2%	6.9%	16.4%	13.1%	17.6%	16.6%	17.1%	20.8%	22.2%	23.3%
「映画のまち調布」の取組	180	5	10	19	38	38	17	18	19	15
	17.0%	17.2%	14.9%	17.8%	20.2%	19.1%	20.7%	17.8%	11.7%	12.9%
子育て環境が良い	155	3	14	31	41	27	5	10	14	10
	14.6%	10.3%	20.9%	29.0%	21.8%	13.6%	6.1%	9.9%	8.6%	8.6%
好きな店や商店街がある	149	8	15	24	34	28	10	10	11	9
	14.1%	27.6%	22.4%	22.4%	18.1%	14.1%	12.2%	9.9%	6.8%	7.8%
サッカーJリーグのチームのホームタウン	132	3	5	11	28	34	13	11	12	14
	12.5%	10.3%	7.5%	10.3%	14.9%	17.1%	15.9%	10.9%	7.4%	12.1%
水木マンガの生まれた街	128	5	6	15	27	21	11	13	18	11
	12.1%	17.2%	9.0%	14.0%	14.4%	10.6%	13.4%	12.9%	11.1%	9.5%
地域のふれあいがある	116	5	7	11	20	18	9	10	25	11
	10.9%	17.2%	10.4%	10.3%	10.6%	9.0%	11.0%	9.9%	15.4%	9.5%
祭りやイベントが充実	114	4	10	15	38	23	6	3	5	10
	10.8%	13.8%	14.9%	14.0%	20.2%	11.6%	7.3%	3.0%	3.1%	8.6%
スポーツ活動が活発	98	3	4	13	22	23	8	6	11	8
	9.2%	10.3%	6.0%	12.1%	11.7%	11.6%	9.8%	5.9%	6.8%	6.9%
文化・芸術活動が充実	94	3	7	10	12	15	12	10	18	7
	8.9%	10.3%	10.4%	9.3%	6.4%	7.5%	14.6%	9.9%	11.1%	6.0%
地震などの災害への備えの面で安心・安全	91	1	3	5	10	17	8	13	21	12
	8.6%	3.4%	4.5%	4.7%	5.3%	8.5%	9.8%	12.9%	13.0%	10.3%
浸水被害への備えの面で安心・安全	75	1	3	6	8	13	9	8	16	11
	7.1%	3.4%	4.5%	5.6%	4.3%	6.5%	11.0%	7.9%	9.9%	9.5%
教育環境が良い	72	4	4	12	17	13	8	4	4	6
	6.8%	13.8%	6.0%	11.2%	9.0%	6.5%	9.8%	4.0%	2.5%	5.2%
土砂災害への備えの面で安心・安全	60	1	2	6	2	14	9	7	12	7
	5.7%	3.4%	3.0%	5.6%	1.1%	7.0%	11.0%	6.9%	7.4%	6.0%
ラグビーリーグワンのチームのホストタウン	53	0	1	4	10	18	4	6	6	4
	5.0%	0.0%	1.5%	3.7%	5.3%	9.0%	4.9%	5.9%	3.7%	3.4%
特に理由はない	36	0	1	2	6	7	1	2	13	4
	3.4%	0.0%	1.5%	1.9%	3.2%	3.5%	1.2%	2.0%	8.0%	3.4%
その他	31	0	6	2	6	6	2	2	1	6
	2.9%	0.0%	9.0%	1.9%	3.2%	3.0%	2.4%	2.0%	0.6%	5.2%
(無効回答)	6	0	0	1	2	1	2	0	0	0
	0.6%	0.0%	0.0%	0.9%	1.1%	0.5%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

### 第3章 調査結果＜まちの魅力と今後の定住志向＞

#### ＜地域別＞

○まちの魅力や個性・特色は地域ごとに傾向が異なっており、西部地域、南部地域（中心市街地）、南部地域（中心市街地以外）、東部地域では「都心への交通の便が良い」が最も高くなっています。北部地域では「豊かな自然がある」が最も高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
全体	1,060	196	233	186	199	238
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
都心への交通の便が良い	825	155	152	153	165	193
	77.8%	79.1%	65.2%	82.3%	82.9%	81.1%
豊かな自然がある	700	114	199	107	126	149
	66.0%	58.2%	85.4%	57.5%	63.3%	62.6%
日常の買い物が便利	576	96	100	124	116	136
	54.3%	49.0%	42.9%	66.7%	58.3%	57.1%
神代植物公園、野川公園などの公園	519	84	151	90	80	111
	49.0%	42.9%	64.8%	48.4%	40.2%	46.6%
深大寺地域の歴史・観光資源	397	64	118	66	67	81
	37.5%	32.7%	50.6%	35.5%	33.7%	34.0%
調布駅周辺のにぎわい	346	74	60	71	89	50
	32.6%	37.8%	25.8%	38.2%	44.7%	21.0%
治安の面で安全・安心	278	42	65	56	43	71
	26.2%	21.4%	27.9%	30.1%	21.6%	29.8%
市内の交通の便が良い	222	30	45	41	46	59
	20.9%	15.3%	19.3%	22.0%	23.1%	24.8%
歴史や伝統を感じられる	214	34	63	36	40	40
	20.2%	17.3%	27.0%	19.4%	20.1%	16.8%
農地や里山の風景がある	193	25	65	35	27	39
	18.2%	12.8%	27.9%	18.8%	13.6%	16.4%
「映画のまち調布」の取組	180	30	33	38	39	39
	17.0%	15.3%	14.2%	20.4%	19.6%	16.4%
子育て環境が良い	155	27	35	29	26	38
	14.6%	13.8%	15.0%	15.6%	13.1%	16.0%
好きな店や商店街がある	149	18	23	29	24	55
	14.1%	9.2%	9.9%	15.6%	12.1%	23.1%
サッカーJリーグのチームのホームタウン	132	32	25	24	26	24
	12.5%	16.3%	10.7%	12.9%	13.1%	10.1%
水木マンガの生まれた街	128	16	29	33	33	16
	12.1%	8.2%	12.4%	17.7%	16.6%	6.7%
地域のふれあいがある	116	21	29	24	19	23
	10.9%	10.7%	12.4%	12.9%	9.5%	9.7%
祭りやイベントが充実	114	28	17	25	27	17
	10.8%	14.3%	7.3%	13.4%	13.6%	7.1%
スポーツ活動が活発	98	27	25	14	19	13
	9.2%	13.8%	10.7%	7.5%	9.5%	5.5%
文化・芸術活動が充実	94	16	14	19	17	28
	8.9%	8.2%	6.0%	10.2%	8.5%	11.8%
地震などの災害への備えの面で安心・安全	91	16	23	20	10	21
	8.6%	8.2%	9.9%	10.8%	5.0%	8.8%
浸水被害への備えの面で安心・安全	75	14	16	15	7	23
	7.1%	7.1%	6.9%	8.1%	3.5%	9.7%
教育環境が良い	72	11	20	13	12	16
	6.8%	5.6%	8.6%	7.0%	6.0%	6.7%
土砂災害への備えの面で安心・安全	60	9	13	11	7	20
	5.7%	4.6%	5.6%	5.9%	3.5%	8.4%
ラグビーリーグワンのチームのホストタウン	53	10	10	12	11	10
	5.0%	5.1%	4.3%	6.5%	5.5%	4.2%
特に理由はない	36	9	6	5	7	9
	3.4%	4.6%	2.6%	2.7%	3.5%	3.8%
その他	31	6	7	7	6	5
	2.9%	3.1%	3.0%	3.8%	3.0%	2.1%
(無効回答)	6	1	1	2	2	0
	0.6%	0.5%	0.4%	1.1%	1.0%	0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



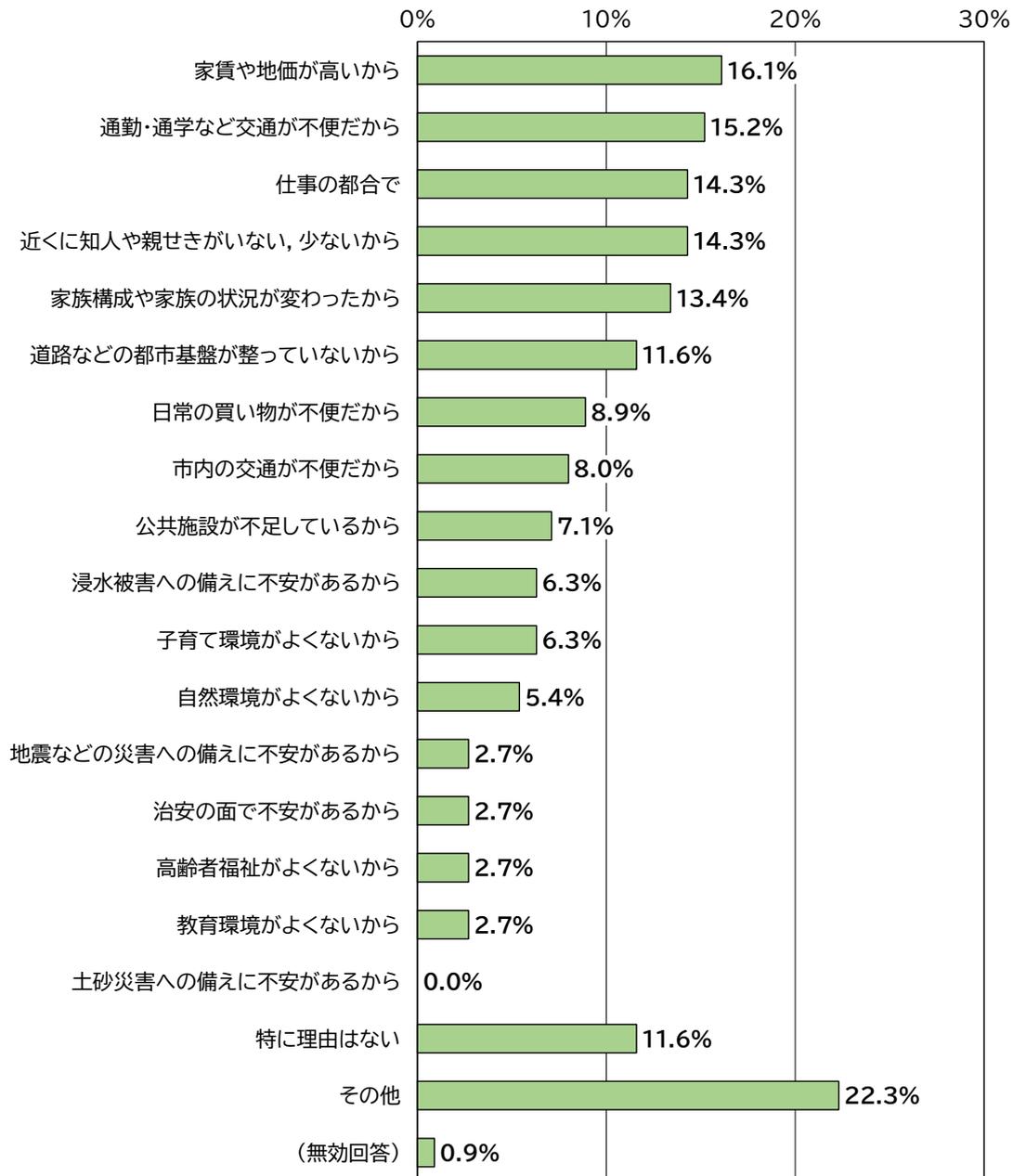
回答割合が2番目に高い：



問 12-2) 問 12 で「事情が許せば転出したい」または「転出するつもりでいる」のいずれかを選んだ方にうかがいます。そう思う理由について、あてはまるものに○をつけてください。

＜全体（n=193）＞

○「その他」以外では、「家賃や地価が高いから」が16.1%で最も高く、次いで「通勤・通学など交通が不便だから」の15.2%、「仕事の都合で」、「近くに知人や親せきがない、少ないから」の14.3%の順となっています。



※「調布市に定住意向のある方が感じている調布のまちの魅力や個性・特色」については、46 ページ参照。

第3章 調査結果<まちの魅力と今後の定住志向>

<年齢層別>

○「その他」以外では、転出したい理由は年齢層ごとに傾向が異なっていますが、40歳代までは「家賃や地価が高いから」や「仕事の都合で」、「通勤・通学など交通が不便だから」が高く、50歳以上では、「近くに知人や親せきがない、少ないから」や「家族構成や家族の状況が変わったから」などが高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	112	9	15	16	28	20	3	5	9	7
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家賃や地価が高いから	18	1	2	6	2	3	0	1	2	1
	16.1%	11.1%	13.3%	37.5%	7.1%	15.0%	0.0%	20.0%	22.2%	14.3%
通勤・通学など交通が不便だから	17	3	2	0	7	3	1	0	1	0
	15.2%	33.3%	13.3%	0.0%	25.0%	15.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%
仕事の都合で	16	1	5	3	5	1	0	1	0	0
	14.3%	11.1%	33.3%	18.8%	17.9%	5.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
近くに知人や親せきがない、少ないから	16	0	0	4	4	4	0	1	1	2
	14.3%	0.0%	0.0%	25.0%	14.3%	20.0%	0.0%	20.0%	11.1%	28.6%
家族構成や家族の状況が変わったから	15	1	3	1	3	3	2	0	2	0
	13.4%	11.1%	20.0%	6.3%	10.7%	15.0%	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%
道路などの都市基盤が整っていないから	13	1	2	0	3	4	0	2	0	1
	11.6%	11.1%	13.3%	0.0%	10.7%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	14.3%
日常の買い物不便だから	10	0	0	2	3	3	1	0	1	0
	8.9%	0.0%	0.0%	12.5%	10.7%	15.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%
市内の交通が不便だから	9	0	3	1	2	1	1	0	0	1
	8.0%	0.0%	20.0%	6.3%	7.1%	5.0%	33.3%	0.0%	0.0%	14.3%
公共施設が不足しているから	8	0	0	0	3	2	1	1	1	0
	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	10.0%	33.3%	20.0%	11.1%	0.0%
浸水被害への備えに不安があるから	7	0	1	1	3	0	0	0	1	1
	6.3%	0.0%	6.7%	6.3%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	14.3%
子育て環境がよくないから	7	1	2	2	2	0	0	0	0	0
	6.3%	11.1%	13.3%	12.5%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然環境がよくないから	6	0	0	2	2	1	0	0	0	1
	5.4%	0.0%	0.0%	12.5%	7.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
地震などの災害への備えに不安があるから	3	0	0	0	1	0	0	1	1	0
	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	20.0%	11.1%	0.0%
治安の面で不安があるから	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0
	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	5.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
高齢者福祉がよくないから	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	11.1%	0.0%
教育環境がよくないから	3	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土砂災害への備えに不安があるから	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に理由はない	13	2	2	2	2	2	1	0	1	1
	11.6%	22.2%	13.3%	12.5%	7.1%	10.0%	33.3%	0.0%	11.1%	14.3%
その他	25	1	2	2	8	6	0	1	4	1
	22.3%	11.1%	13.3%	12.5%	28.6%	30.0%	0.0%	20.0%	44.4%	14.3%
(無効回答)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い： 30.0%

回答割合が2番目に高い： 44.4%

＜地域別＞

○「その他」以外では、転出したい理由は地域ごとに傾向が異なっており、西部地域では「通勤・通学など交通が不便だから」と「仕事の都合で」、北部地域及び東部地域では「家賃や地価が高いから」、南部地域（中心市街地）では「近くに知人や親せきがない、少ないから」、南部地域（中心市街地以外）では「家族構成や家族の状況が変わったから」、「浸水被害への備えに不安があるから」がそれぞれ最も高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
全体	112	19	28	12	28	25
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家賃や地価が高いから	18	1	7	1	4	5
	16.1%	5.3%	25.0%	8.3%	14.3%	20.0%
通勤・通学など交通が不便だから	17	4	3	3	4	3
	15.2%	21.1%	10.7%	25.0%	14.3%	12.0%
仕事の都合で	16	4	4	2	2	4
	14.3%	21.1%	14.3%	16.7%	7.1%	16.0%
近くに知人や親せきがない、少ないから	16	2	3	4	4	3
	14.3%	10.5%	10.7%	33.3%	14.3%	12.0%
家族構成や家族の状況が変わったから	15	2	5	2	5	1
	13.4%	10.5%	17.9%	16.7%	17.9%	4.0%
道路などの都市基盤が整っていないから	13	2	4	1	2	4
	11.6%	10.5%	14.3%	8.3%	7.1%	16.0%
日常の買い物不便だから	10	3	3	1	2	1
	8.9%	15.8%	10.7%	8.3%	7.1%	4.0%
市内の交通が不便だから	9	2	3	0	3	1
	8.0%	10.5%	10.7%	0.0%	10.7%	4.0%
公共施設が不足しているから	8	2	2	1	2	1
	7.1%	10.5%	7.1%	8.3%	7.1%	4.0%
浸水被害への備えに不安があるから	7	2	0	0	5	0
	6.3%	10.5%	0.0%	0.0%	17.9%	0.0%
子育て環境がよくないから	7	0	2	1	1	3
	6.3%	0.0%	7.1%	8.3%	3.6%	12.0%
自然環境がよくないから	6	0	2	0	2	2
	5.4%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	8.0%
地震などの災害への備えに不安があるから	3	0	0	0	2	1
	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	4.0%
治安の面で不安があるから	3	0	1	1	1	0
	2.7%	0.0%	3.6%	8.3%	3.6%	0.0%
高齢者福祉がよくないから	3	0	2	0	1	0
	2.7%	0.0%	7.1%	0.0%	3.6%	0.0%
教育環境がよくないから	3	0	1	1	0	1
	2.7%	0.0%	3.6%	8.3%	0.0%	4.0%
土砂災害への備えに不安があるから	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に理由はない	13	4	2	2	3	2
	11.6%	21.1%	7.1%	16.7%	10.7%	8.0%
その他	25	3	6	3	5	8
	22.3%	15.8%	21.4%	25.0%	17.9%	32.0%
(無効回答)	1	0	1	0	0	0
	0.9%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：

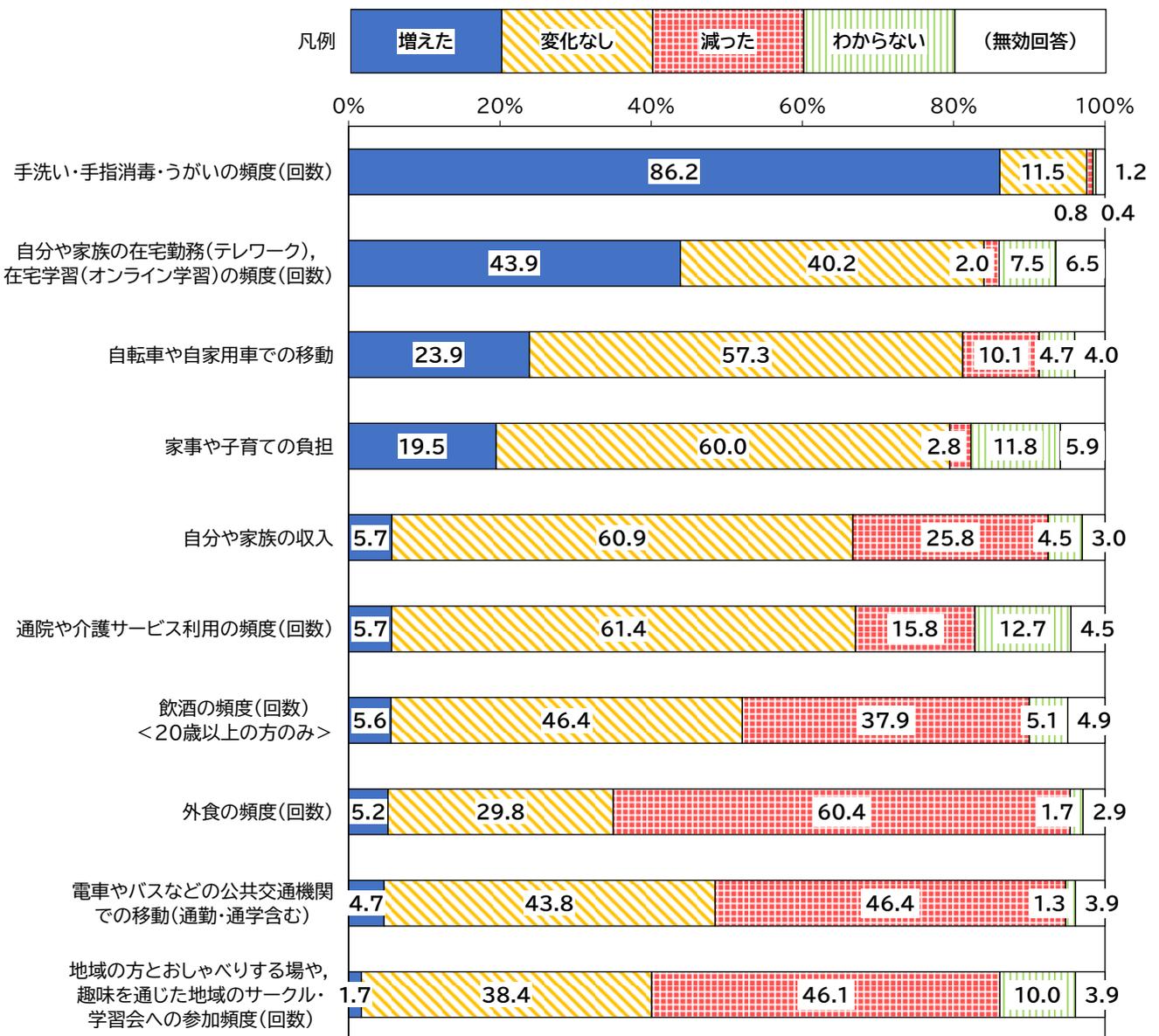


(2) 新型コロナウイルス感染症の影響

問13) 新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、あなたの生活にどのような影響や変化がありましたか。

<全体（n=1,193（飲酒の頻度のみのみ1,055））>

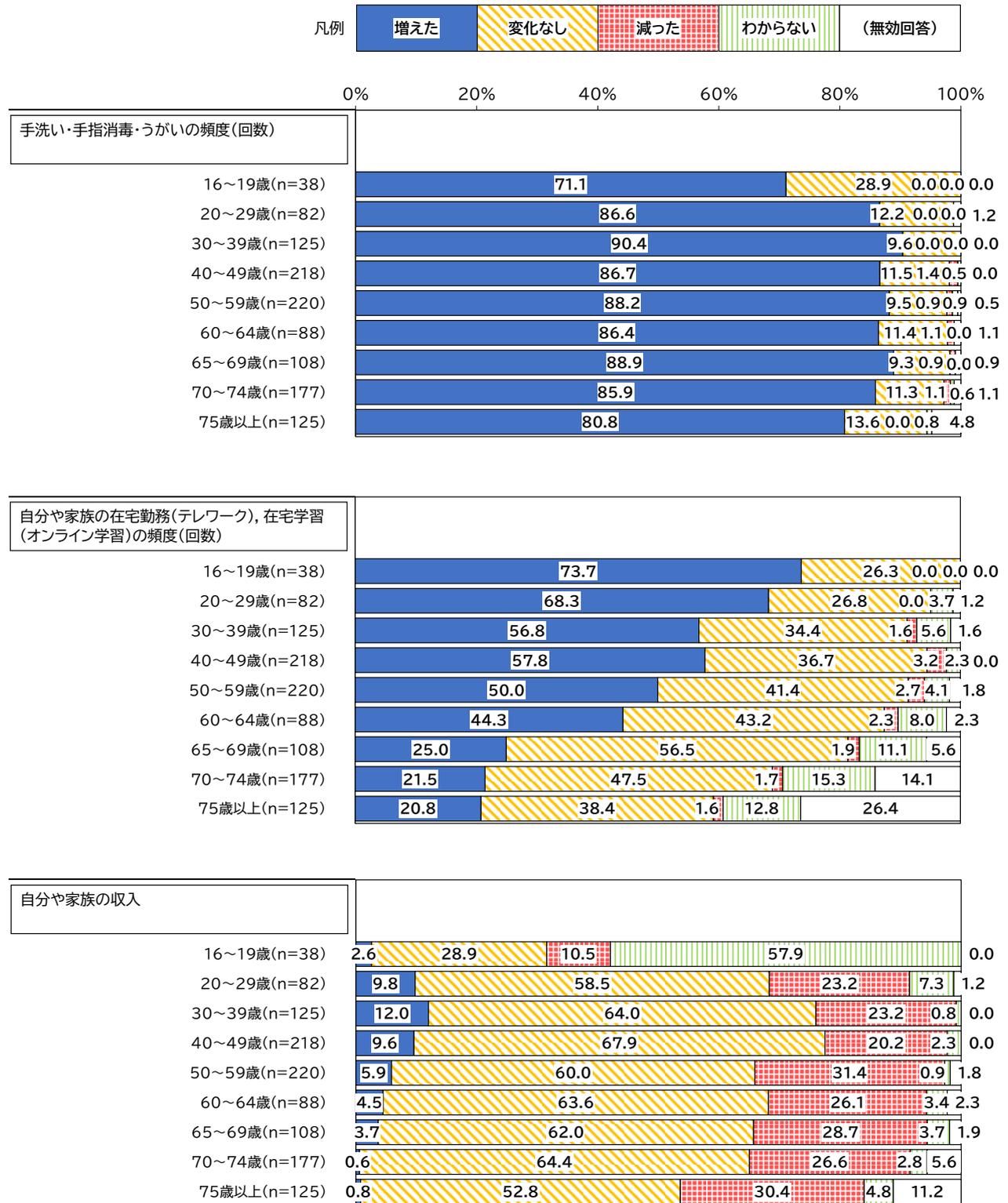
- 「増えた」は、「手洗い・手指消毒・うがいの頻度（回数）」が最も高く86.2%，次いで「自分や家族の在宅勤務（テレワーク），在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」の43.9%，「自転車や自家用車での移動」の23.9%の順となっています。
- 「減った」は、「外食の頻度（回数）」が最も高く60.4%，次いで「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）」の46.4%，「地域の方とおしゃべりする場や，趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度（回数）」の46.1%の順となっています。



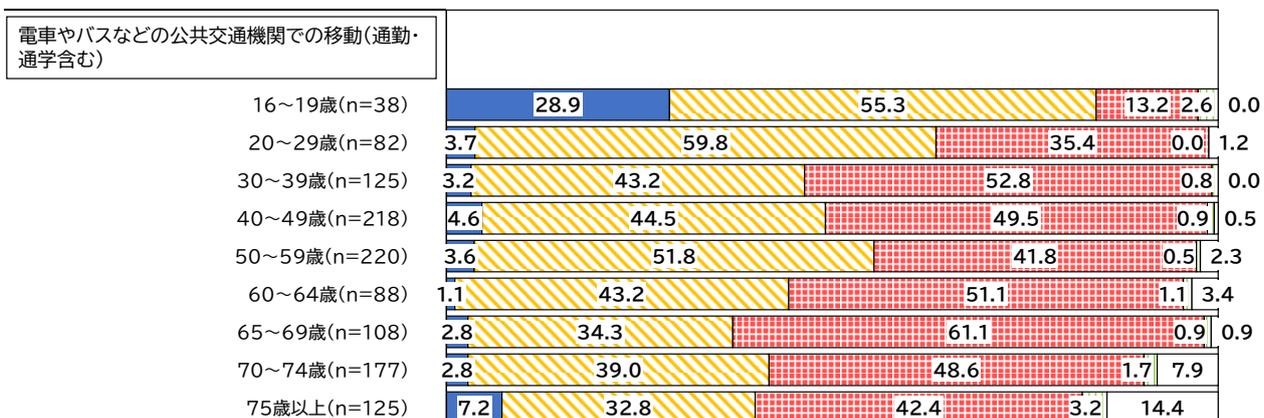
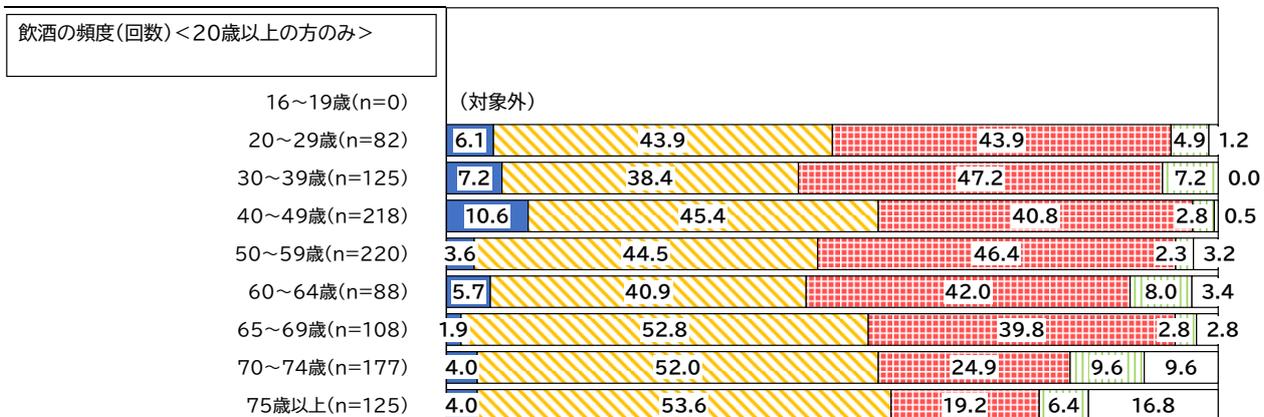
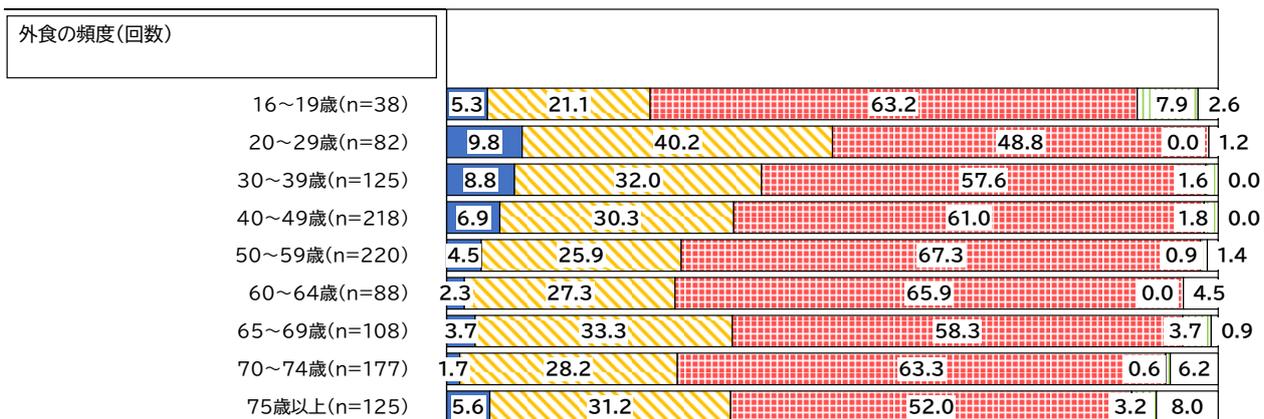
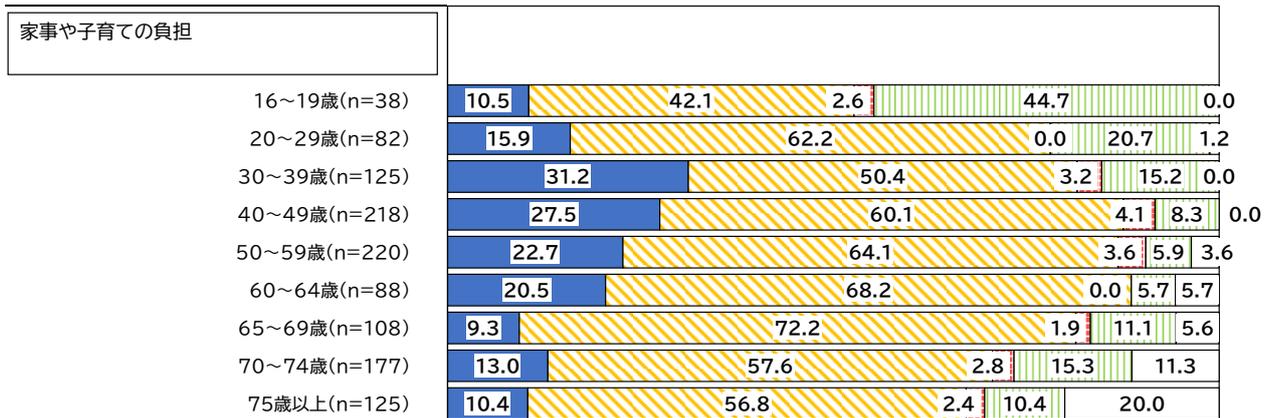
<年齢層別>

○「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、16～19歳で「増えた」が73.7%と高くなっています。

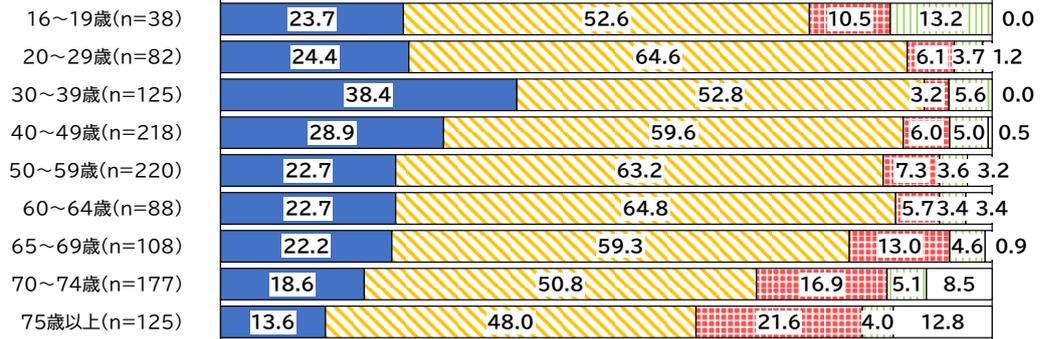
○「外食の頻度（回数）」では、20～29歳を除く年齢層で「減った」が半数を超えています。



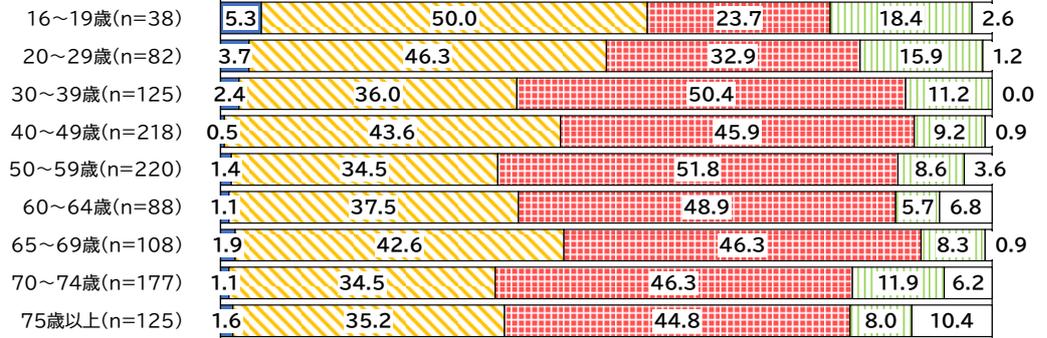
### 第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



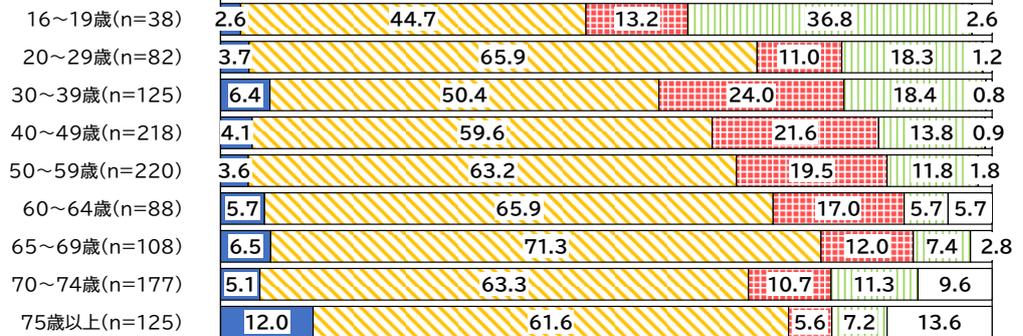
自転車や自家用車での移動



地域の方とおしゃべりする場や、趣味を通じた地域のサークル・学習会への参加頻度(回数)



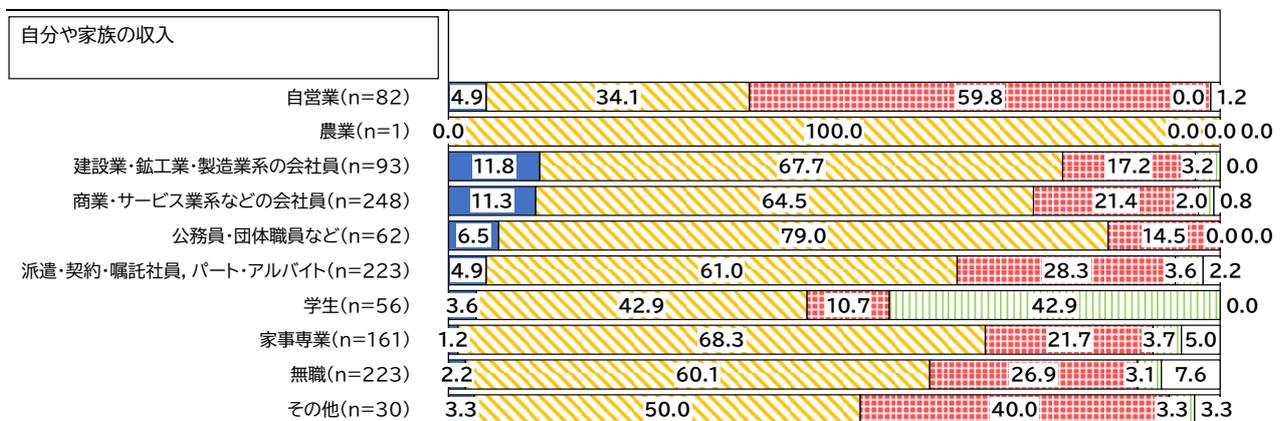
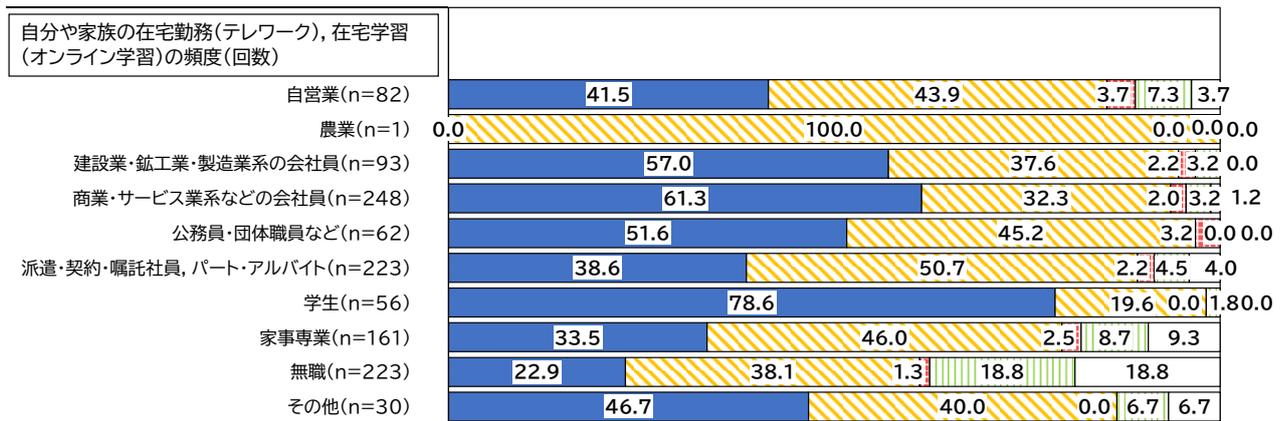
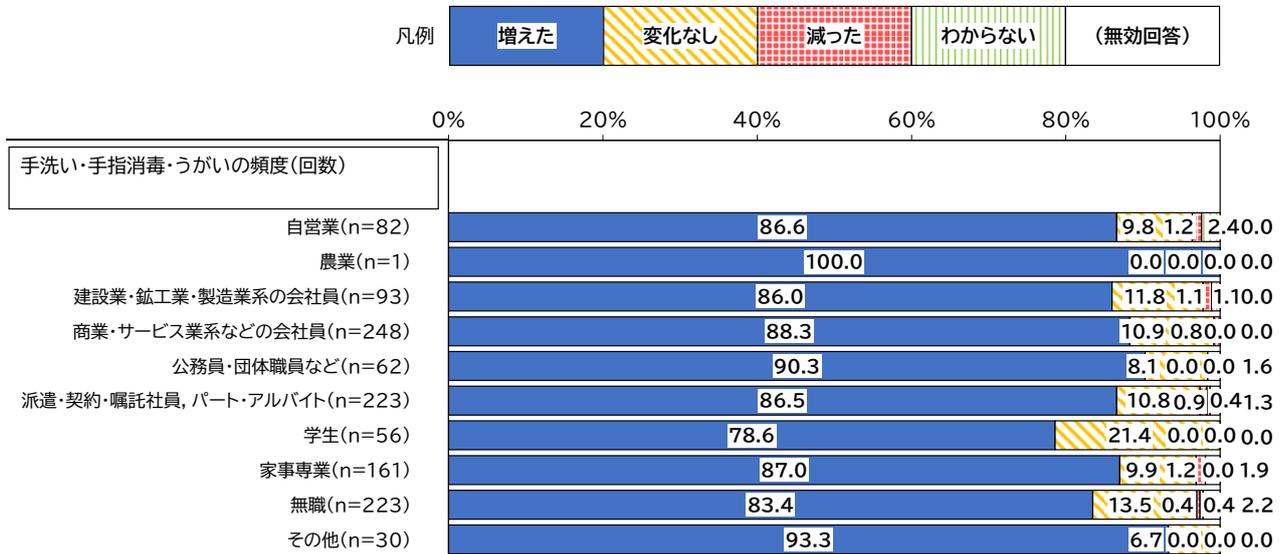
通院や介護サービス利用の頻度(回数)

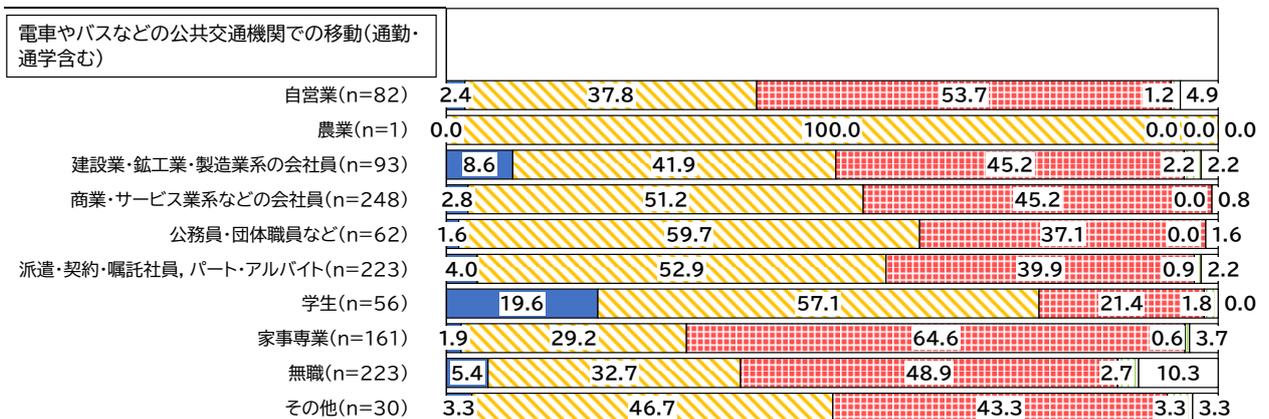
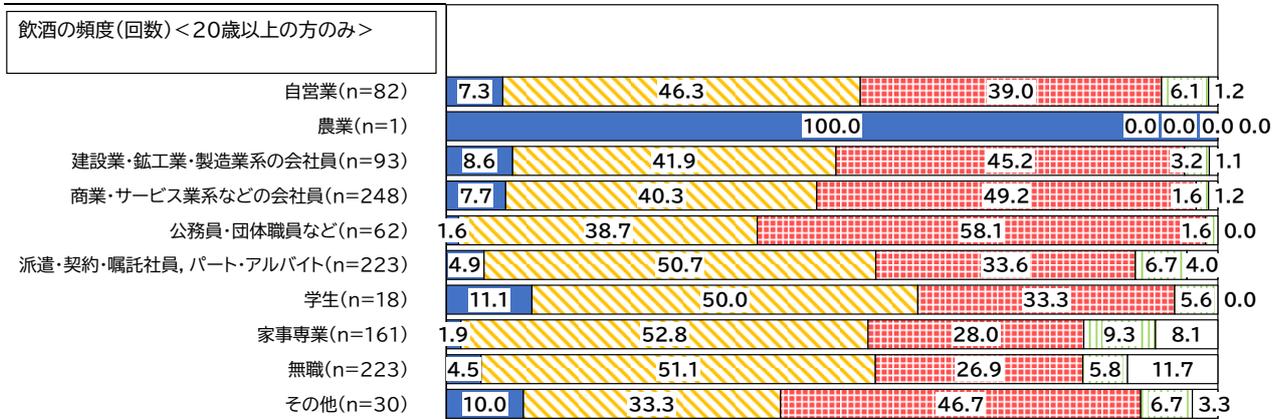
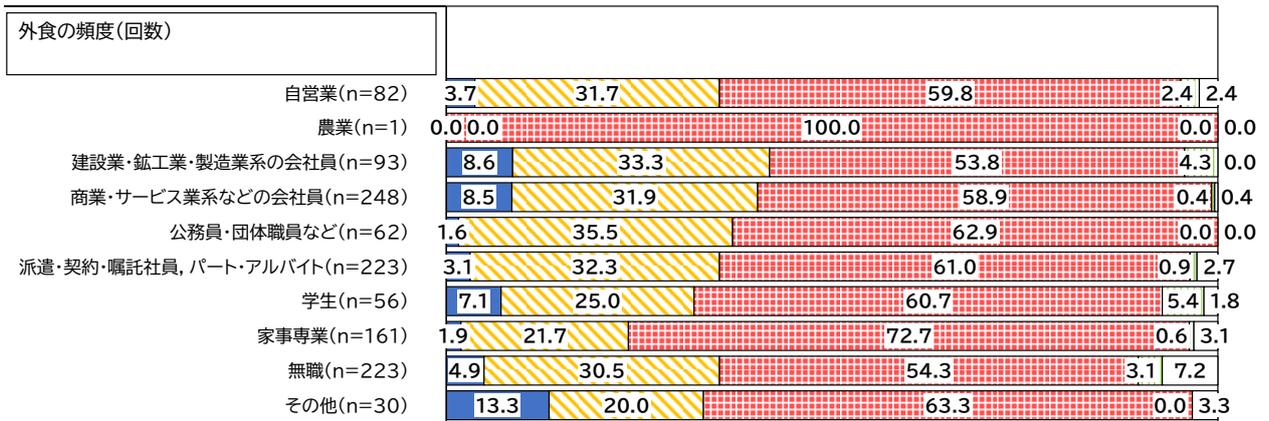
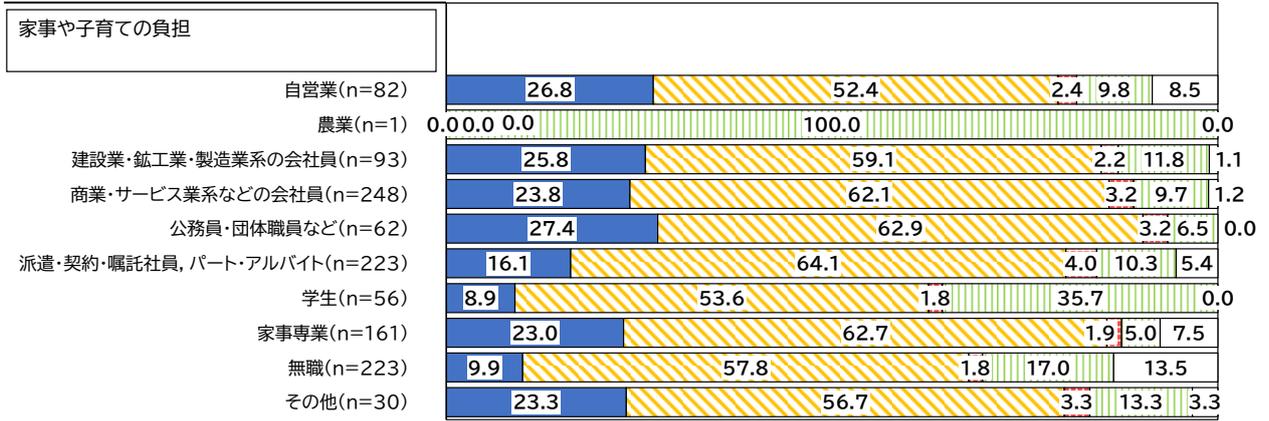


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

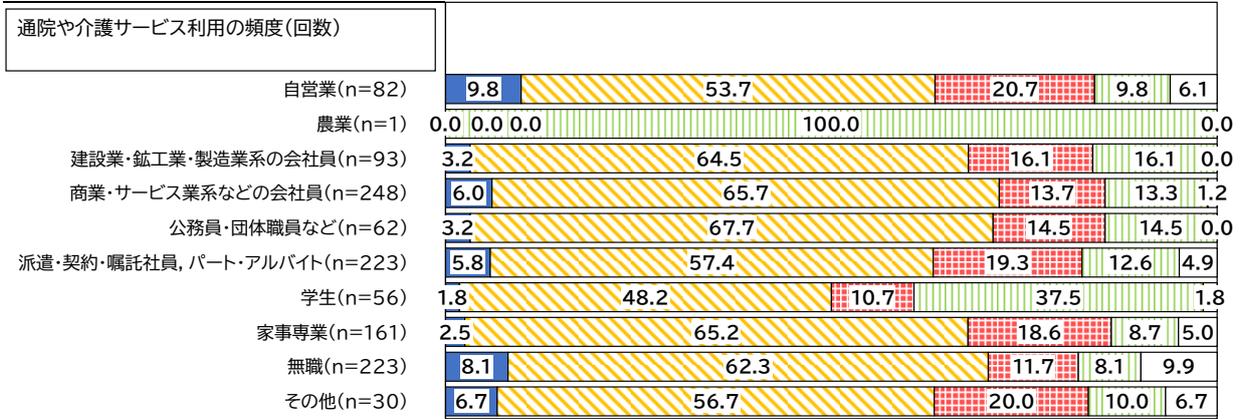
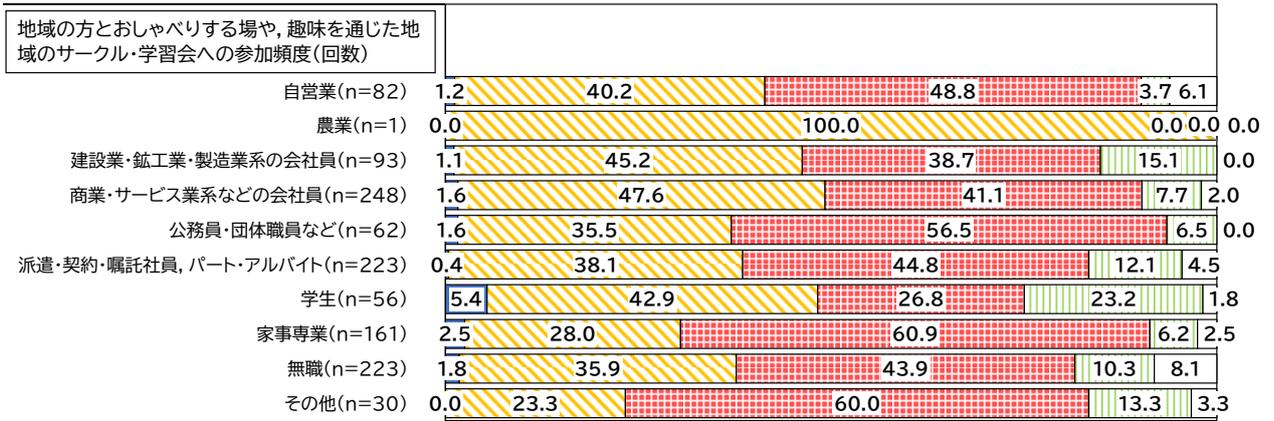
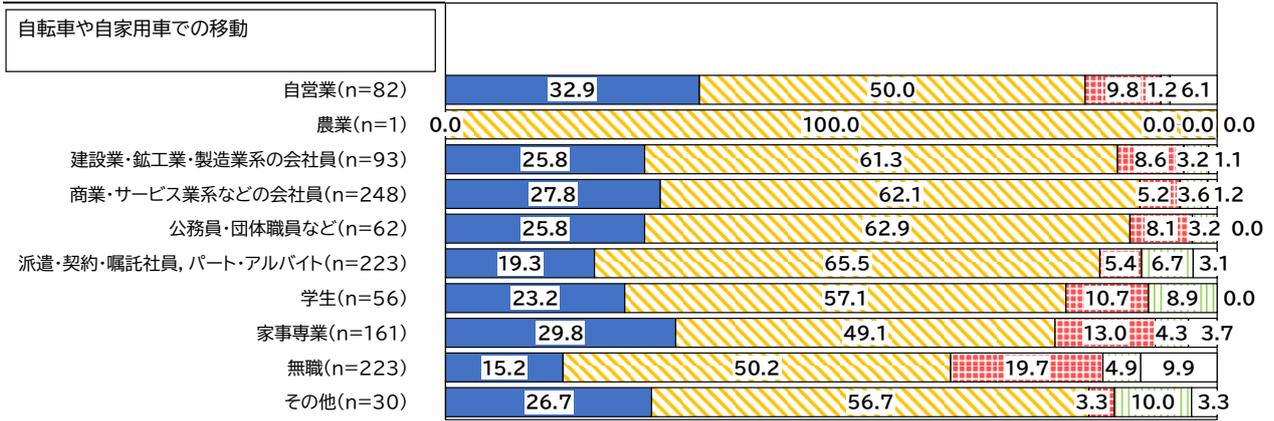
<職業別>

○「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、「学生」や「建設業・鉱工業・製造業系の会社員」、「商業・サービス業系などの会社員」、「公務員・団体職員など」で「増えた」が半数を超えています。また、「自分や家族の収入」では、「自営業」で「減った」が特に高くなっています。



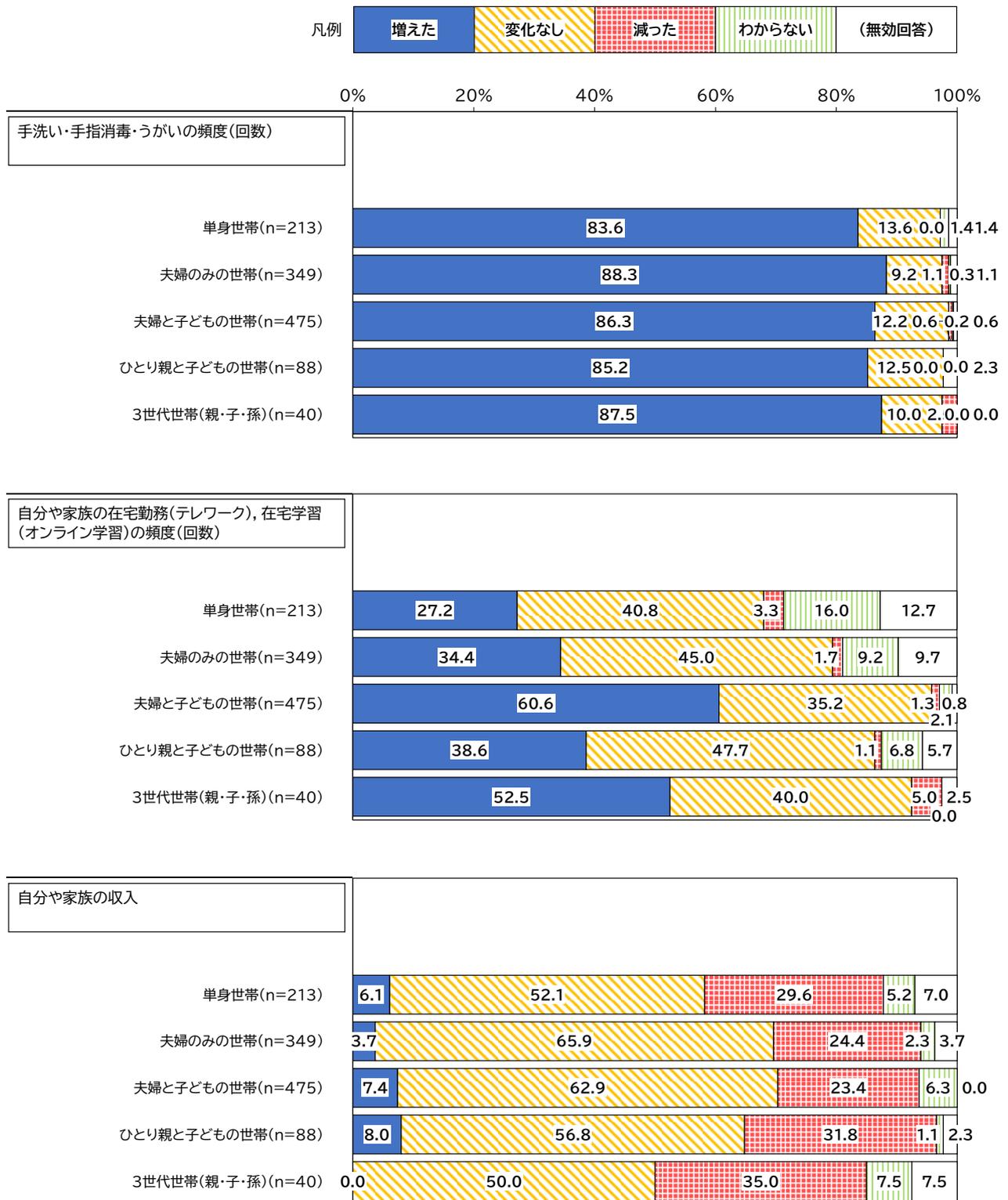


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

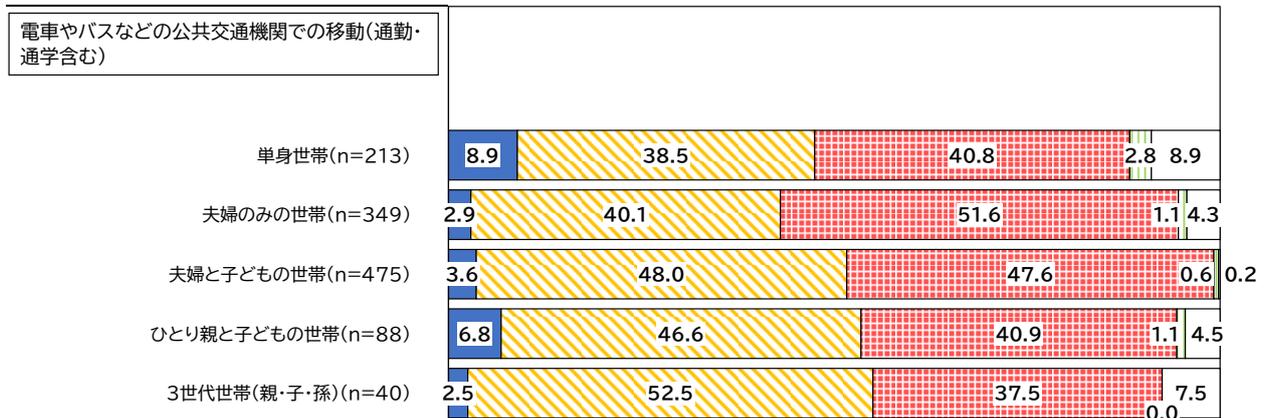
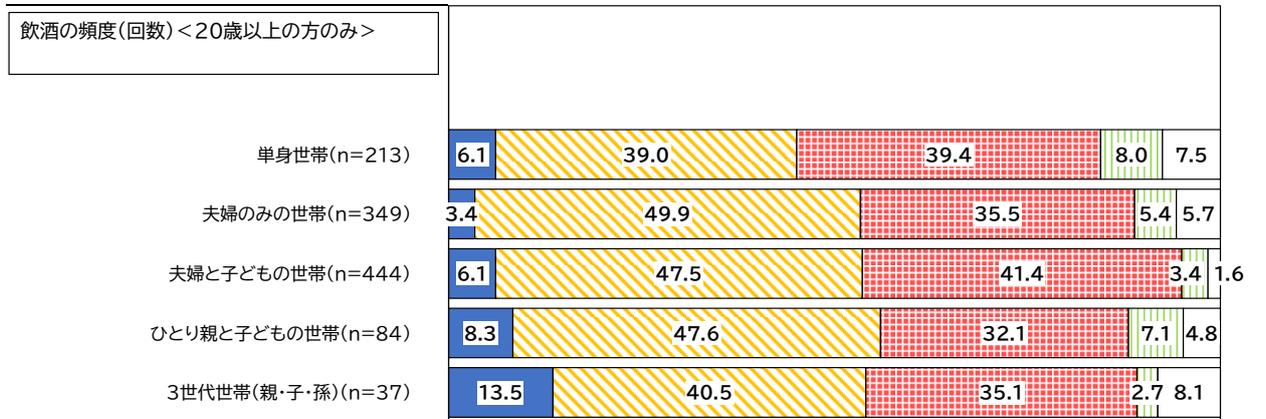
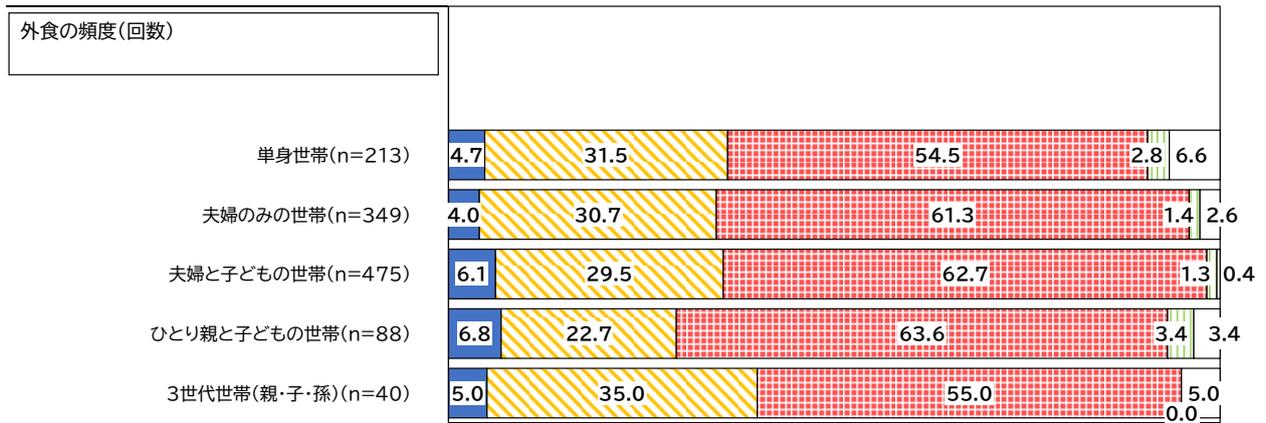
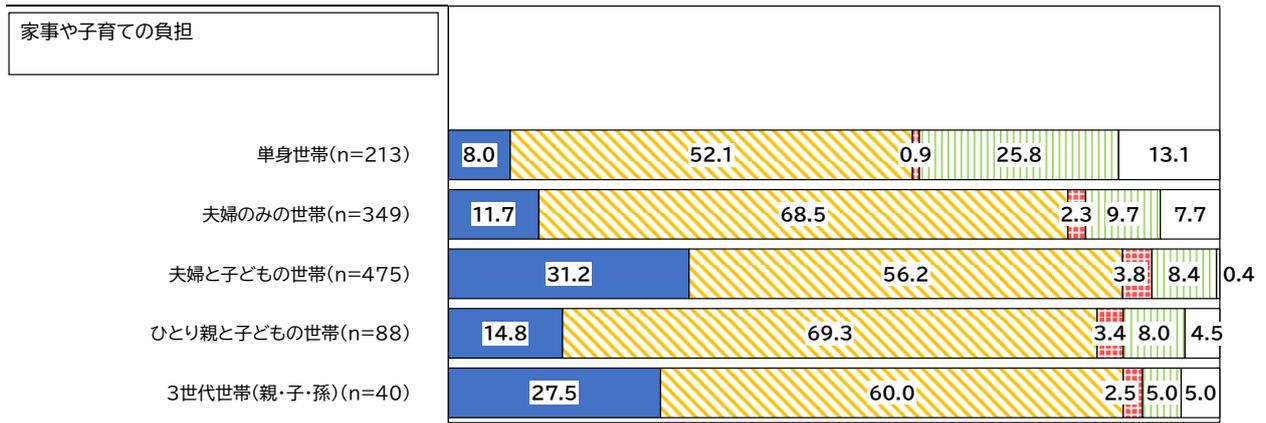


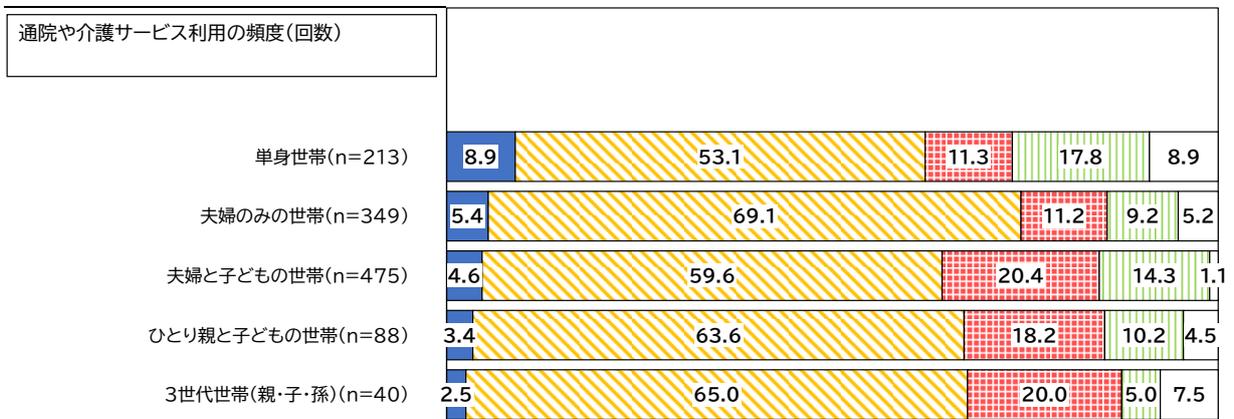
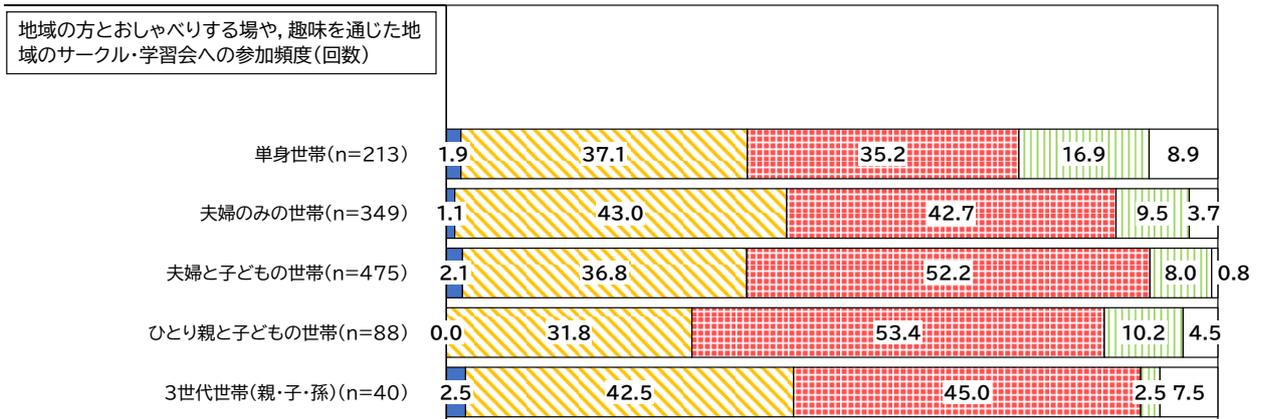
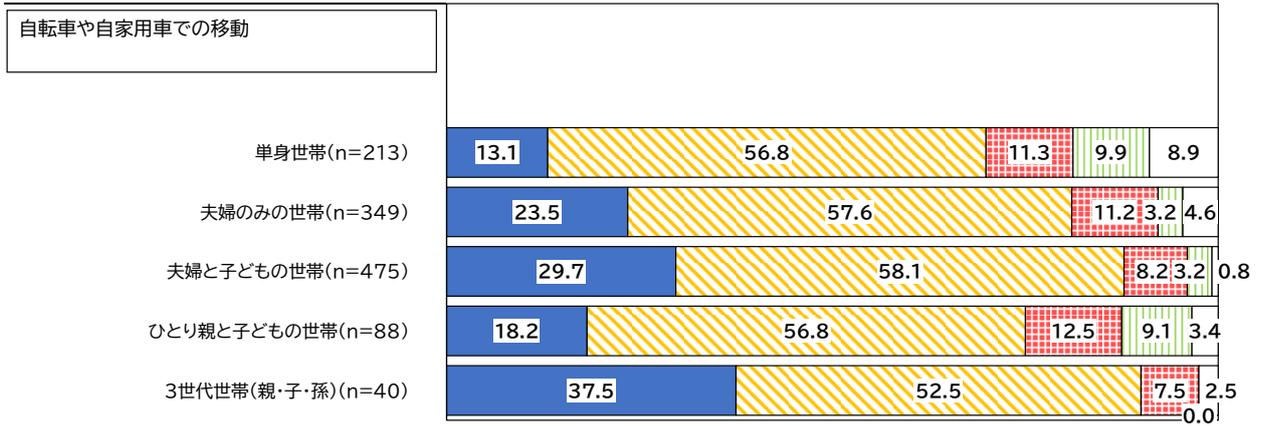
<家族構成別>

○「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）、在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」では、「夫婦と子どもの世帯」で「増えた」が高くなっています。また、「自分や家族の収入」では、「ひとり親と子どもの世帯」「3世代世帯（親・子・孫）」で「減った」が30%を超えています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

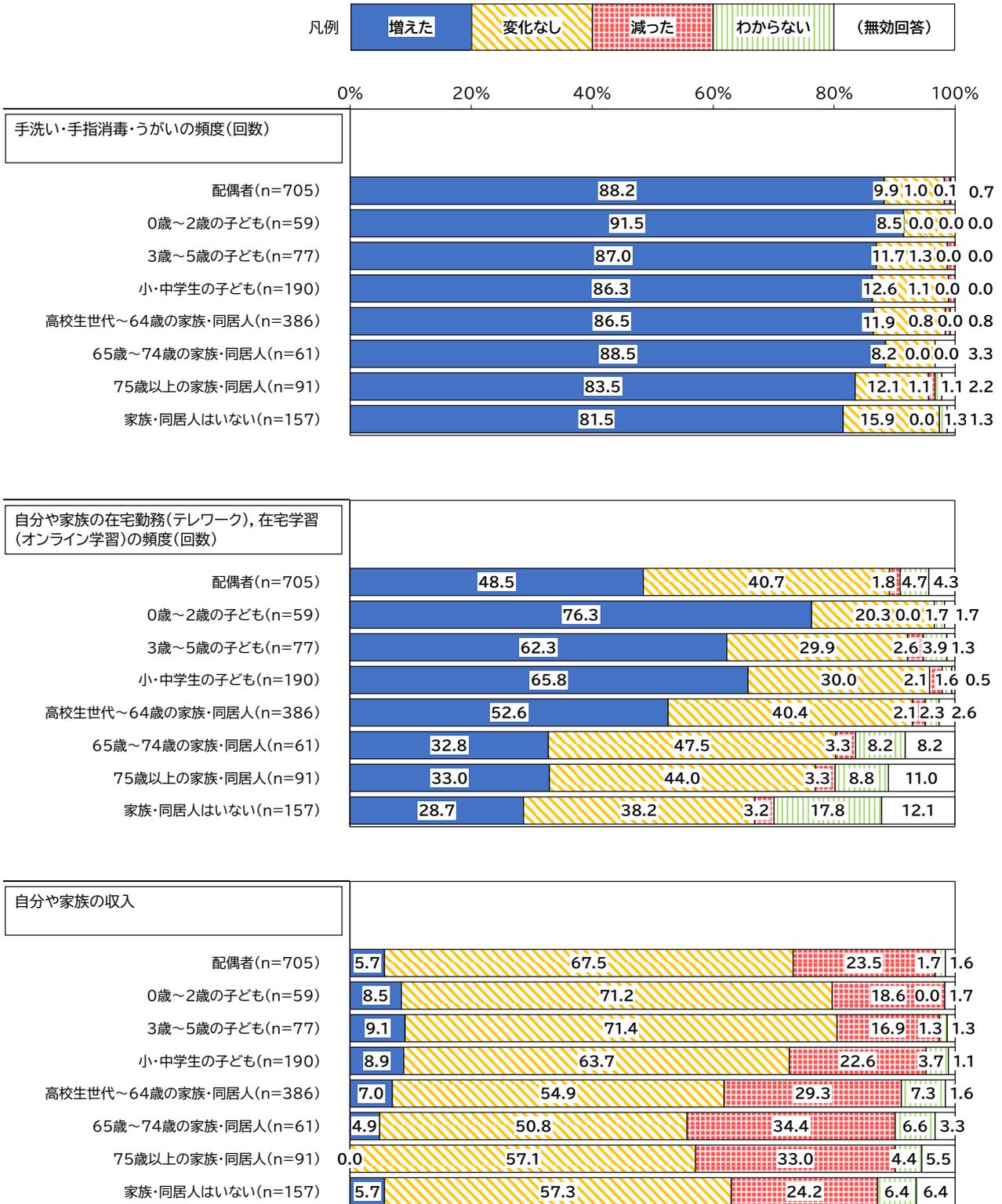




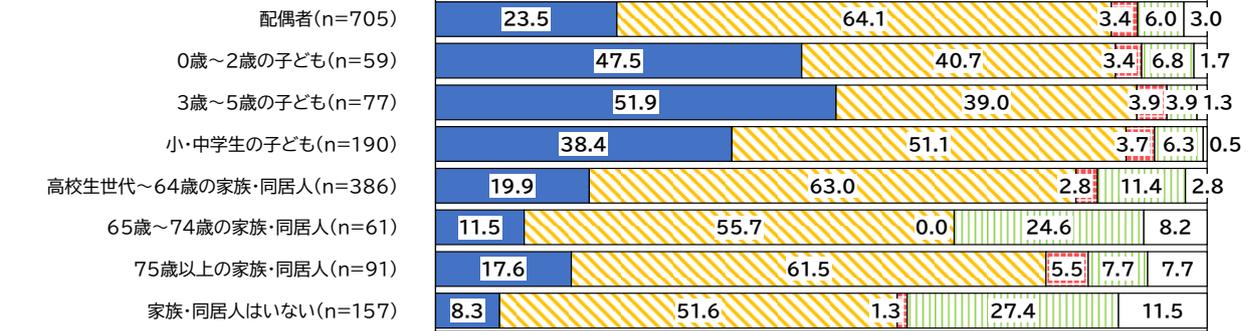
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

<同居人別>

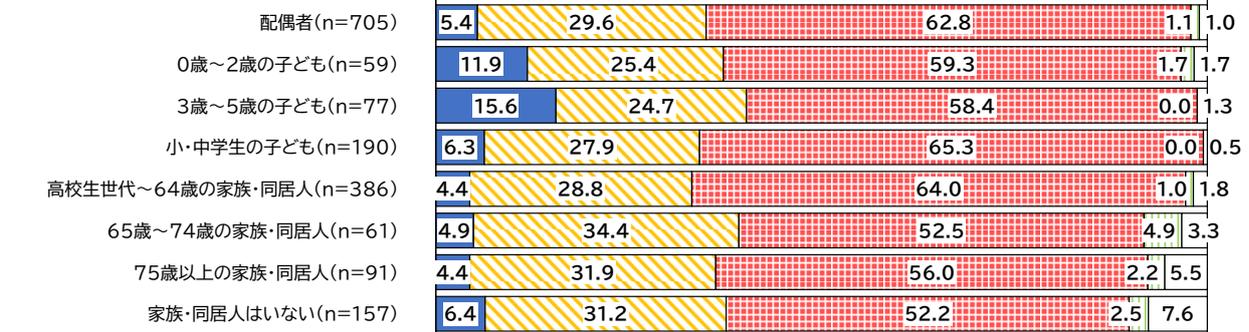
○「家事や子育ての負担」では、「0歳～小・中学生の子ども」で「増えた」が高くなっています。また、「0歳～2歳の子ども」では、「飲酒の頻度（回数）」で「減った」,「自分や家族の在宅勤務（テレワーク）,在宅学習（オンライン学習）の頻度（回数）」で「増えた」が高くなっています。



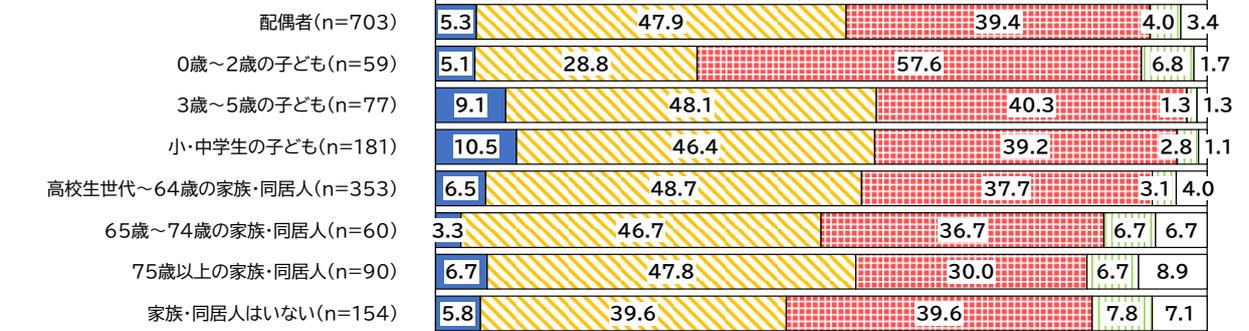
家事や子育ての負担



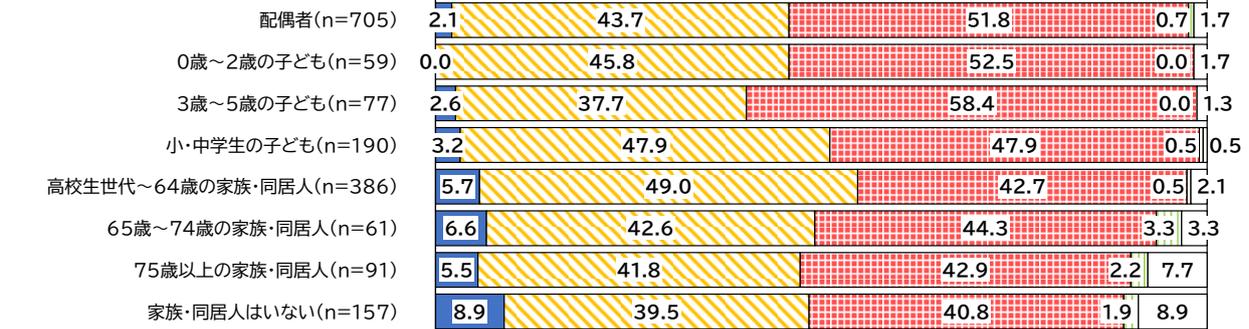
外食の頻度(回数)



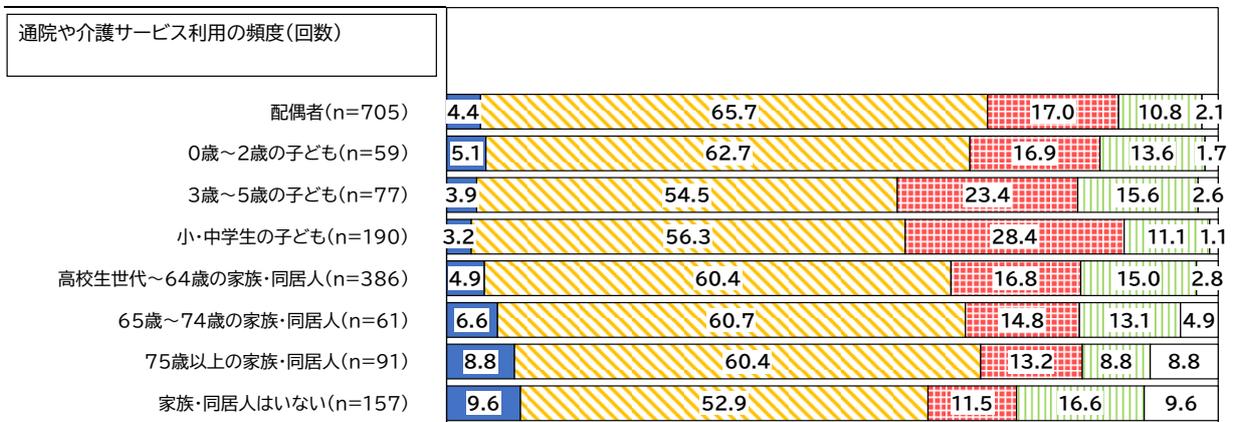
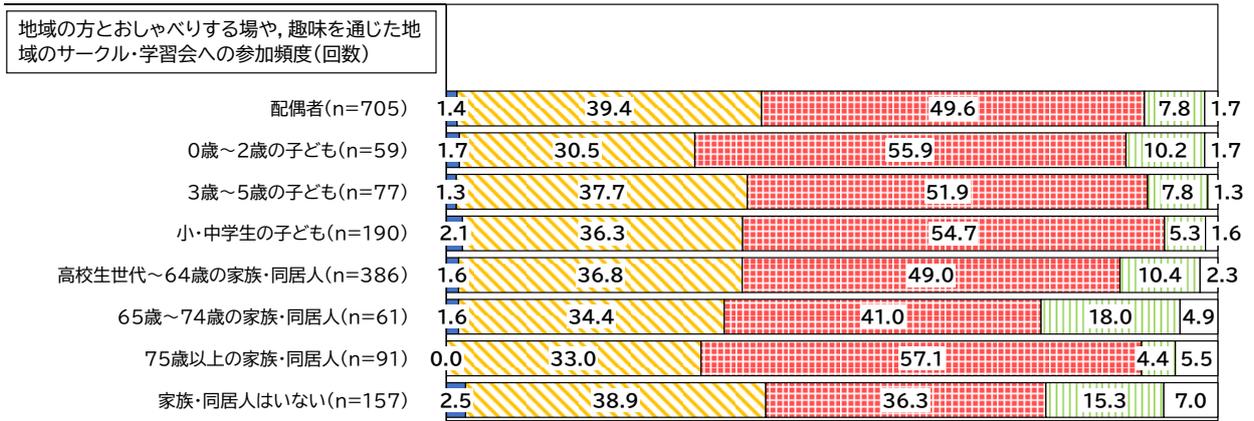
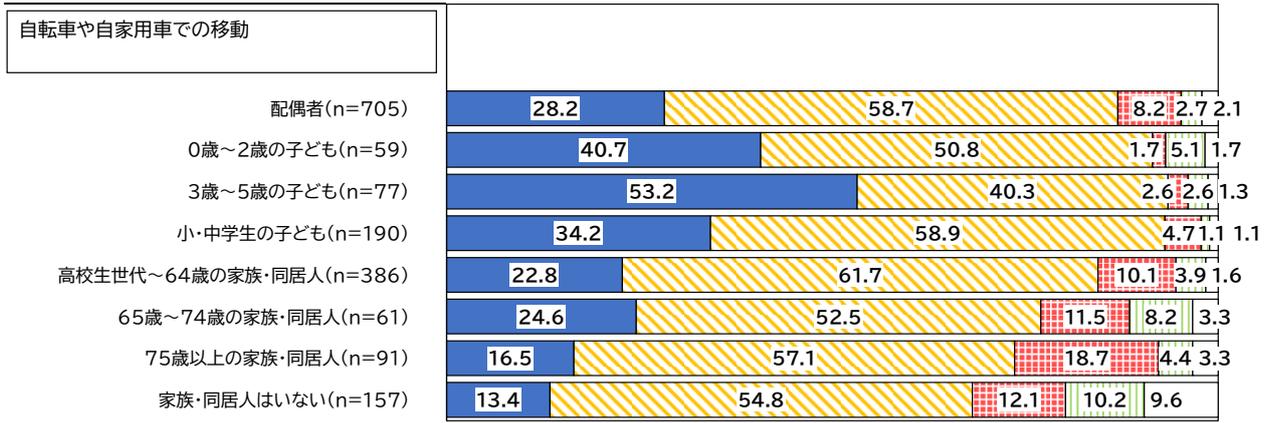
飲酒の頻度(回数) <20歳以上の方のみ>



電車やバスなどの公共交通機関での移動(通勤・通学含む)



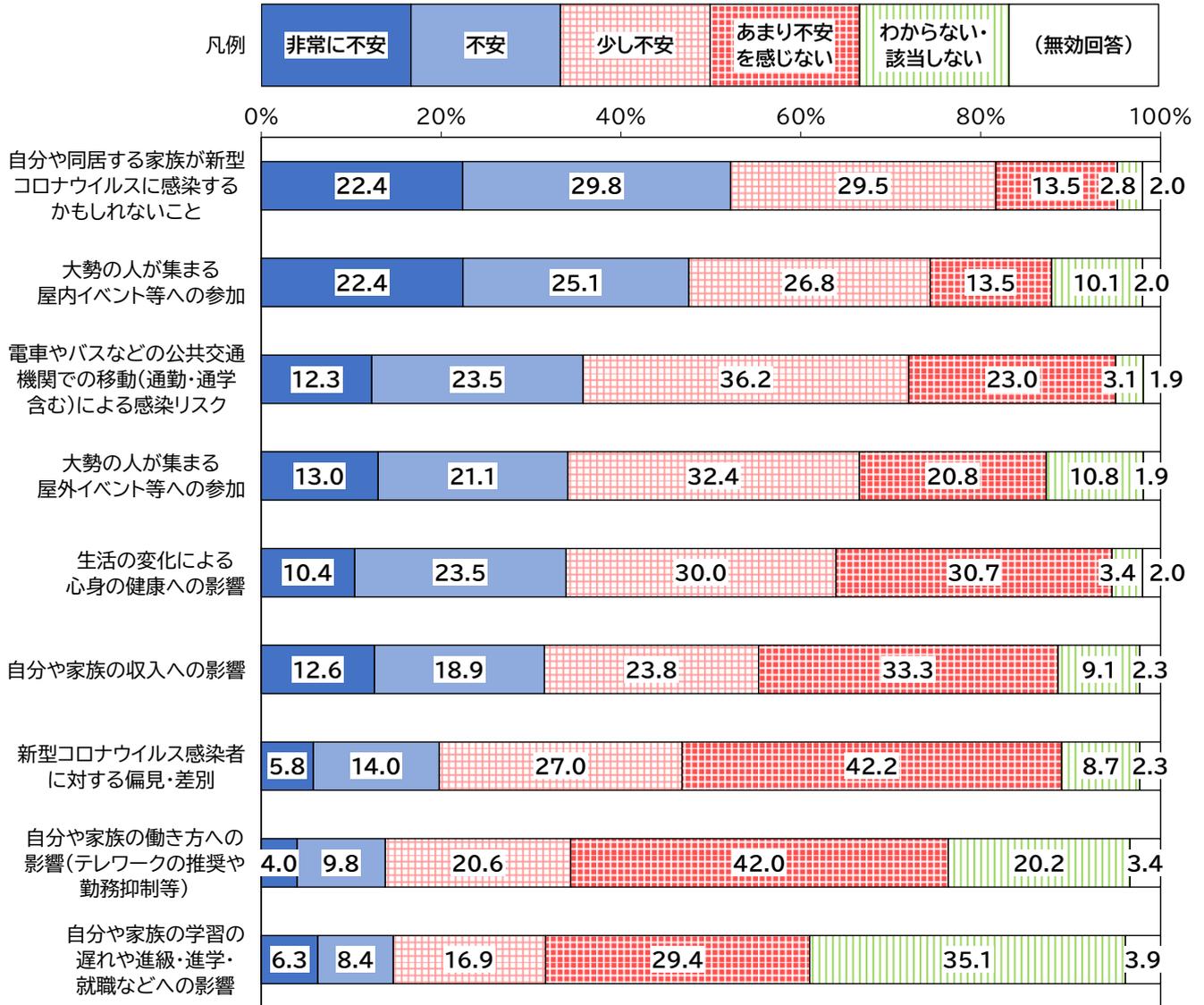
第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



問 14) あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で不安を感じていることがありますか。

<全体 (n=1,193)>

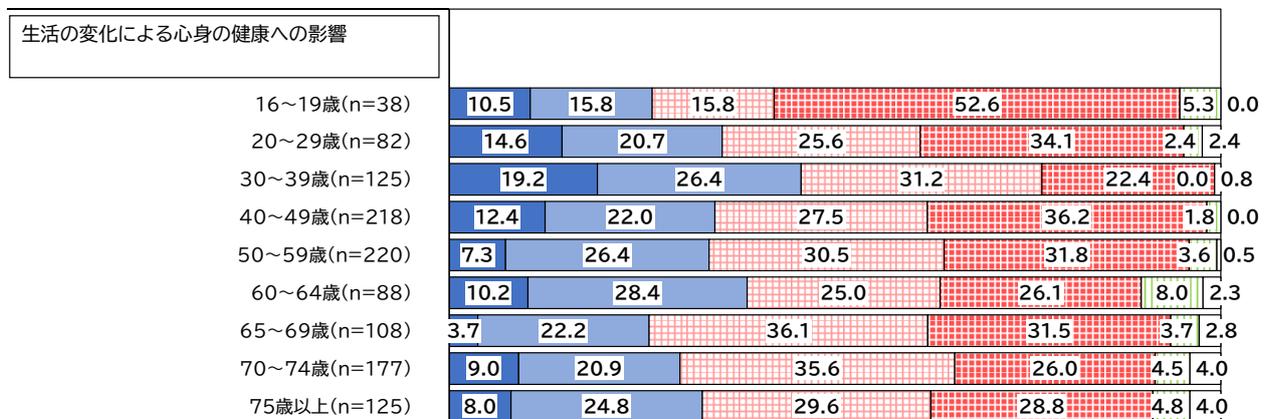
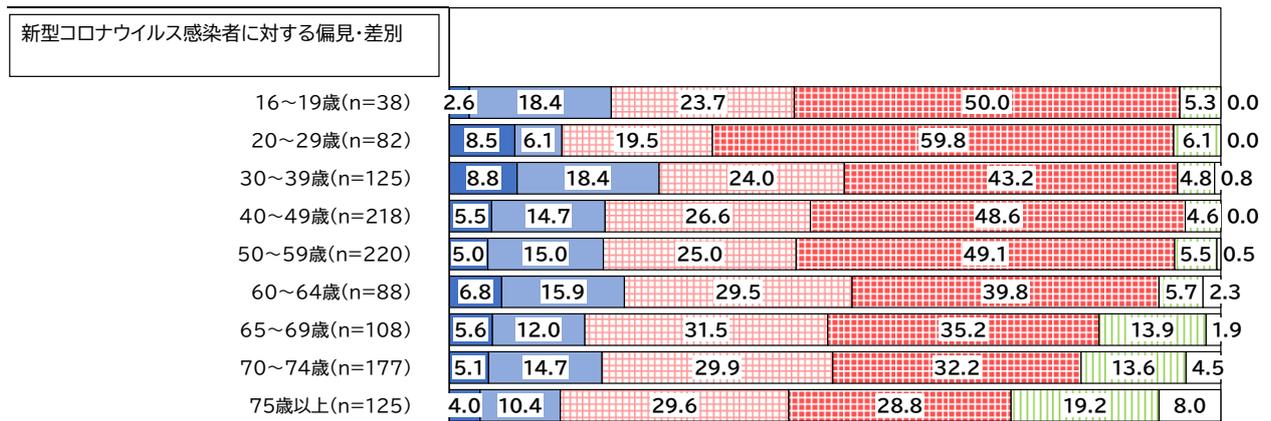
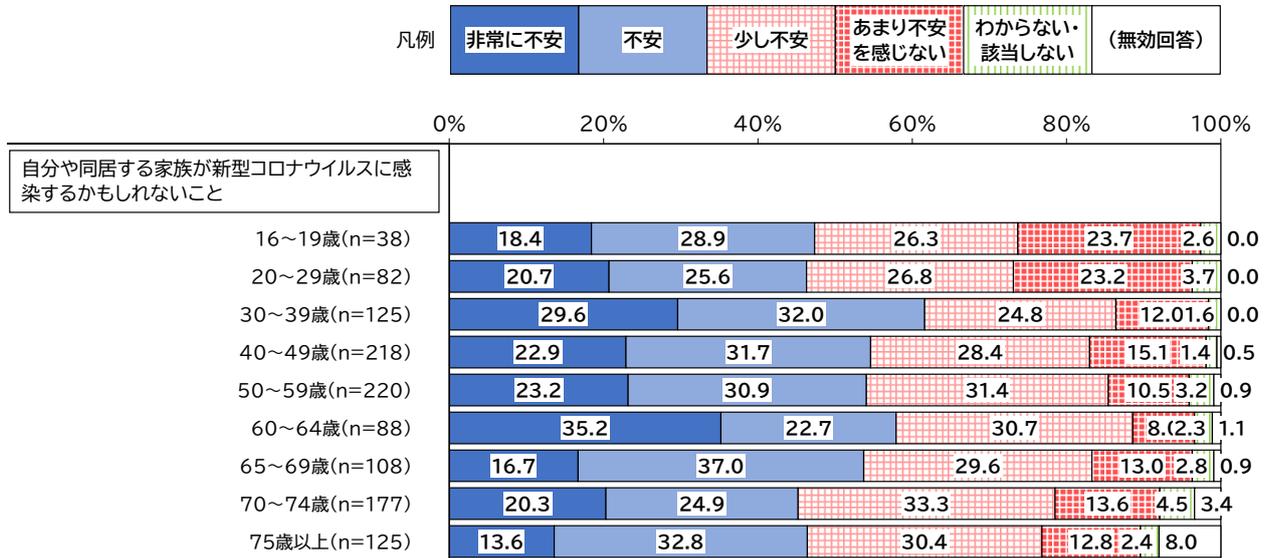
○「非常に不安」、「不安」、「少し不安」の合計は、「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」が最も高く 81.7%、次いで「大勢の人が集まる屋内イベント等への参加」の 74.3%、「電車やバスなどの公共交通機関での移動（通勤・通学含む）による感染リスク」の 72.0%の順となっています。

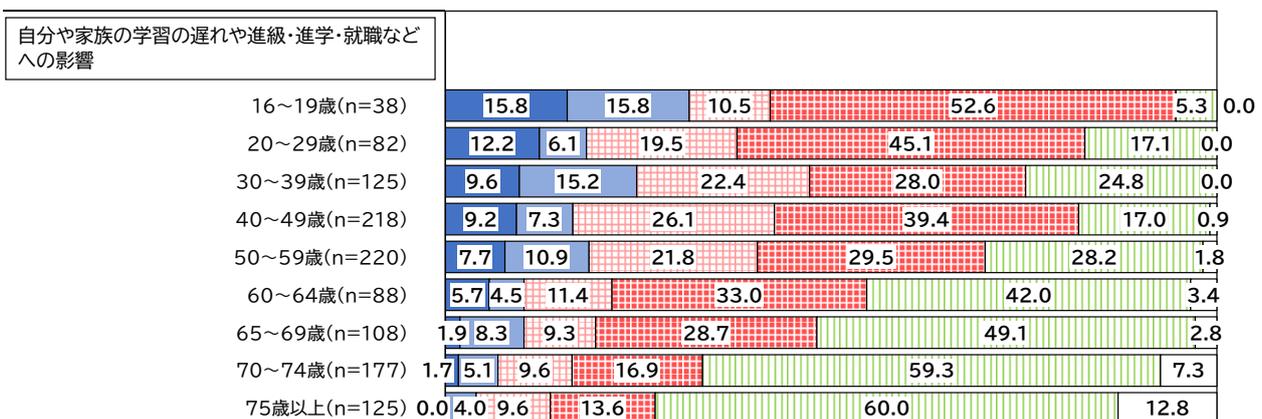
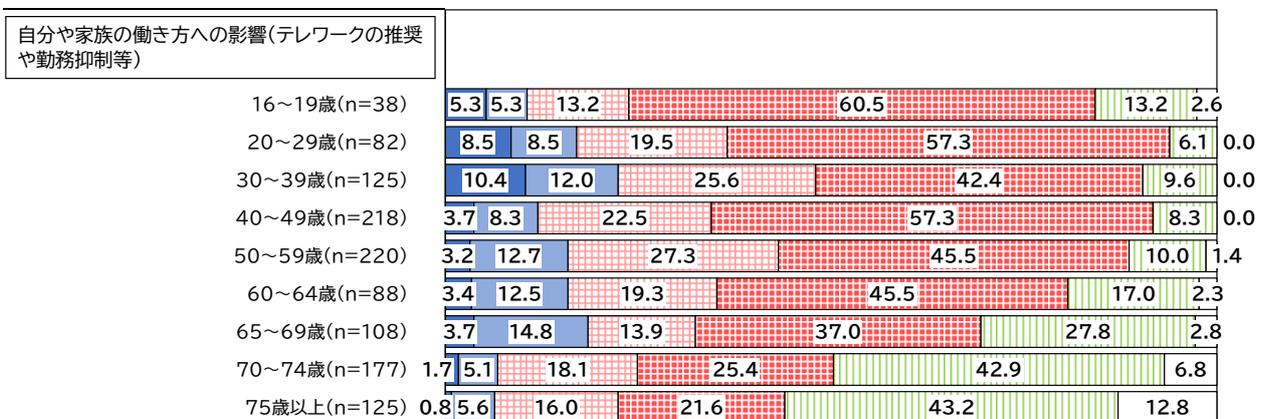
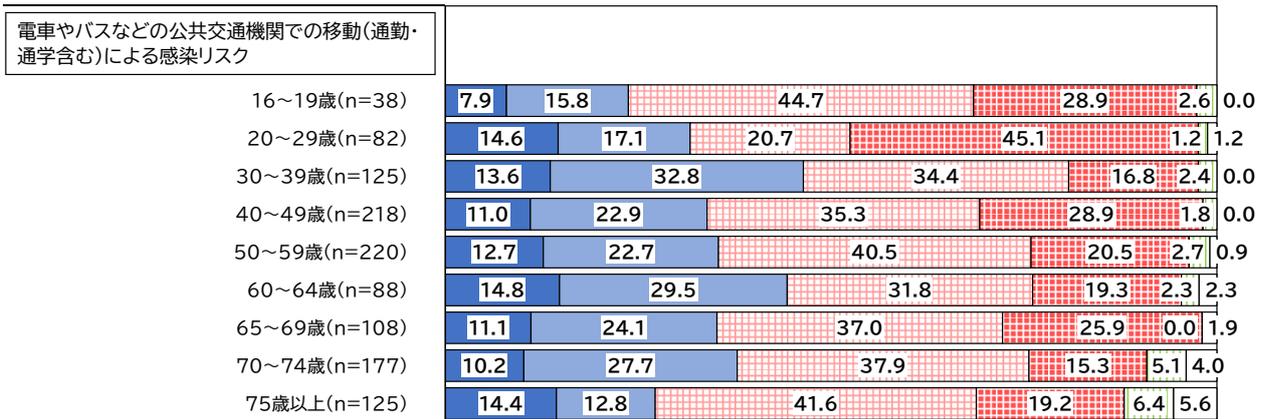
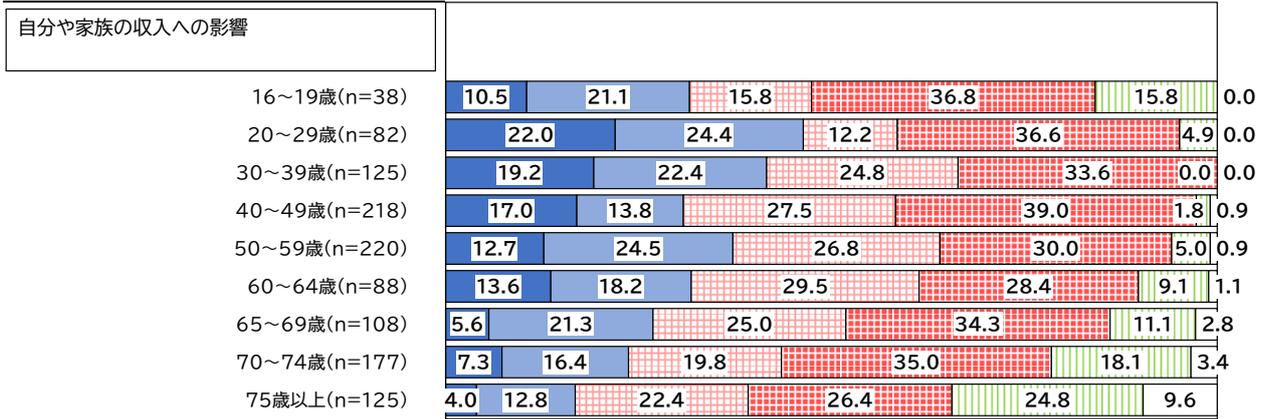


第3章 調査結果＜新型コロナウイルス感染症の影響＞

＜年齢層別＞

○「自分や家族の収入への影響」では、40歳代を除く30歳以上で「不安」（「非常に不安」、「不安」、「少し不安」）を感じるとする比率が、年齢が低いほど高くなる傾向にあります。また、30～59歳では、「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」に「不安」を感じるとする比率が高くなっています。





### 第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

#### 大勢の人が集まる屋外イベント等への参加

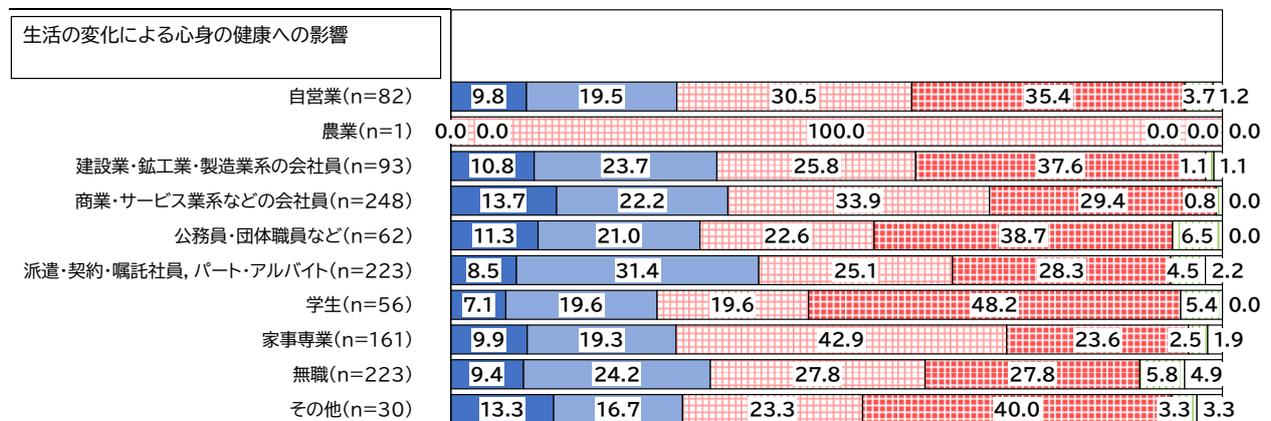
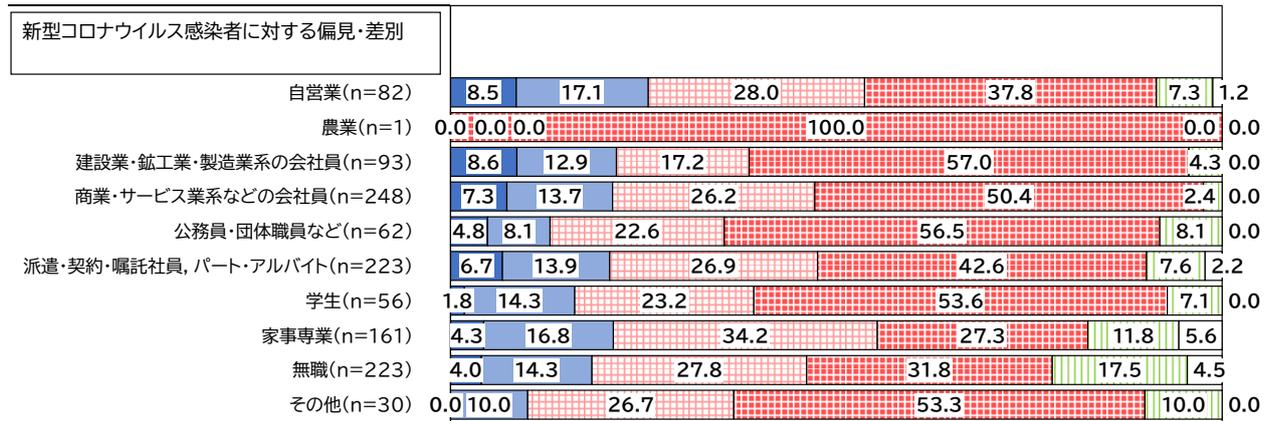
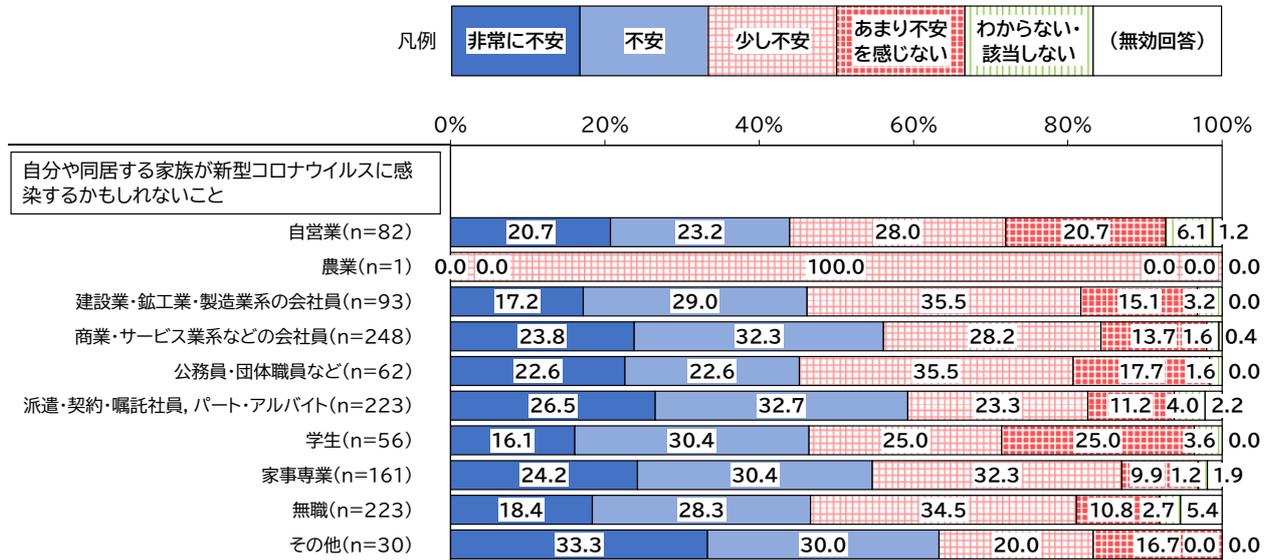
16~19歳(n=38)	13.2	23.7	28.9	28.9	5.3	0.0
20~29歳(n=82)	9.8	18.3	25.6	43.9	2.4	0.0
30~39歳(n=125)	13.6	23.2	38.4	20.0	4.8	0.0
40~49歳(n=218)	9.2	18.8	37.2	28.9	5.5	0.5
50~59歳(n=220)	14.1	24.5	34.1	20.9	5.5	0.9
60~64歳(n=88)	18.2	21.6	30.7	17.0	10.2	2.3
65~69歳(n=108)	13.9	23.1	31.5	17.6	11.1	2.8
70~74歳(n=177)	14.7	23.2	29.4	10.2	19.8	2.8
75歳以上(n=125)	12.8	13.6	27.2	9.6	31.2	5.6

#### 大勢の人が集まる屋内イベント等への参加

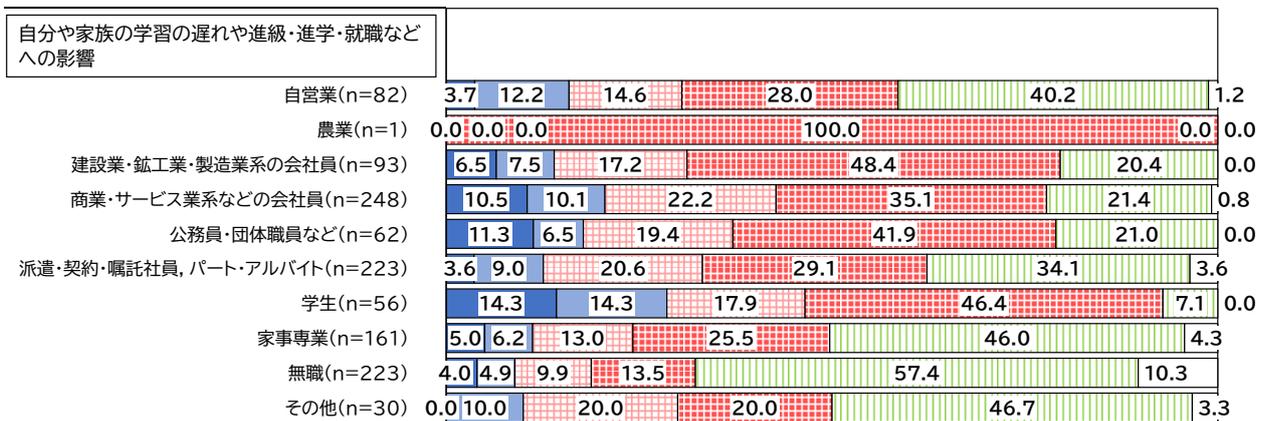
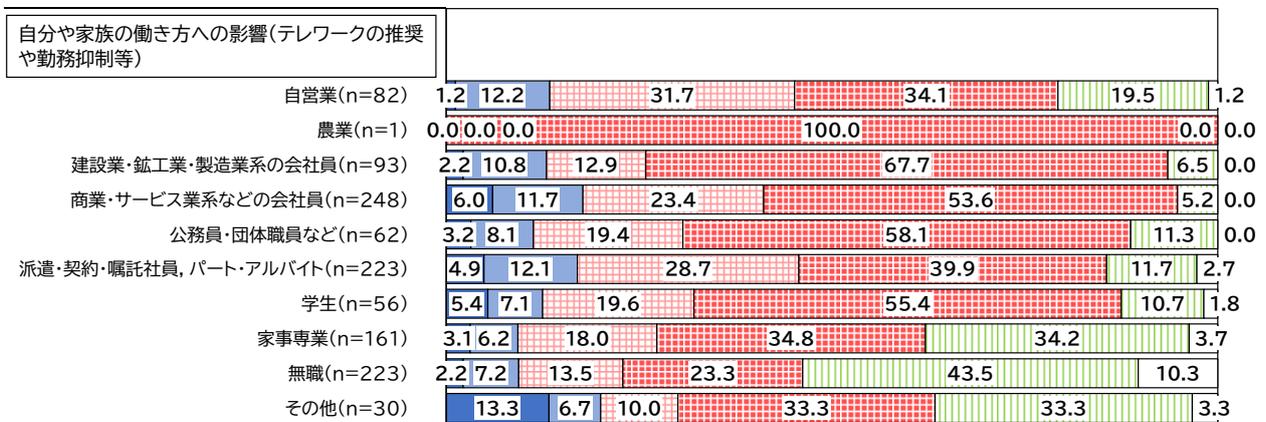
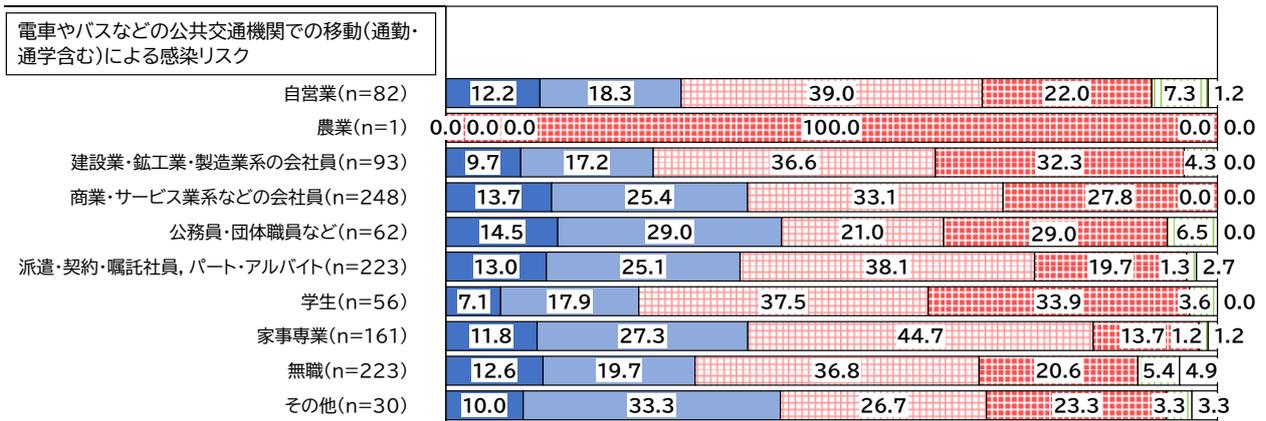
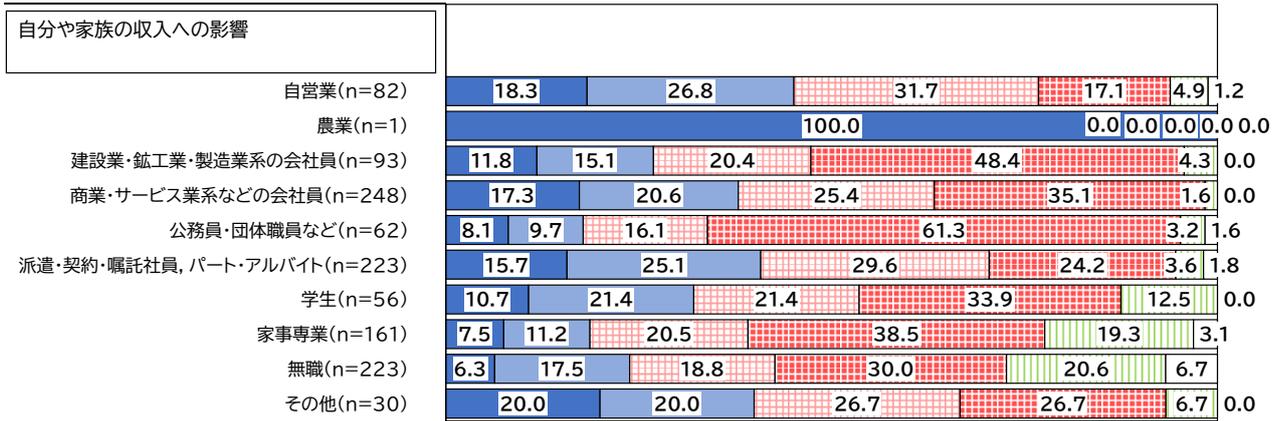
16~19歳(n=38)	21.1	26.3	26.3	21.1	5.3	0.0
20~29歳(n=82)	18.3	22.0	30.5	26.8	2.4	0.0
30~39歳(n=125)	28.8	25.6	31.2	9.6	4.8	0.0
40~49歳(n=218)	22.0	22.9	28.9	21.1	5.0	0.0
50~59歳(n=220)	21.8	26.8	31.8	13.2	5.0	1.4
60~64歳(n=88)	27.3	25.0	26.1	10.2	9.1	2.3
65~69歳(n=108)	20.4	35.2	19.4	12.0	11.1	1.9
70~74歳(n=177)	21.5	28.2	22.6	6.2	18.6	2.8
75歳以上(n=125)	20.0	15.2	20.0	8.8	28.8	7.2

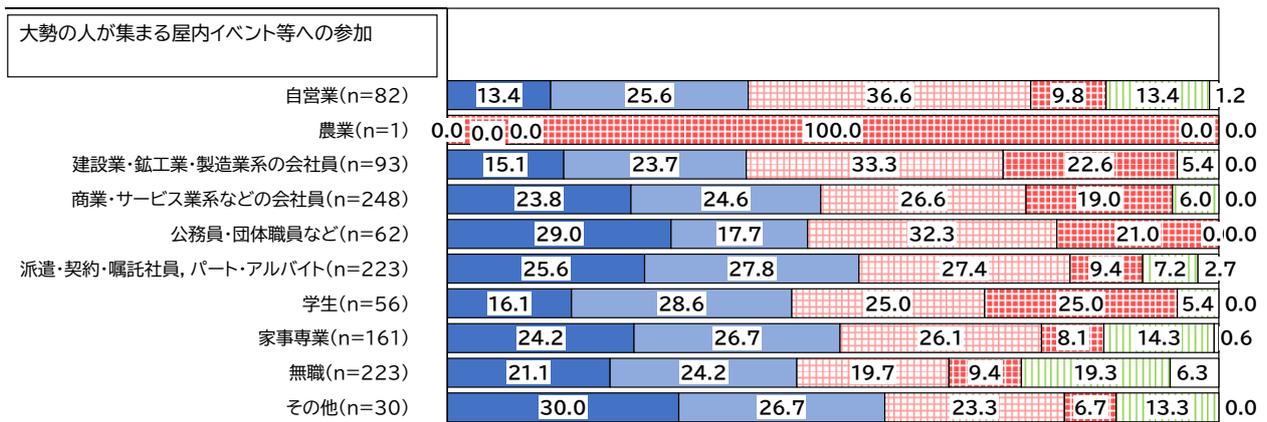
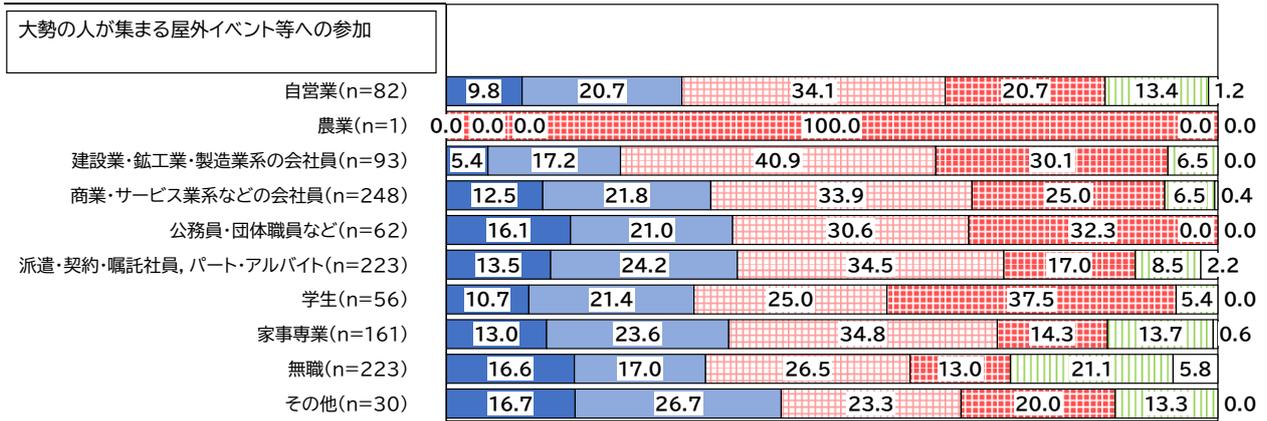
<職業別>

○「不安」(「非常に不安」「不安」「少し不安」)を感じるとする比率について、「自分や家族の収入への影響」は「自営業」、「農業」、「商業・サービス業系などの会社員」、「派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト」において高く、「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」では「学生」で高くなっています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

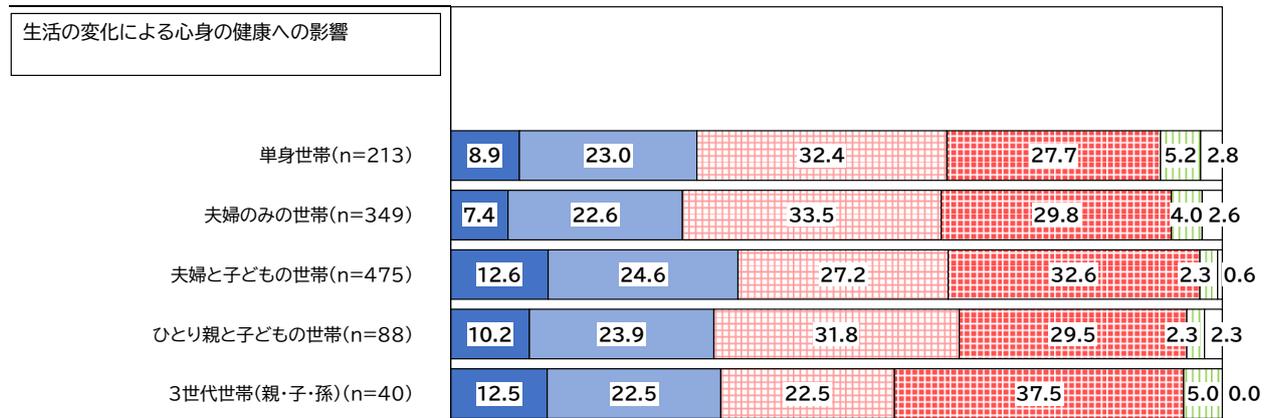
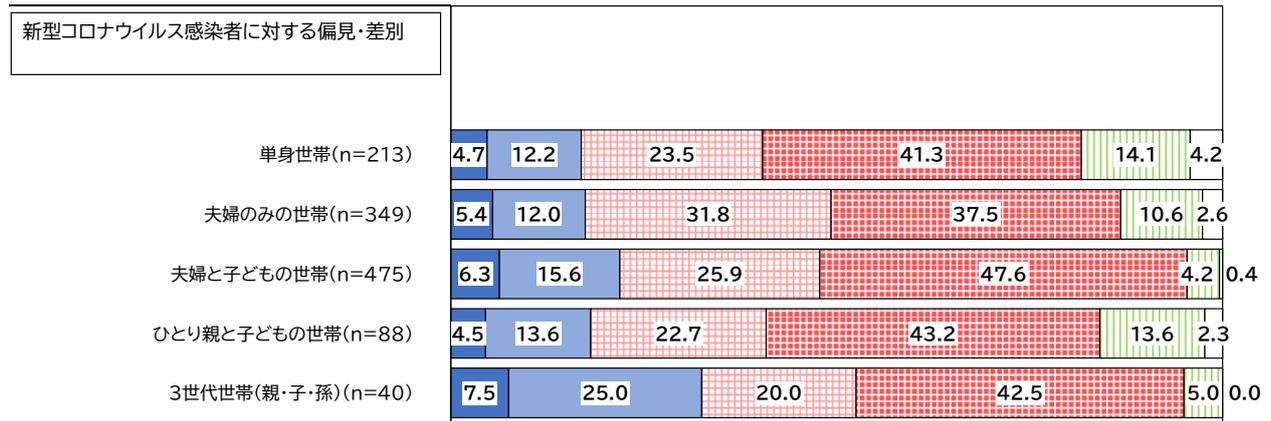
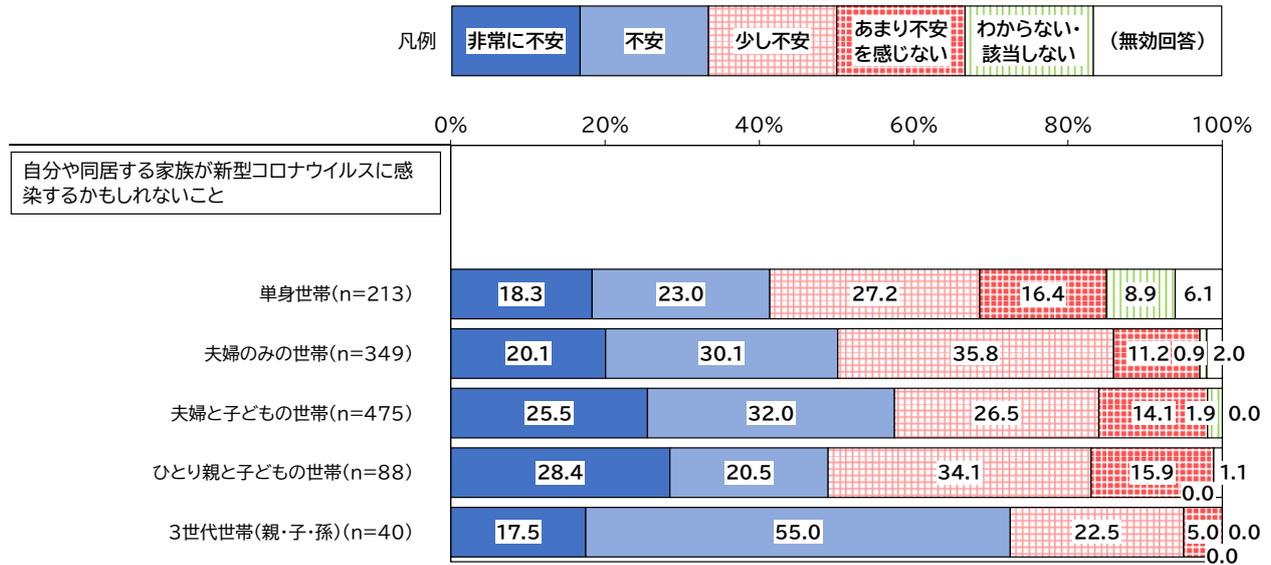


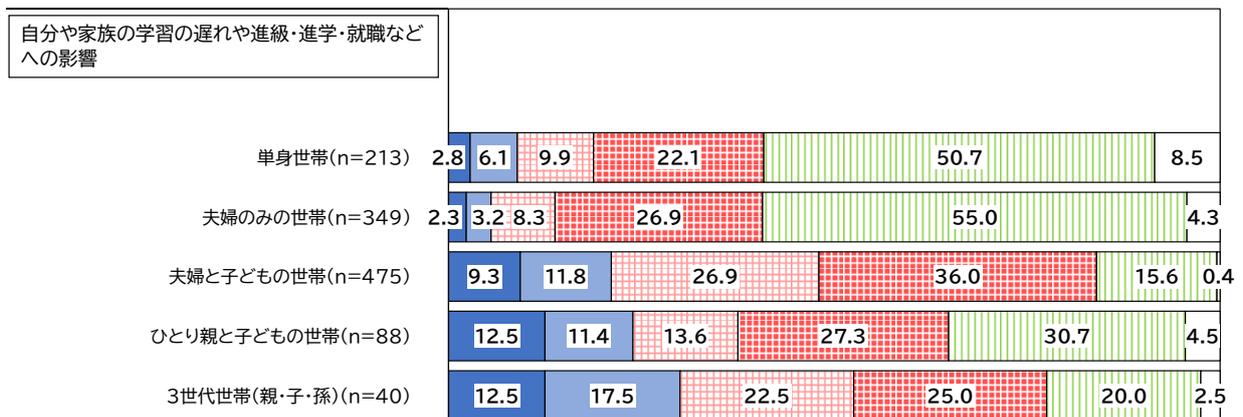
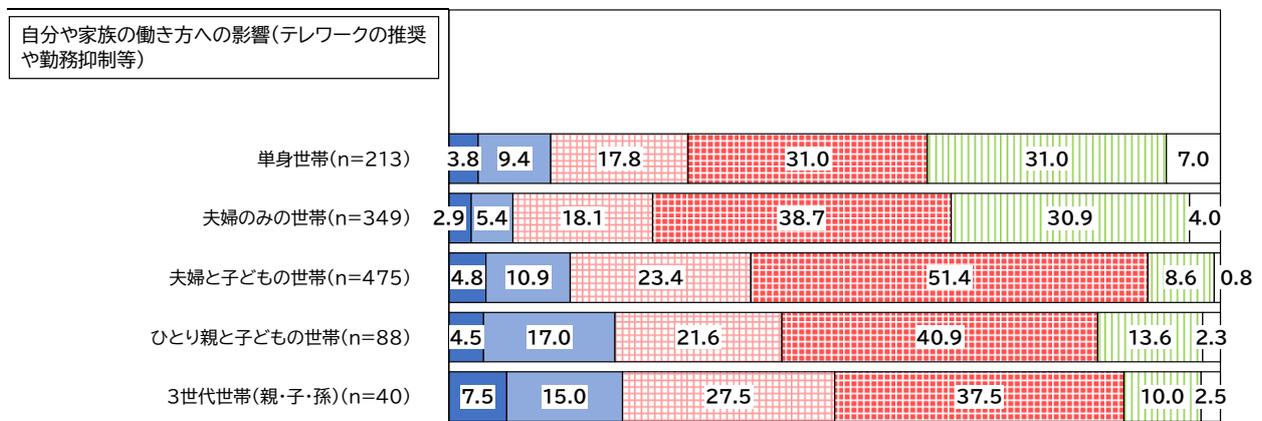
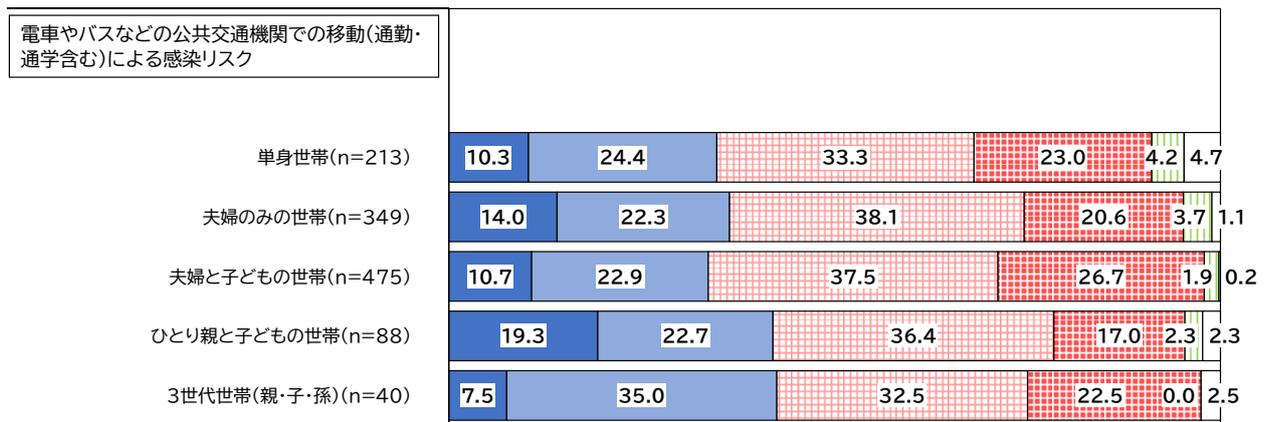
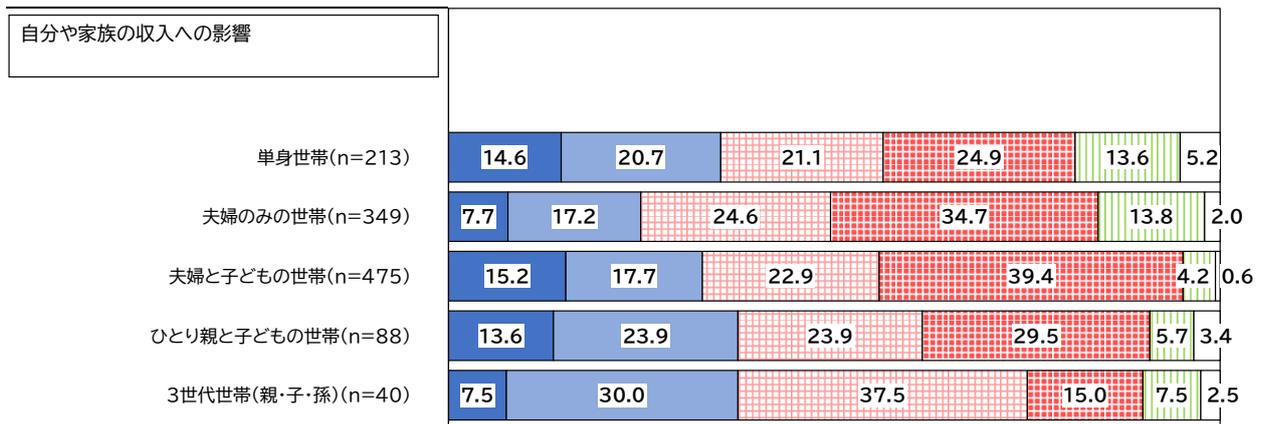


第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>

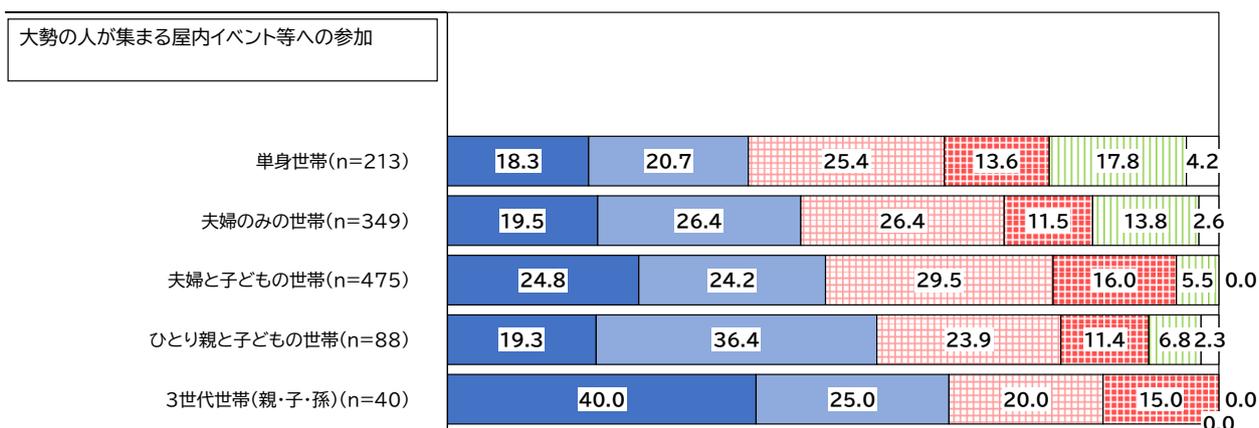
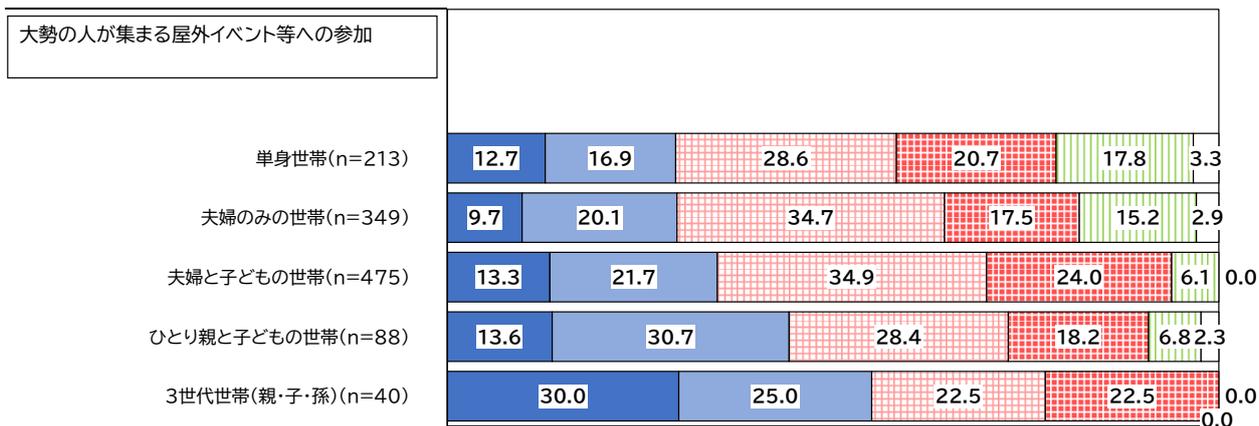
<家族構成別>

○「不安」（「非常に不安」「不安」「少し不安」）を感じるとする比率について、「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」では「3世代世帯（親・子・孫）」が90%を超えています。



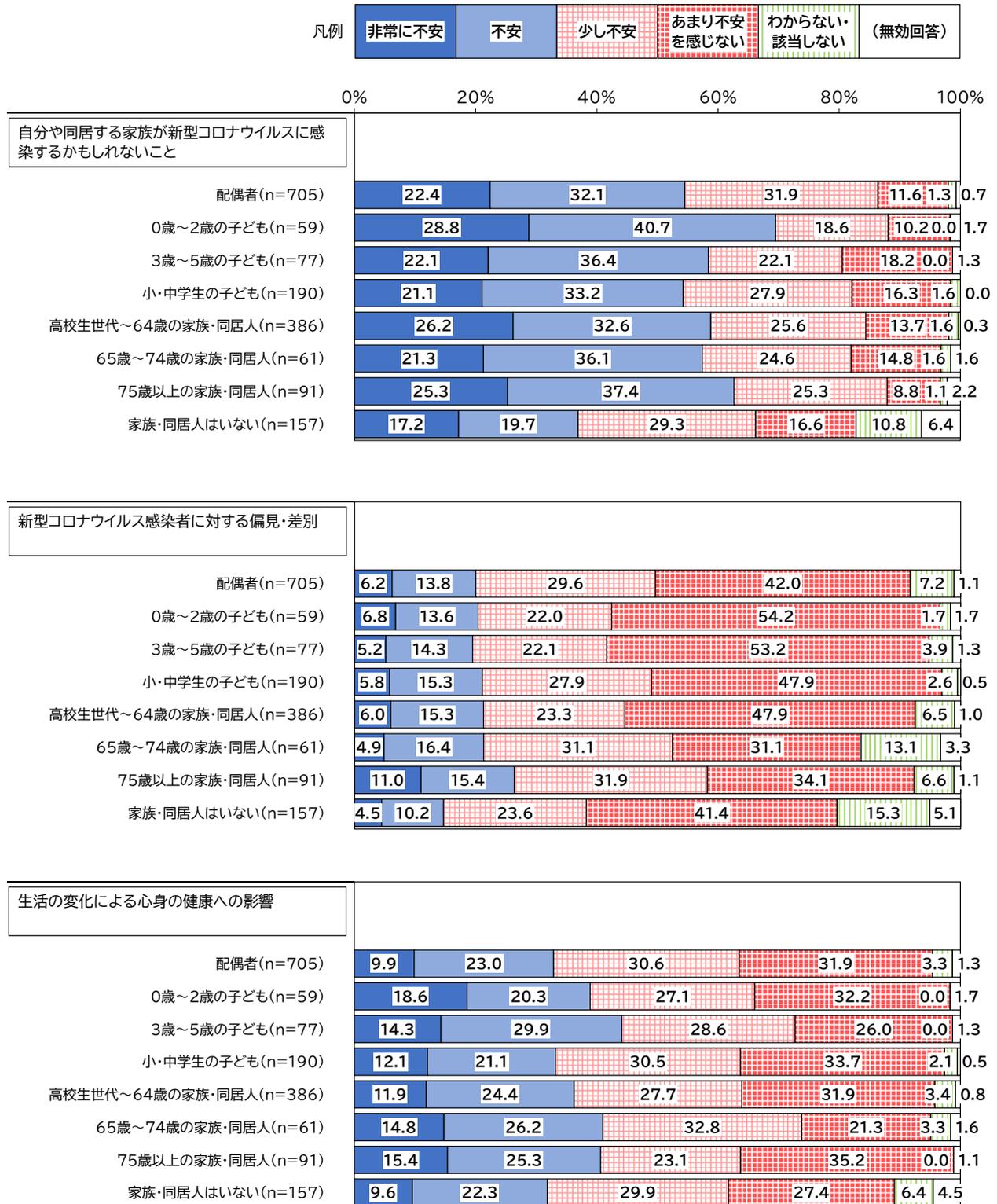


第3章 調査結果＜新型コロナウイルス感染症の影響＞

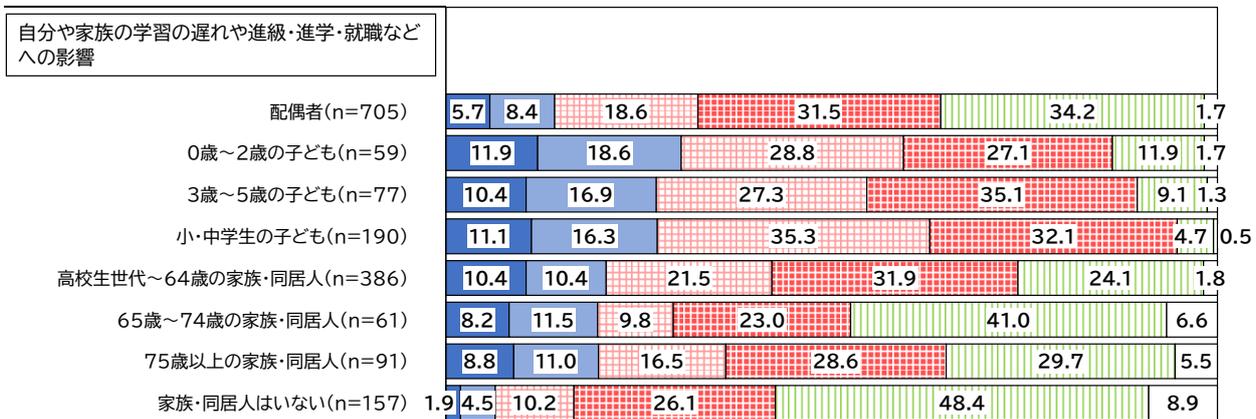
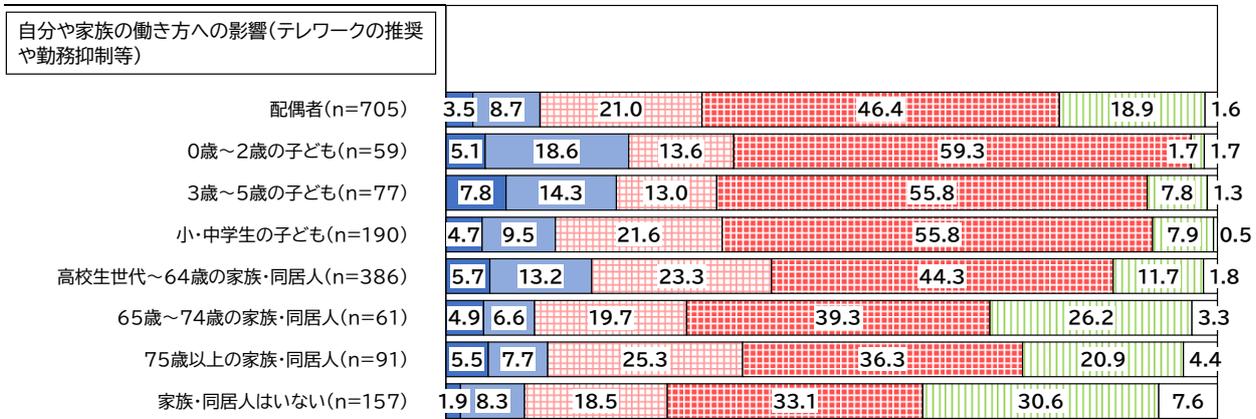
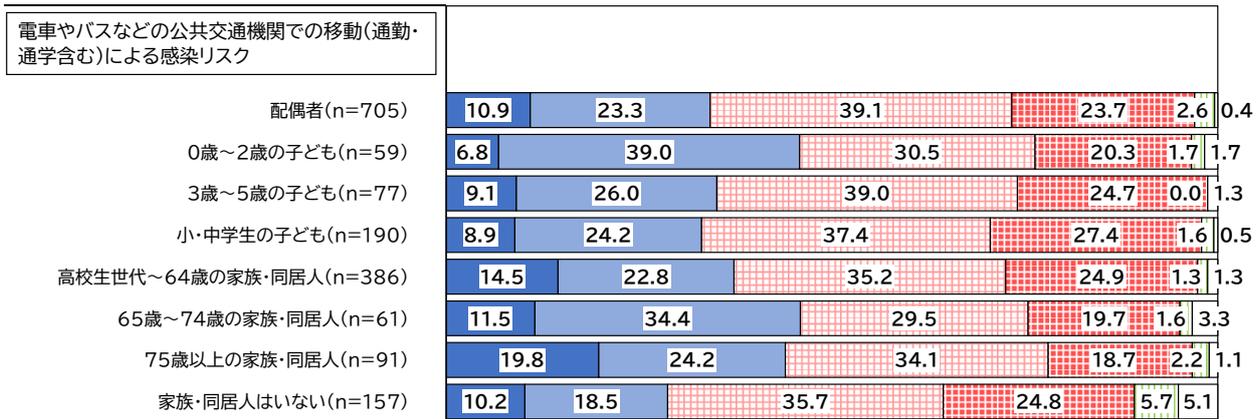
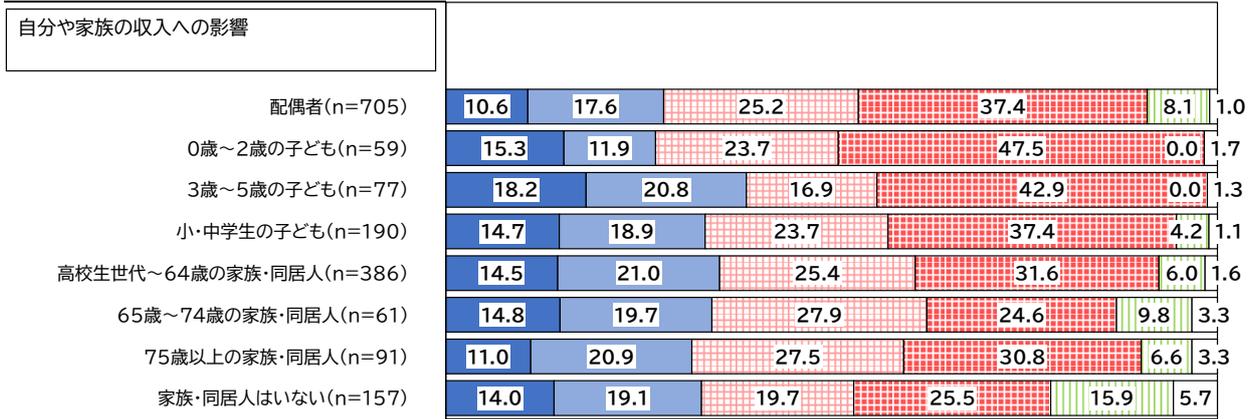


<同居人別>

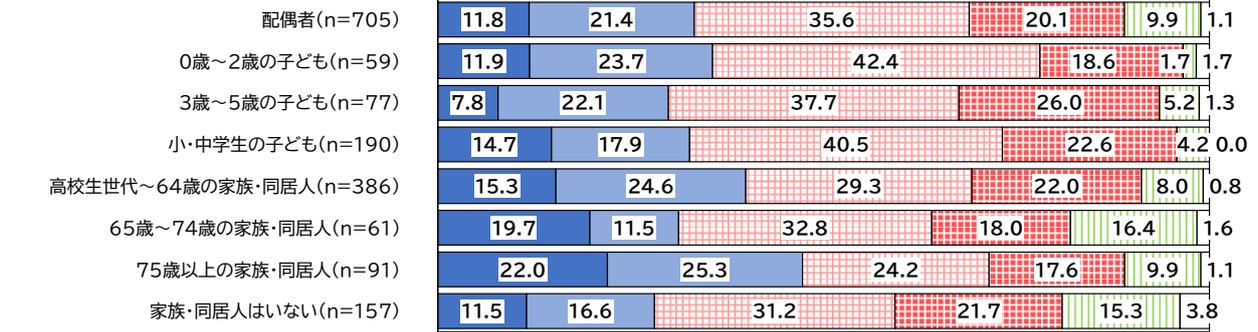
○「自分や同居する家族が新型コロナウイルスに感染するかもしれないこと」では、「0歳～2歳の子ども」と「75歳以上の家族・同居人」で「不安」（「非常に不安」「不安」「少し不安」）を感じるとする比率が高くなっています。また、「自分や家族の学習の遅れや進級・進学・就職などへの影響」では、「0歳～小・中学生の子ども」で「不安」を感じるとする比率が高くなっています。



第3章 調査結果<新型コロナウイルス感染症の影響>



大勢の人が集まる屋外イベント等への参加



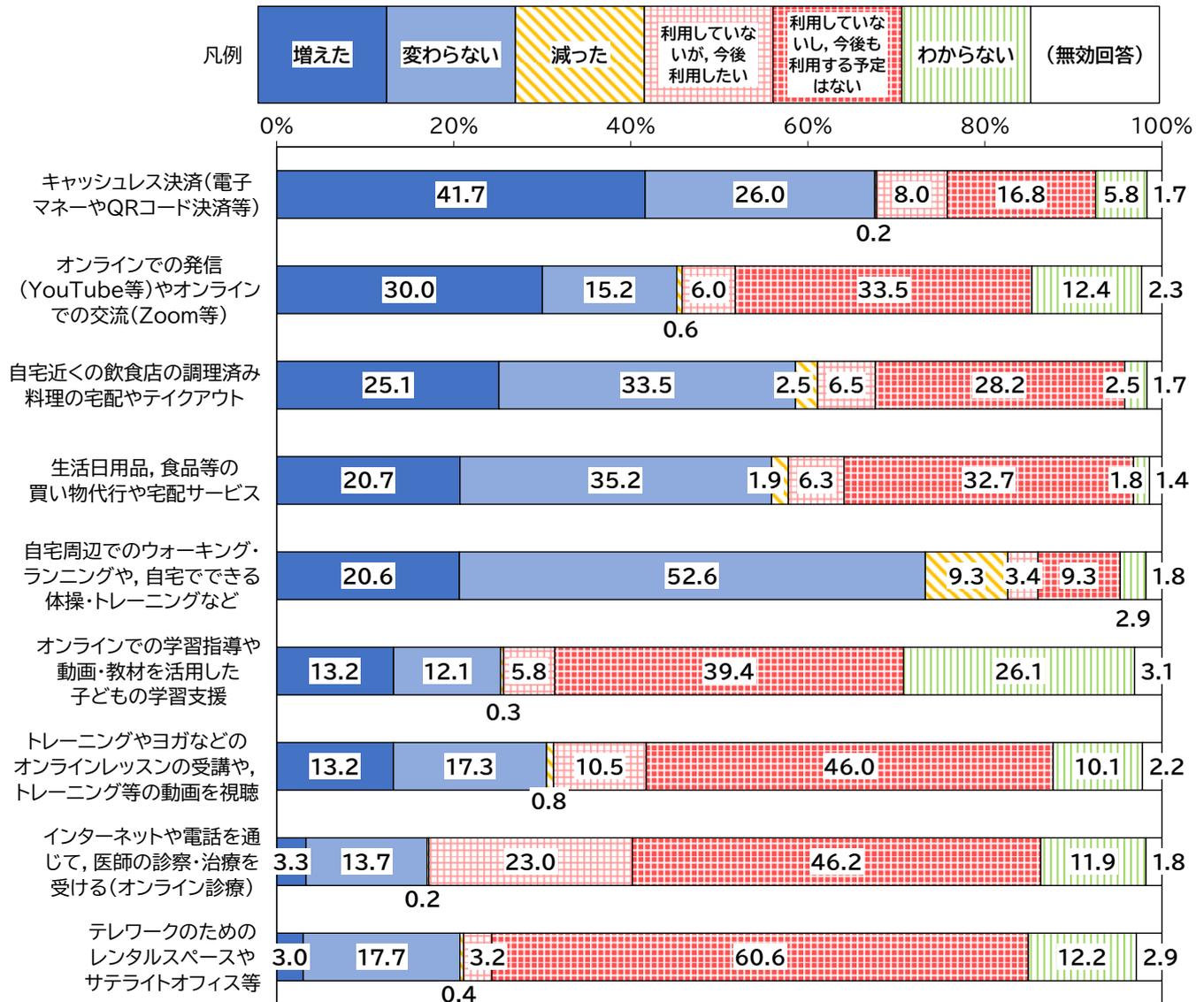
大勢の人が集まる屋内イベント等への参加



問 15) 新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、利用頻度に変化はありましたか。

＜全体（n=1,193）＞

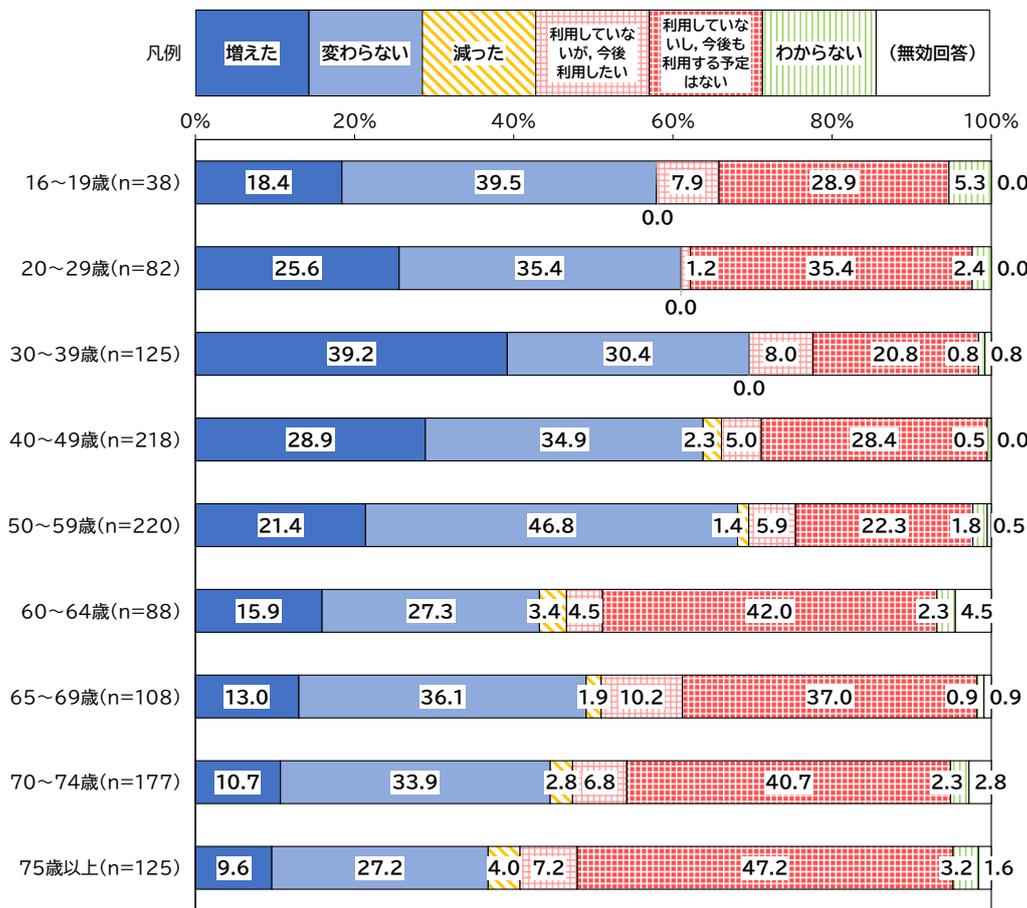
○「増えた」は、「キャッシュレス決済（電子マネーやQRコード決済等）」が41.7%で最も高く、次いで「オンラインでの発信（YouTube等）やオンラインでの交流（Zoom等）」の30.0%、「自宅近くの飲食店の調理済み料理の宅配やテイクアウト」の25.1%の順となっています。



<年齢層別>

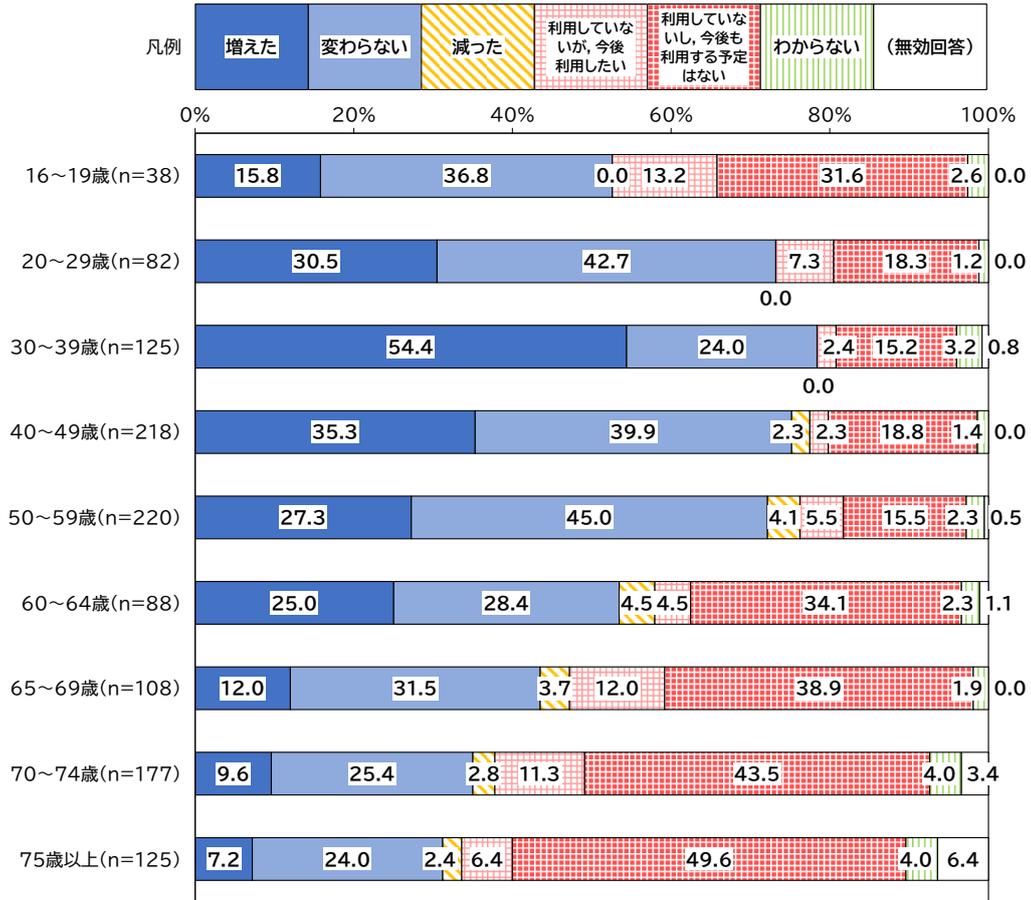
- 「自宅周辺でのウォーキング・ランニングや、自宅でできる体操・トレーニングなど」、「オンラインでの発信（YouTube等）やオンラインでの交流（Zoom等）」は、年齢が下がるほど「増えた」が高くなる傾向にあります。
- 「オンラインでの学習指導や動画・教材を活用した子どもの学習支援」では、16～19歳で「増えた」が40%を超え、高くなっています。

ア 生活日用品、食品等の買い物代行や宅配サービス

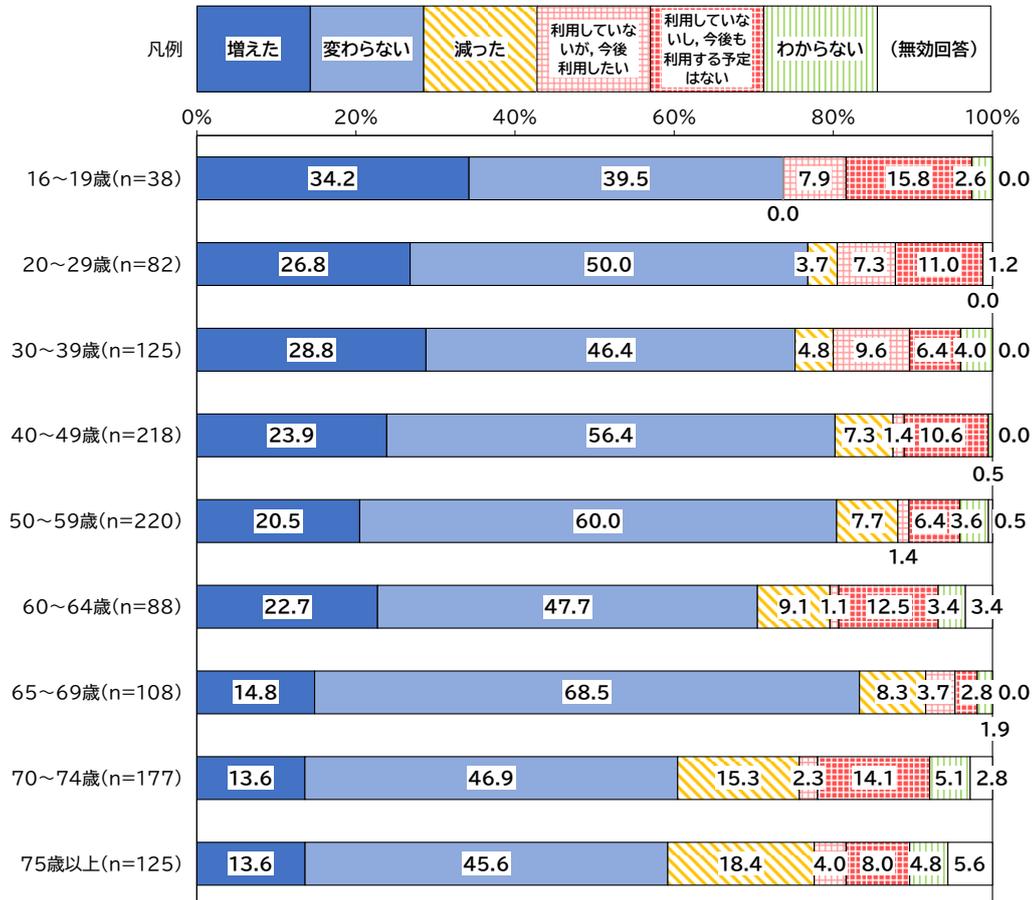


第3章 調査結果＜新型コロナウイルス感染症の影響＞

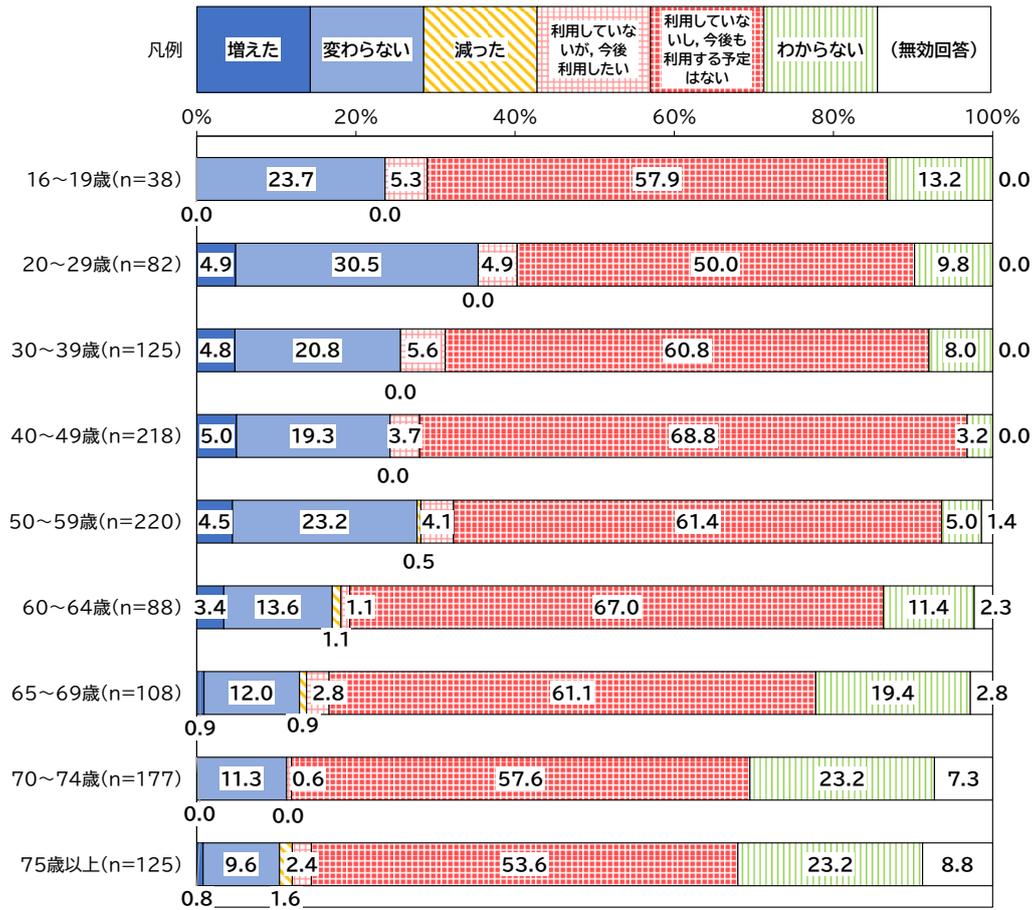
イ 自宅近くの飲食店の調理済み料理の宅配やテイクアウト



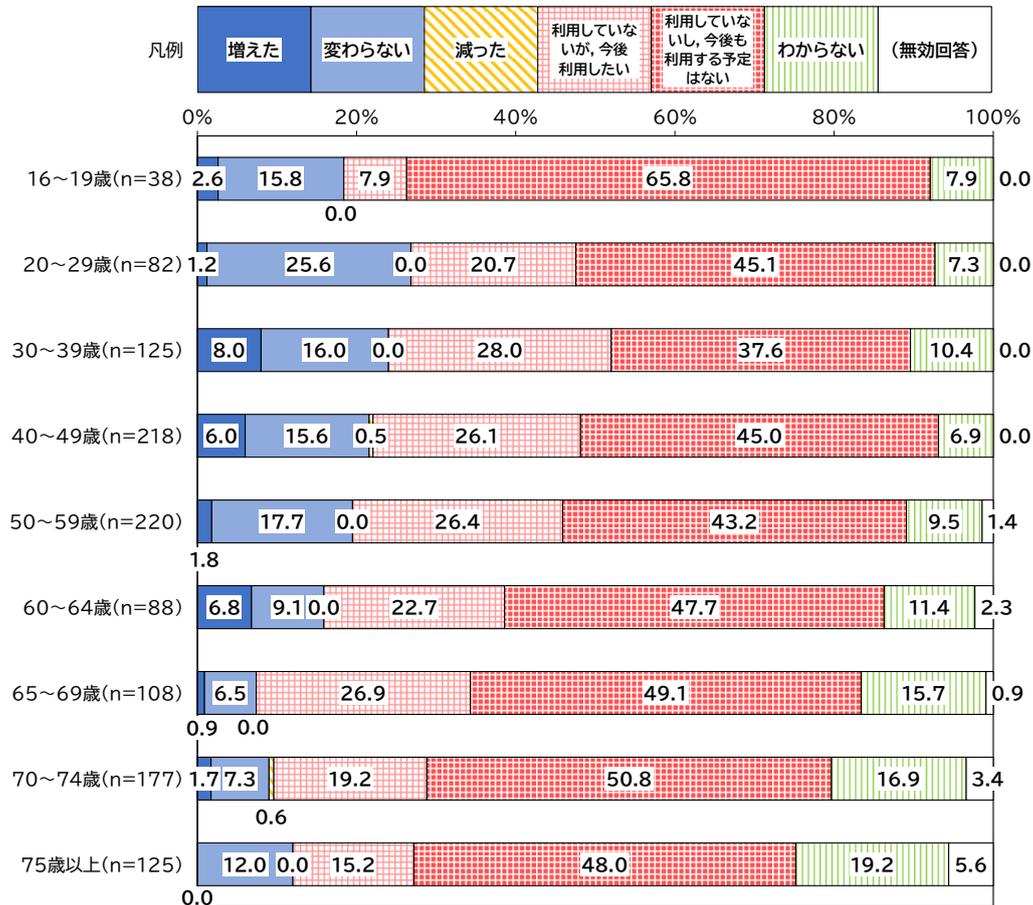
ウ 自宅周辺でのウォーキング・ランニングや、自宅のできる体操・トレーニングなど



エ テレワークのためのレンタルスペースやサテライトオフィス等

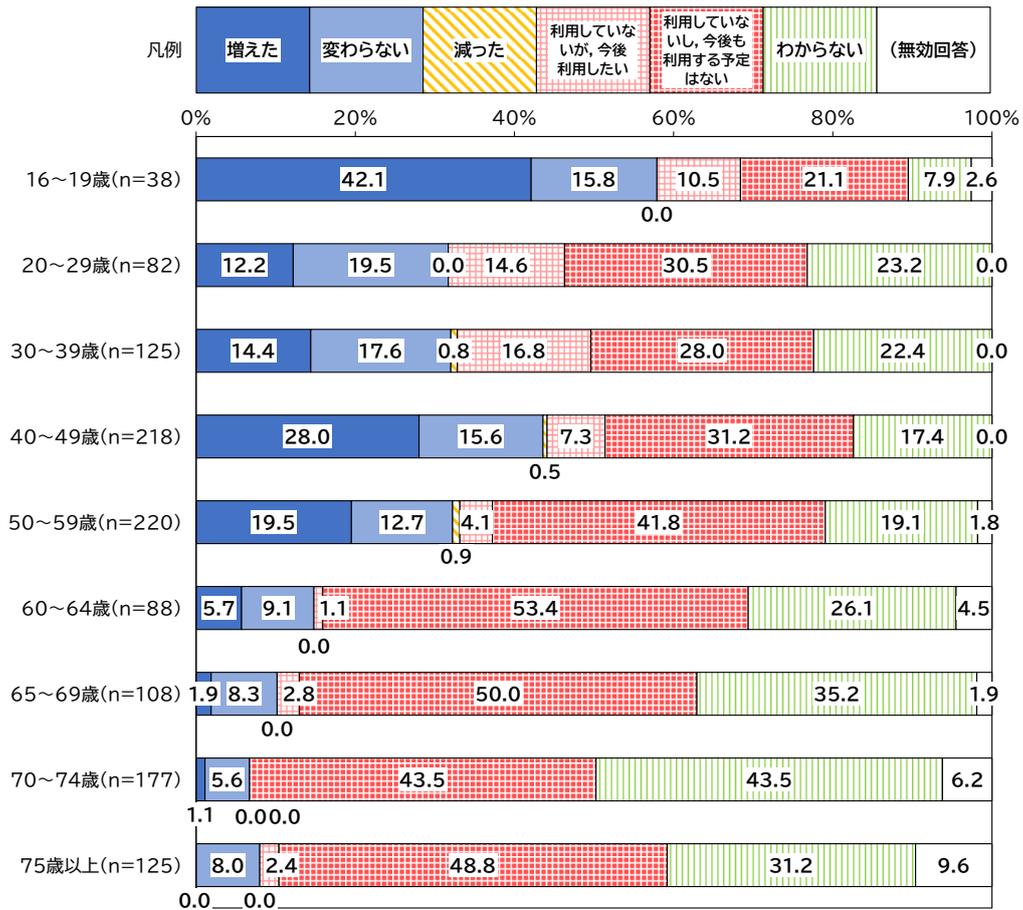


オ インターネットや電話を通じて、医師の診察・治療を受ける（オンライン診療）

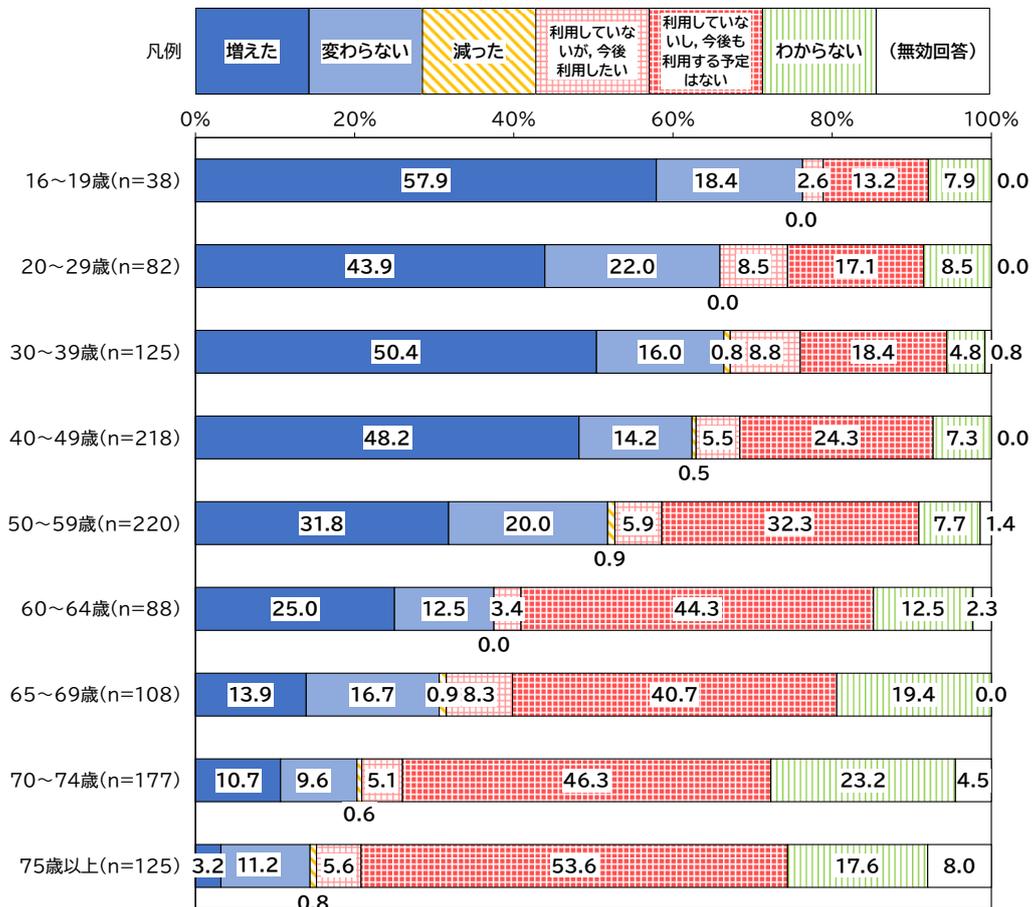


第3章 調査結果＜新型コロナウイルス感染症の影響＞

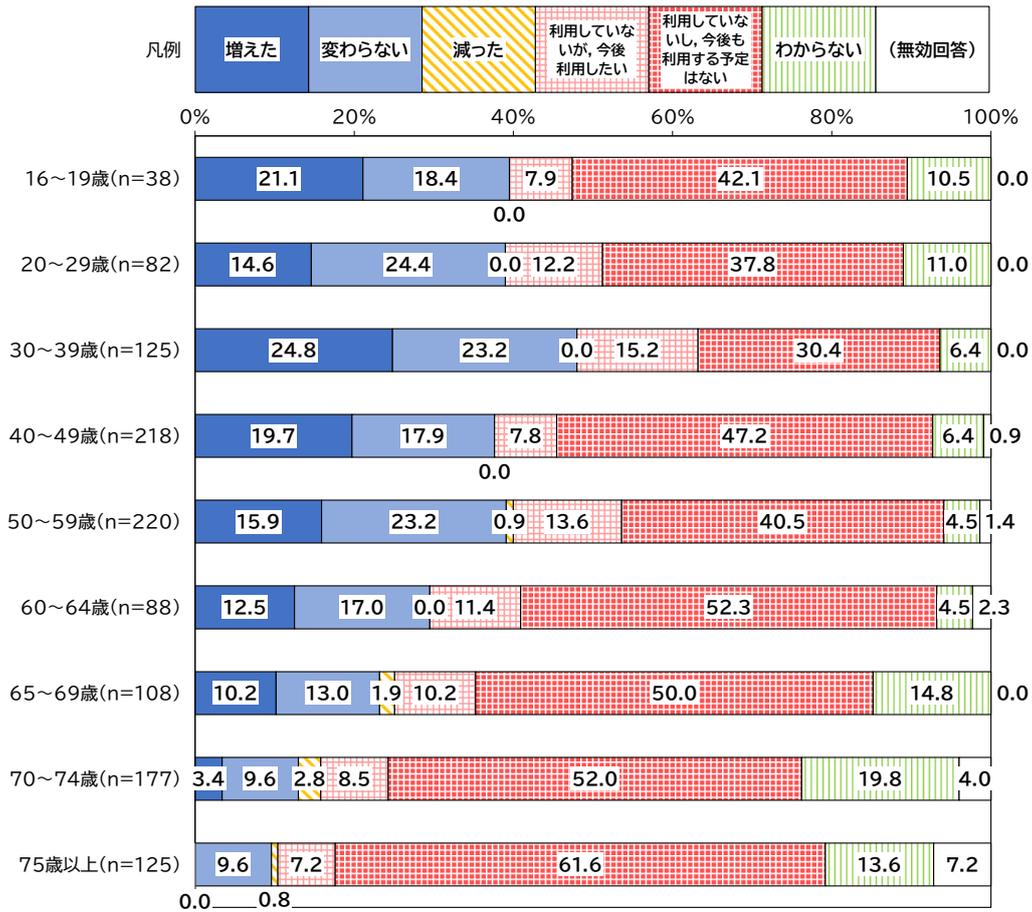
カ オンラインでの学習指導や動画・教材を活用した子どもの学習支援



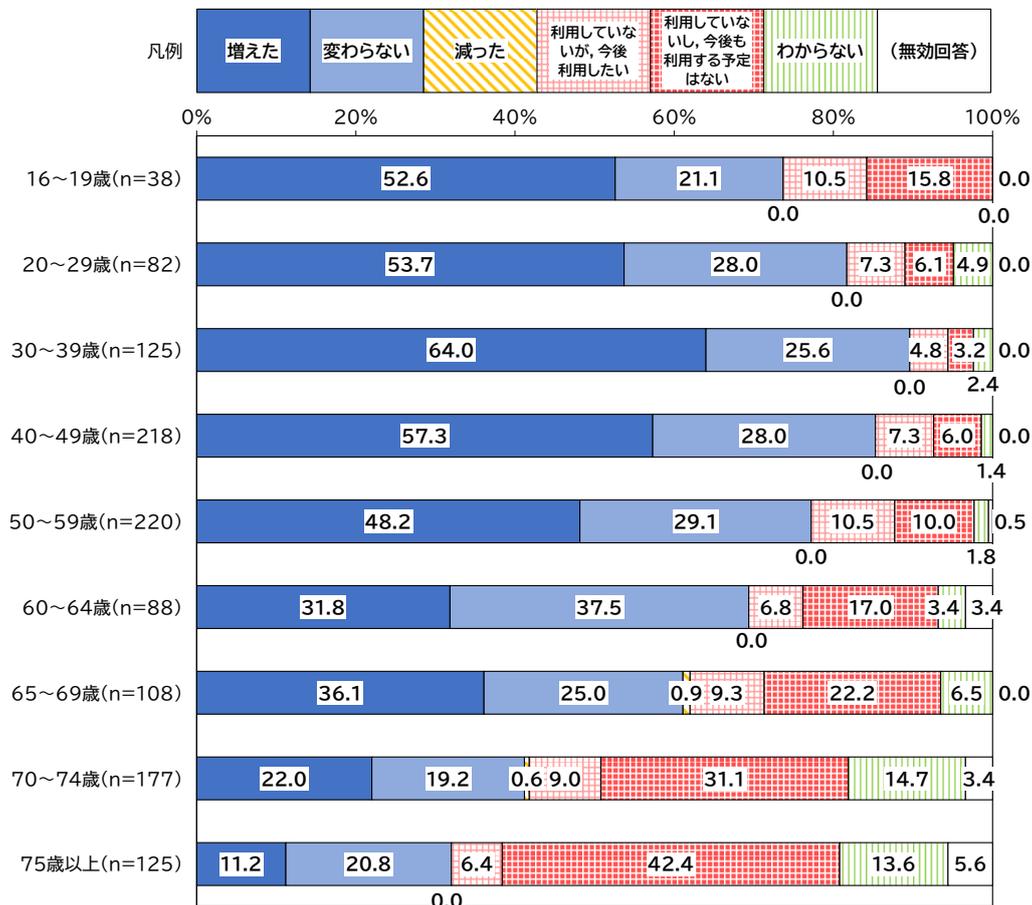
キ オンラインでの発信（YouTube等）やオンラインでの交流（Zoom等）



ク トレーニングやヨガなどのオンラインレッスンの受講や、トレーニング等の動画を視聴



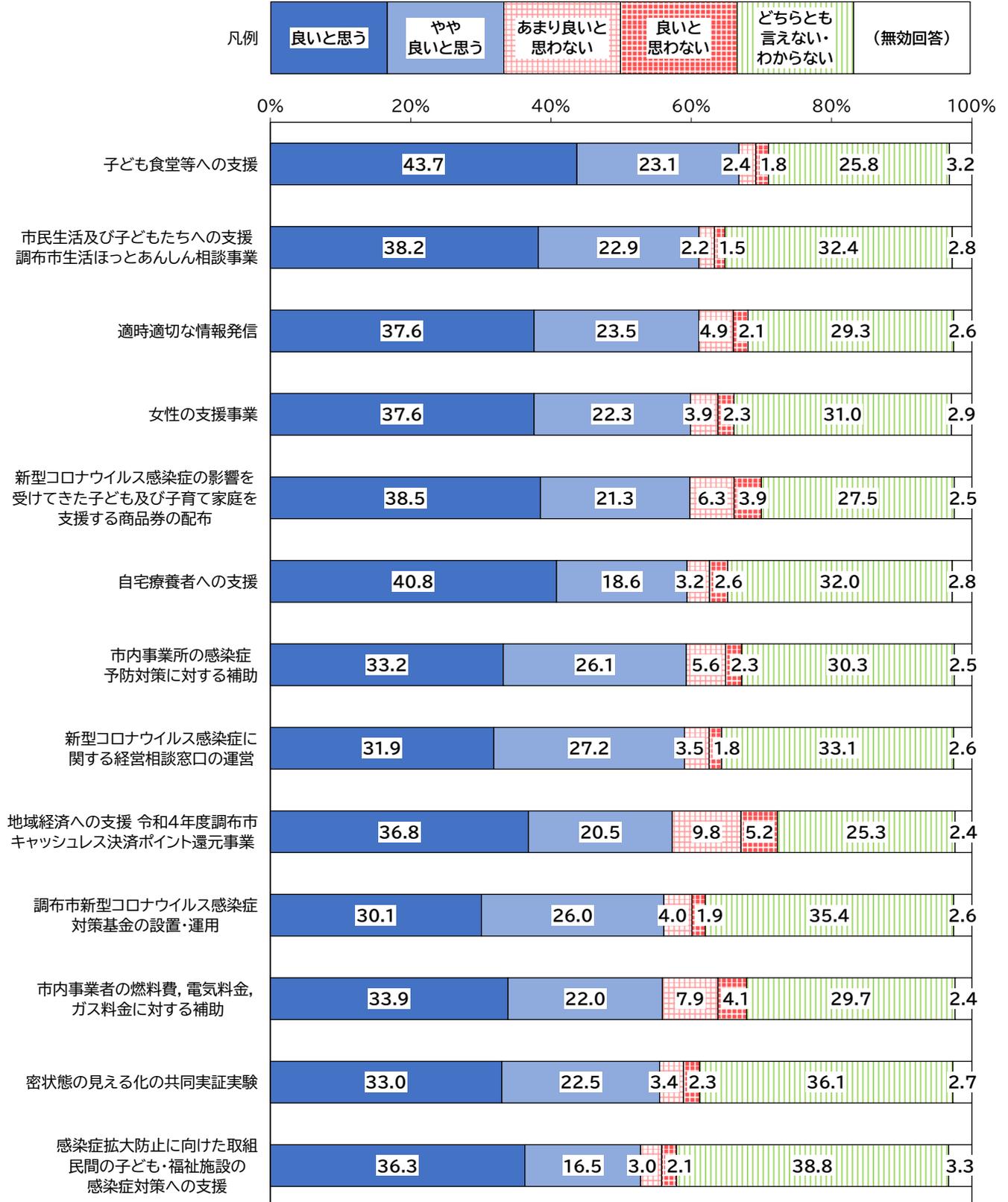
ケ キャッシュレス決済（電子マネーやQRコード決済等）



問 16) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う次の市独自の対策についてどう思いますか。

＜全体（n=1,193）＞

○「良いと思う」と「やや良いと思う」の合計は、「子ども食堂への支援」が66.8%で最も高く、次いで「市民生活及び子どもたちへの支援調布市生活ほっとあんしん相談事業」と「適時適切な情報発信」の61.1%の順となっています。



＜自由記述＞主な意見を抜粋

【図表 新型コロナウイルス感染症への対応について、  
市が独自に実施または改善・強化すべき事項のご意見・ご提案】(112件)

- ・ LINE の相談窓口が欲しい。
- ・ 飲食店経営者への支援は本当に必要ではないところに支援されている気がする。実際に売上が著しく減っているところにだけでいいと思う。
- ・ ウイルス感染症は「かかってはいけないもの」という前提を見直す必要がある。
- ・ スマホを持たない高齢者等への情報提供の方法に、工夫が必要と思う。
- ・ 保育園や幼稚園などが閉鎖になってしまった時などの子供の預かりサービスや母親へのサポートがあるといい。商業施設での短時間から利用できる託児所やプレイスペース、買物代行など。

(3) 市政全般(くらし)

【市政全般(くらし)に対する満足度・優先度について】

問17) 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものを選んでください。

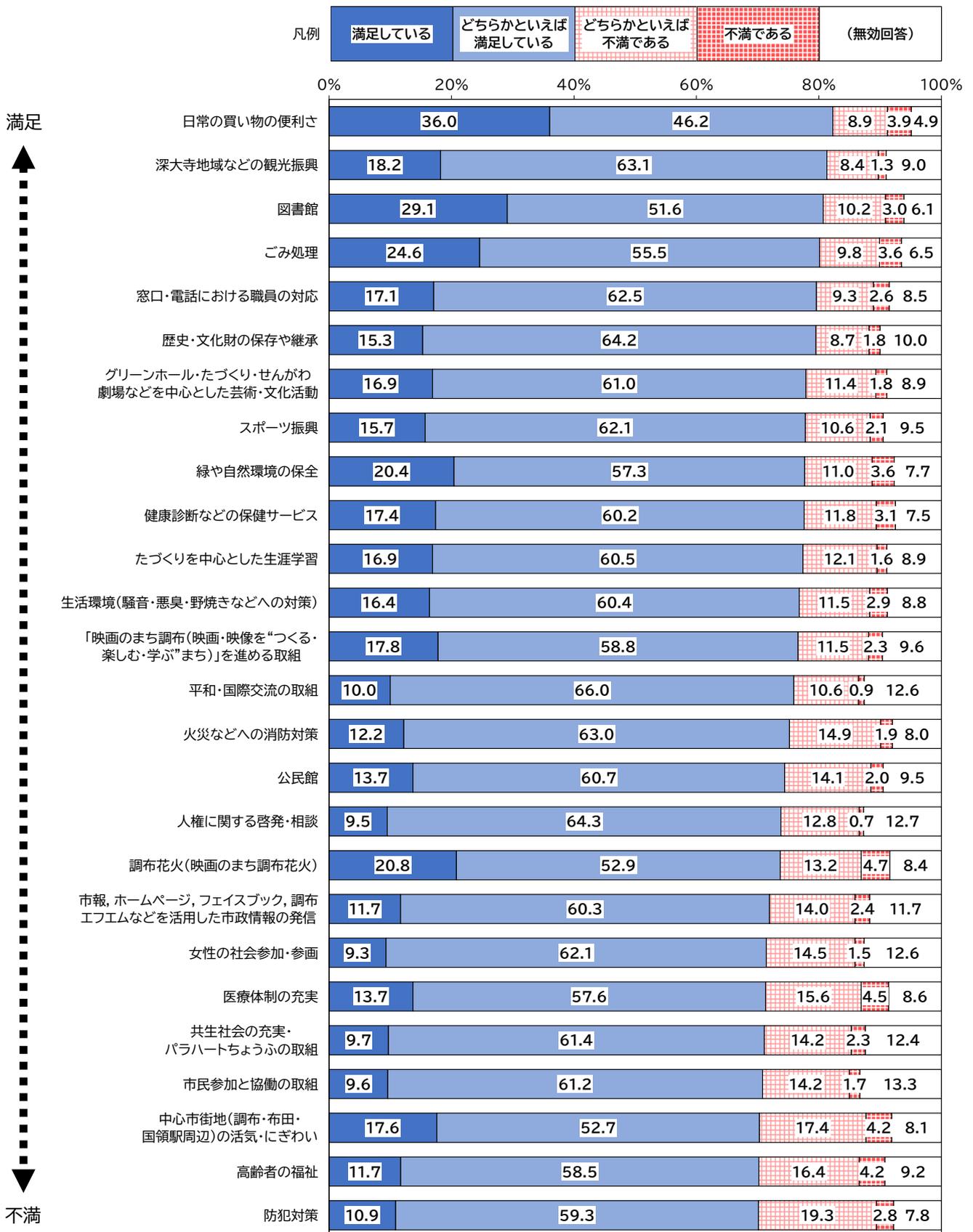
①満足度：普段のくらしの中で、それぞれの取組に対し、どのくらい満足しているか

②優先度：今後、調布市がどのくらい優先的に力を入れて解決、改善、向上に向け取り組むべきか

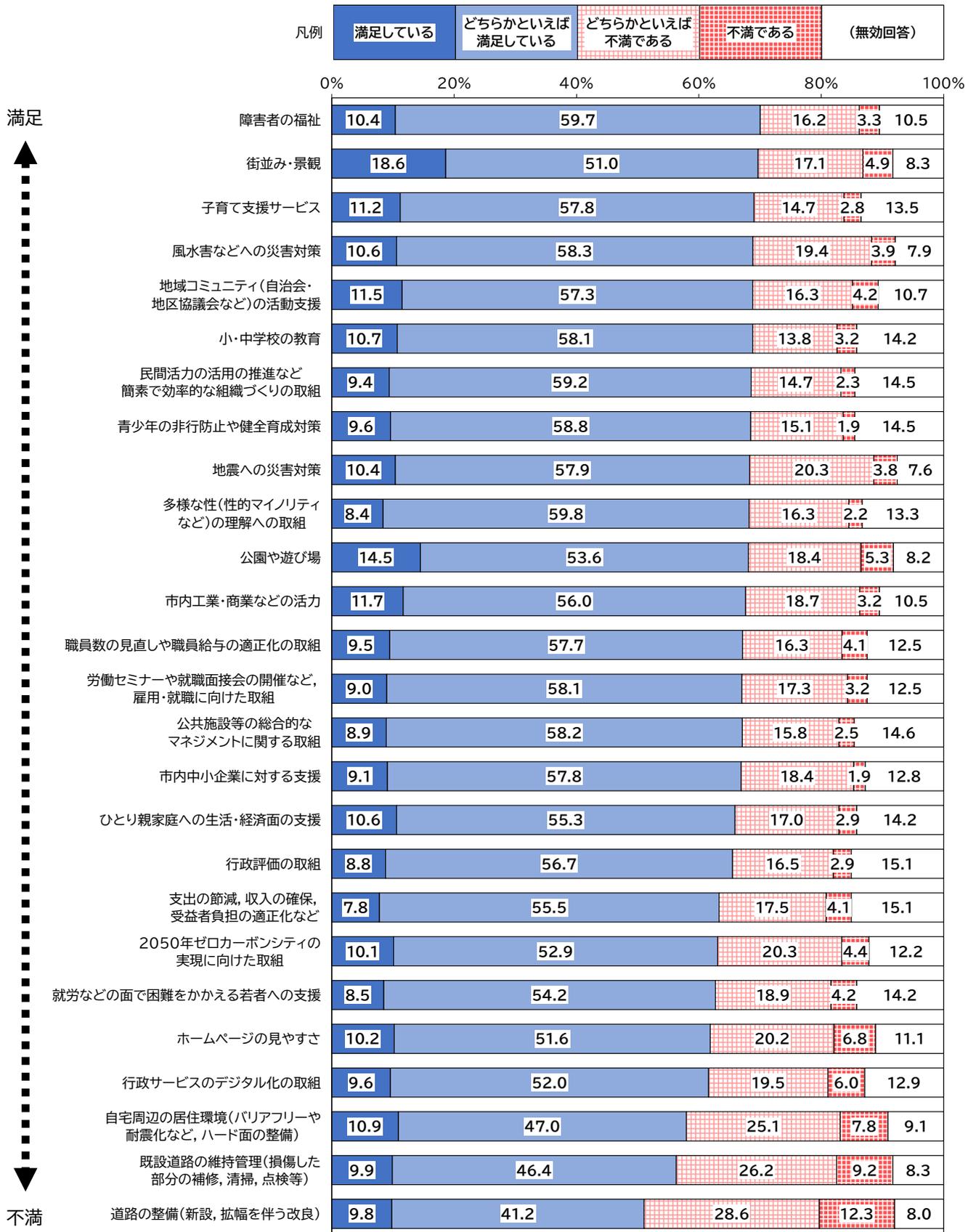
現在の満足度と今後の優先度

<現在の満足度>

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「日常の買い物の便利さ」が82.2%で最も高く、次いで「深大寺地域などの観光振興」の81.3%、「図書館」の80.7%の順となっています。これら3項目を含めた52項目、すべてにおいて「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が半数を上回っています。
- 「満足している」も、「日常の買い物の便利さ」が36.0%で最も高く、次いで「図書館」の29.1%、「ごみ処理」の24.6%の順となっています。
- 「不満である」と「どちらかといえば不満である」の合計は、「道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)」が40.9%で最も高く、次いで「既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)」の35.4%、「自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備)」の32.9%の順となっています。
- 「不満である」は、「道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)」が12.3%で最も高くなっていますが、これ以外の項目はすべて10%を下回っています。



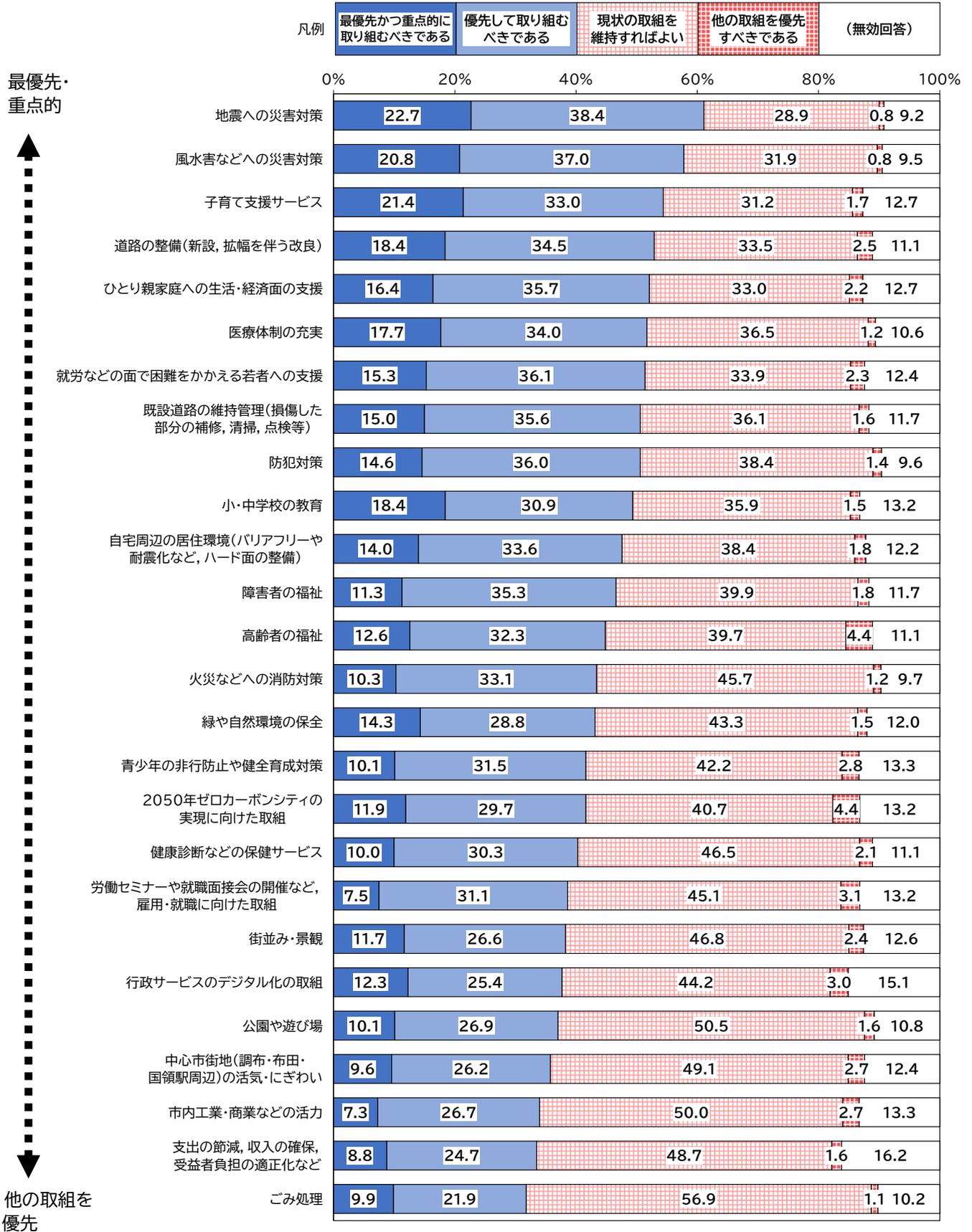
第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

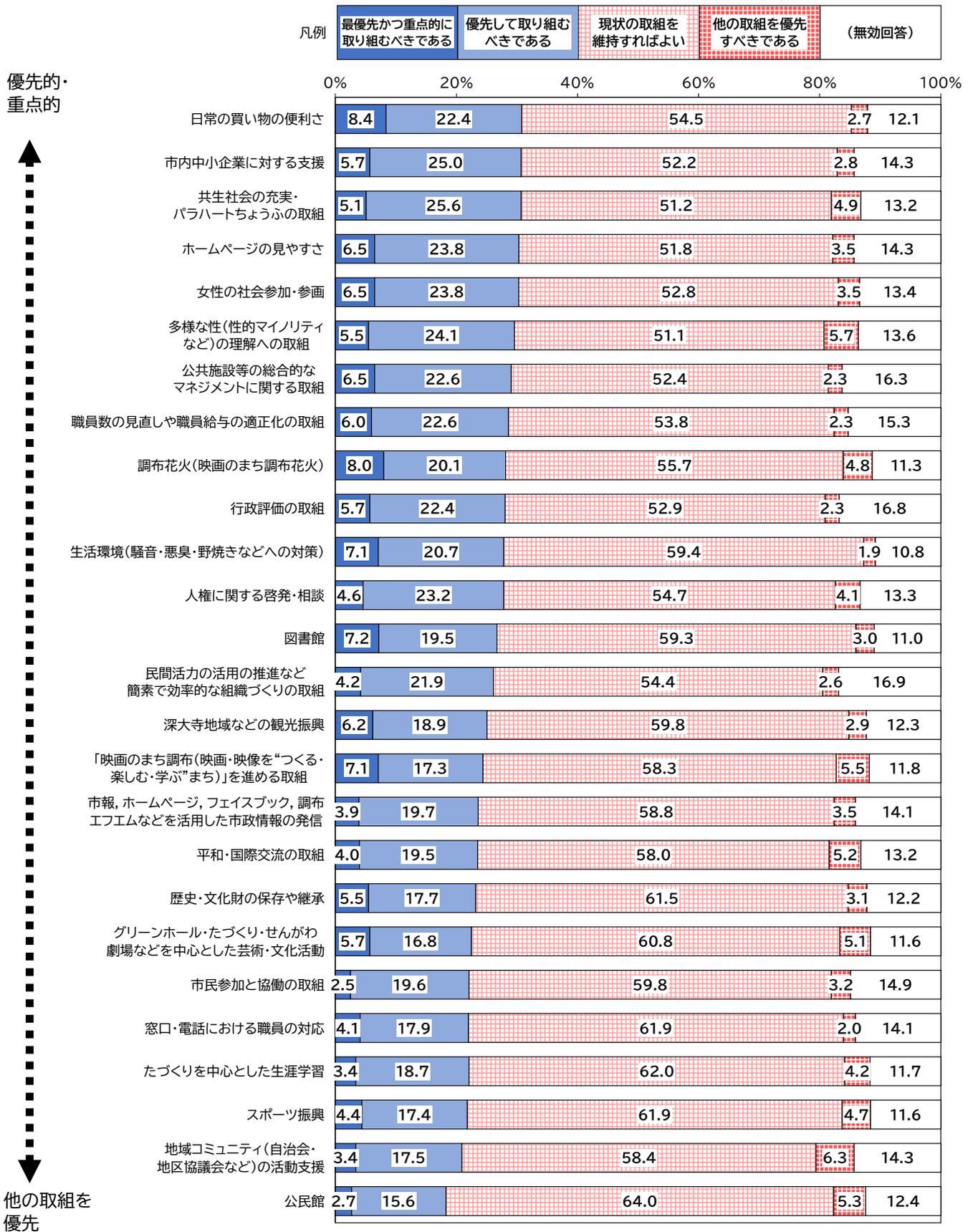


<今後の優先度>

- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「地震への災害対策」が61.1%で最も高く、次いで「風水害などへの災害対策」の57.8%、「子育て支援サービス」の54.4%の順となっています。
- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」は、「地震への災害対策」が22.7%で最も高く、次いで「子育て支援サービス」の21.4%、「風水害などへの災害対策」の20.8%の順となっています。
- 「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計は、「公民館」が69.3%で最も高く、次いで「スポーツ振興」の66.6%、「グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動」の66.2%の順となっています。これら3項目を含めた31項目で、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。
- 「他の取組を優先すべきである」は、「地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援」が6.3%で最も高く、次いで「多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組」の5.7%、「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組」の5.5%の順となっています。

第3章 調査結果<市政全般（くらし）>





### 第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

#### <満足度の平均スコア>

○全 52 項目について、令和 4 年度の回答結果の加重平均（重み付け）により満足度平均スコア※を算出したところ、全ての項目でプラスとなっており、中でも「日常の買い物の便利さ」が 1.068 と最も高くなっています。次いで「図書館」が 0.996, 「深大寺地域などの観光振興」が 0.971 の順となっています。

※ {「満足している」回答者数×2+「どちらかといえば満足している」回答者数×1+「どちらかといえば不満である」回答者数×(-1)+「不満である」回答者数×(-2)} / (全回答者数-無効回答数) で算出

【図表 満足度の平均スコア】

(スコア / 順位)

分野別計画	第1節	地震への災害対策	0.551	44
		風水害などへの災害対策	0.570	43
		火災などへの消防対策	0.746	18
		防犯対策	0.610	38
	第2節	子育て支援サービス	0.695	23
		ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.628	33
		小・中学校の教育	0.691	25
		青少年の非行防止や健全育成対策	0.692	24
	第3節	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	0.514	46
		高齢者の福祉	0.628	34
		障害者の福祉	0.645	31
		雇用・就職に向けた取組	0.599	40
		健康診断などの保健サービス	0.831	14
	第4節	医療体制の充実	0.660	29
		共生社会の充実・パラハートちょうふの取組	0.708	22
		<b>図書館</b>	<b>0.996</b>	<b>2</b>
		たづくりを中心とした生涯学習	0.868	9
	第5節	スポーツ振興	0.869	8
		公民館	0.774	17
		地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	0.623	35
	第6節	<b>日常の買い物の便利さ</b>	<b>1.068</b>	<b>1</b>
		市内工業・商業などの活力	0.606	39
		市内中小企業に対する支援	0.614	36
		<b>深大寺地域などの観光振興</b>	<b>0.971</b>	<b>3</b>
		調布花火（映画のまち調布花火）	0.784	16
		「映画のまち調布」を進める取組	0.867	10
		グリーンホールなどを中心とした芸術・文化活動	0.878	7
	歴史・文化財の保存や継承	0.914	5	
	第7節	街並み・景観	0.668	28
		中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	0.677	27
		<b>自宅周辺の居住環境</b>	<b>0.309</b>	<b>50</b>
	第8節	<b>道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）</b>	<b>0.083</b>	<b>52</b>
		<b>既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）</b>	<b>0.234</b>	<b>51</b>
		緑や自然環境の保全	0.866	11
		2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.501	47
	第9節	公園や遊び場	0.584	42
		ごみ処理	0.938	4
		生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	0.832	13
		平和・国際交流の取組	0.841	12
	行革 プラン2019	人権に関する啓発・相談	0.792	15
		女性の社会参加・参画	0.723	21
		多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	0.646	30
		市民参加と協働の取組	0.726	20
		市報、ホームページなどを活用した市政情報の発信	0.732	19
		ホームページの見やすさ	0.431	49
		民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.687	26
		窓口・電話における職員への対応	0.898	6
		職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.596	41
		行政サービスのデジタル化の取組	0.453	48
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.645	32	
	行政評価の取組	0.611	37	
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	0.534	45	

※   は、上位又は下位 3 項目

<優先度の平均スコア>

○全 52 項目について、令和 4 年度の回答結果の加重平均（重み付け）により優先度平均スコア※を算出したところ、プラスとなっているのは 18 項目で、「地震への災害対策」が 0.588 と最も高く、次いで「風水害などへの災害対策」の 0.498, 「子育て支援サービス」の 0.473 の順となっています。

○一方、「公民館（-0.612）」や「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援（-0.544）」、「たづくりを中心とした生涯学習（-0.510）」, などの 35 項目は、優先度平均スコアがマイナスとなっています。

※ {「最優先かつ重点的に取り組むべきである」回答者数×2+「優先して取り組むべきである」回答者数×1+「現状の取組を維持すればよい」回答者数×(-1)+「他の取組を優先すべきである」回答者数×(-2)} / (回答者数-無効回答数) で算出

【図表 優先度の平均スコア】

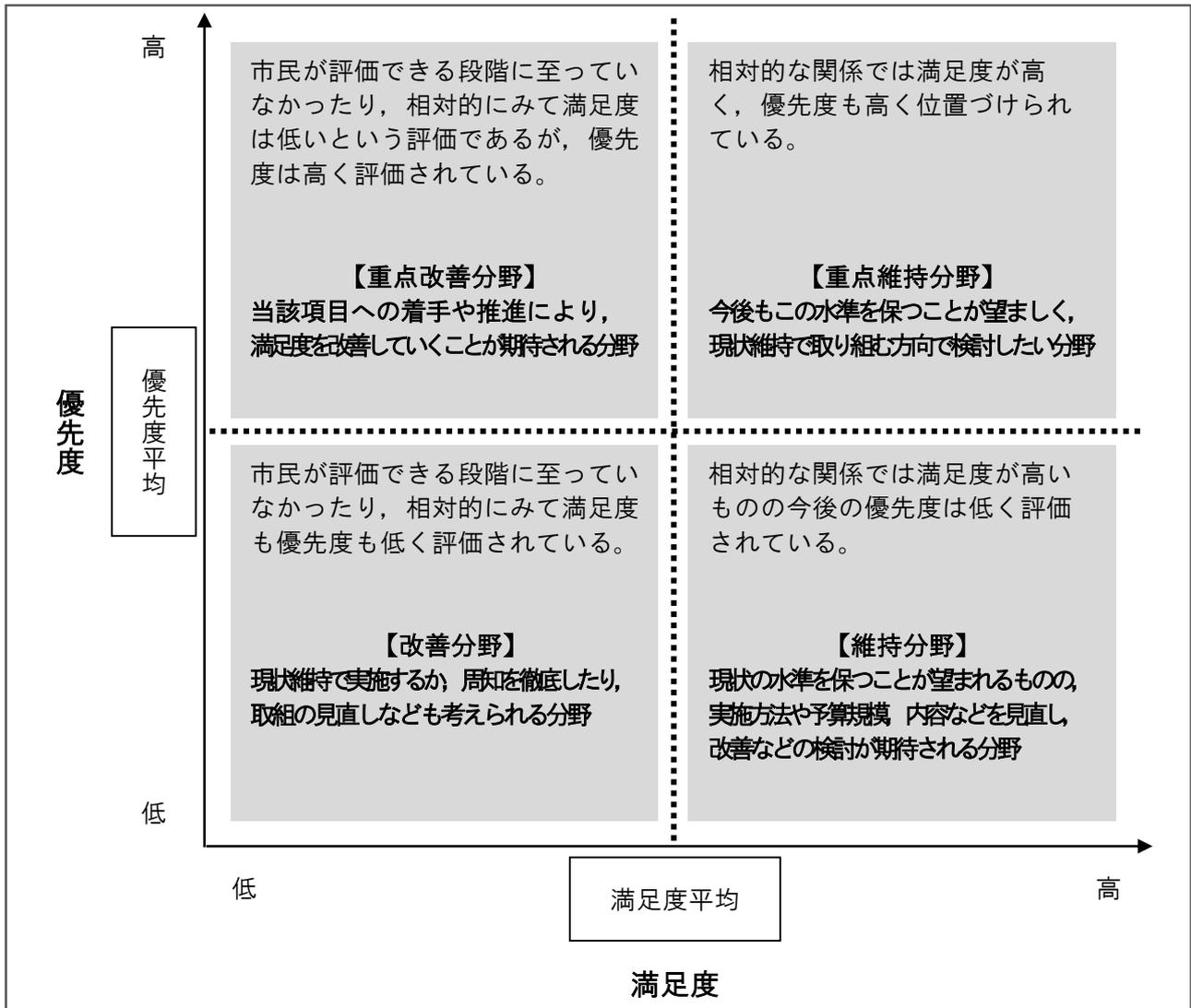
		(スコア/順位)		
分野別計画	第1節	地震への災害対策	0.588	1
		風水害などへの災害対策	0.498	2
		火災などへの消防対策	0.063	15
		防犯対策	0.265	10
	第2節	子育て支援サービス	0.473	3
		ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.357	5
		小・中学校の教育	0.333	7
		青少年の非行防止や健全育成対策	0.046	16
	第3節	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	0.321	8
		高齢者の福祉	0.101	14
		障害者の福祉	0.164	12
		雇用・就職に向けた取組	-0.061	21
		健康診断などの保健サービス	-0.006	19
		医療体制の充実	0.341	6
	第4節	共生社会の充実・パラハートちようふの取組	-0.292	34
		図書館	-0.352	39
		たづくりを中心とした生涯学習	-0.510	50
		スポーツ振興	-0.508	49
	第5節	公民館	-0.612	52
	第5節	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	-0.544	51
	第6節	日常の買い物の便利さ	-0.235	27
		市内工業・商業などの活力	-0.162	25
		市内中小企業に対する支援	-0.250	28
		深大寺地域などの観光振興	-0.390	41
		調布花火（映画のまち調布花火）	-0.328	37
		「映画のまち調布」を進める取組	-0.429	42
		グリーンホールなどを中心とした芸術・文化活動	-0.483	47
		歴史・文化財の保存や継承	-0.444	43
	第7節	街並み・景観	-0.020	20
		中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	-0.104	23
		自宅周辺の居住環境	0.222	11
		道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	0.367	4
	第8節	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	0.298	9
		緑や自然環境の保全	0.127	13
		2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.044	17
		公園や遊び場	-0.073	22
		ごみ処理	-0.194	26
		生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	-0.318	36
	第9節	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	-0.318	36
		平和・国際交流の取組	-0.471	46
		人権に関する啓発・相談	-0.352	38
		女性の社会参加・参画	-0.267	31
	行革プラン2019	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	-0.317	35
		市民参加と協働の取組	-0.488	48
		市報、ホームページなどを活用した市政情報の発信	-0.445	44
		ホームページの見やすさ	-0.256	30
		民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	-0.353	40
		窓口・電話における職員の対応	-0.462	45
		職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	-0.279	32
		行政サービスのデジタル化の取組	-0.002	18
		公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-0.255	29
		行政評価の取組	-0.284	33
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	-0.114	24		

※   は、上位又は下位 3 項目

ウ 満足度と優先度の比較

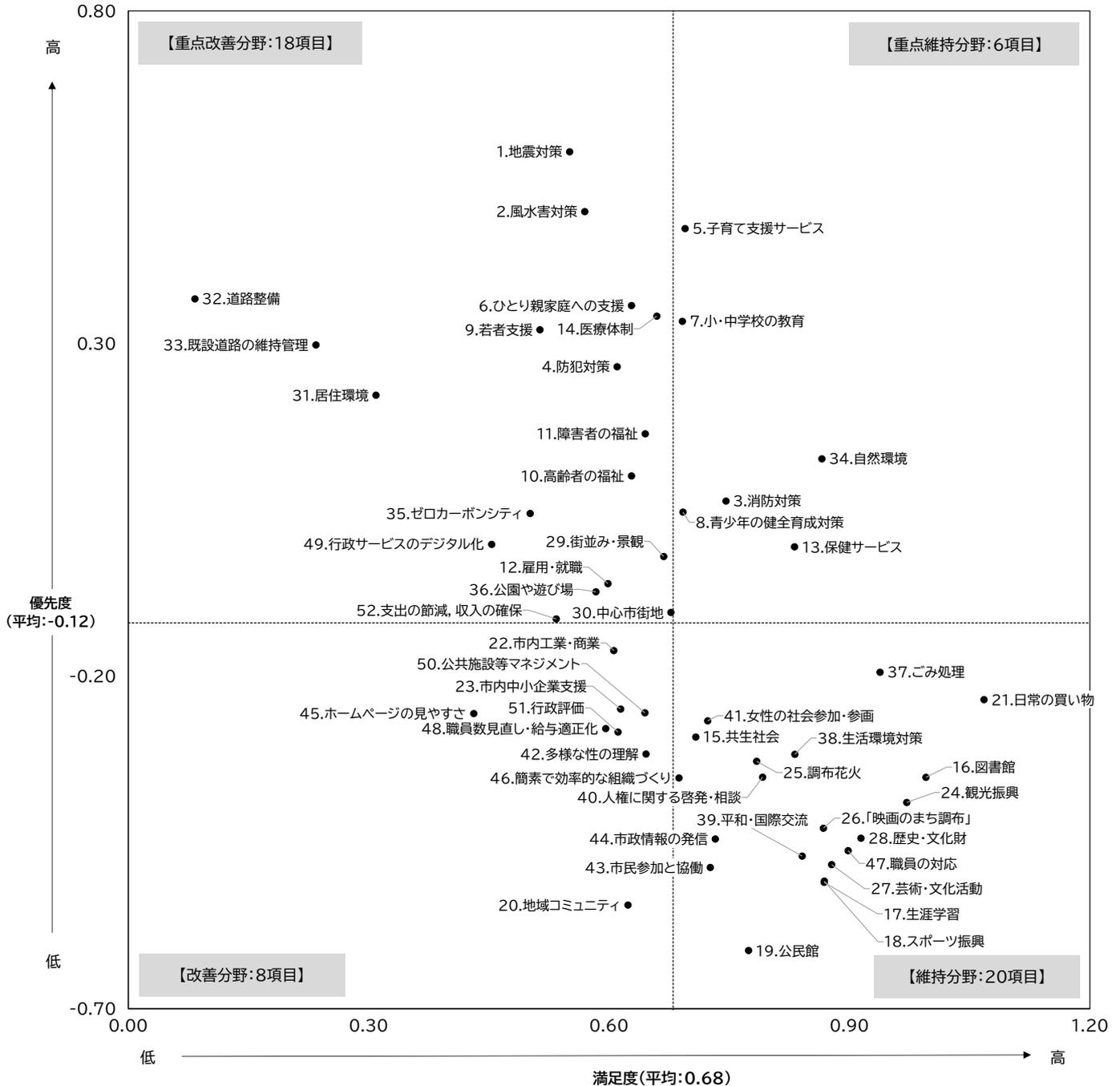
- 満足度（満足度平均スコア）を横軸、優先度（優先度平均スコア）を縦軸にとり、4つの区分に分類しました。
- 4区分のうち、左上の区分は、優先度が高いものの、満足度が低く、ニーズが相対的に高い項目となっています。一方、右下の区分は、満足度が高いものの、優先度が低く、ニーズが相対的に低い項目となっています。

【図表 満足度・優先度散布図の概念】



- 本調査の満足度・優先度散布図を見ると、52項目はおおむね左上の「重点改善分野」(満足度：低，優先度：高)から右下の「維持分野」(満足度：高，優先度：低)にかけて分布しており，優先度が高い分野ほど，満足度が低い傾向にあることが分かります。
- ニーズが高い，左上の「重点改善分野」には18項目が該当しています。

【図表 満足度・優先度散布図】

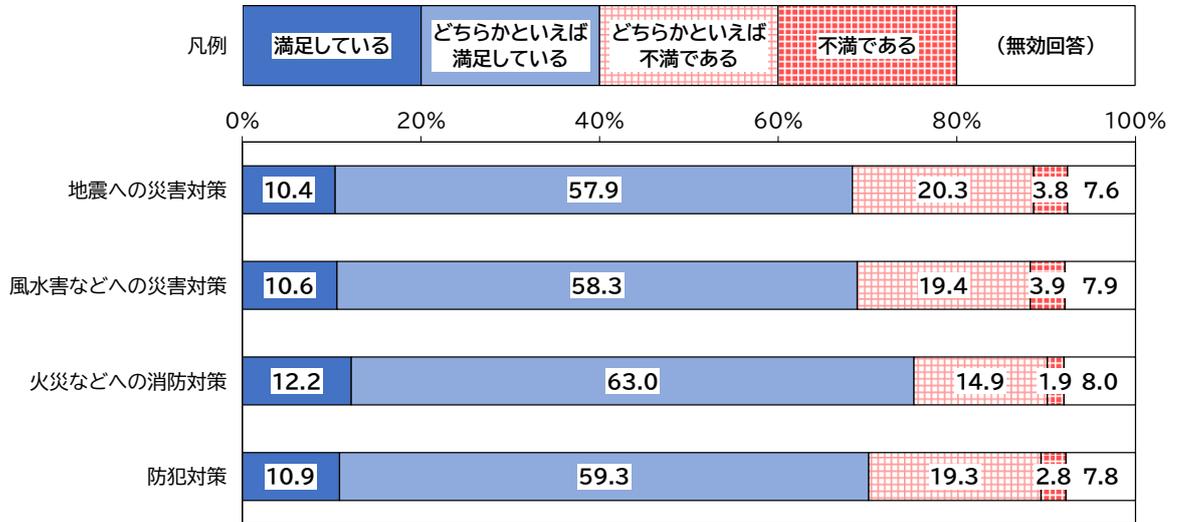


第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

基本目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.01~04)

<満足度>

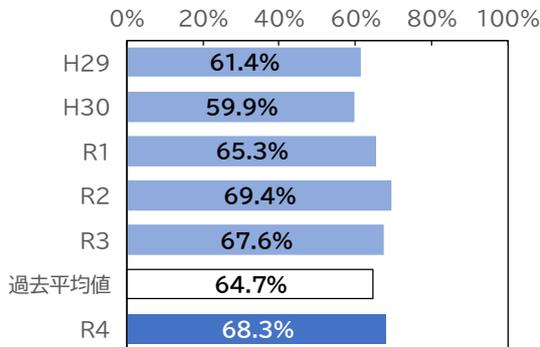
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「火災などへの消防対策」(75.2%)、「防犯対策」(70.2%)、「風水害などへの災害対策」(68.9%)、「地震への災害対策」(68.3%)の順となっており、いずれも60%を超えています。



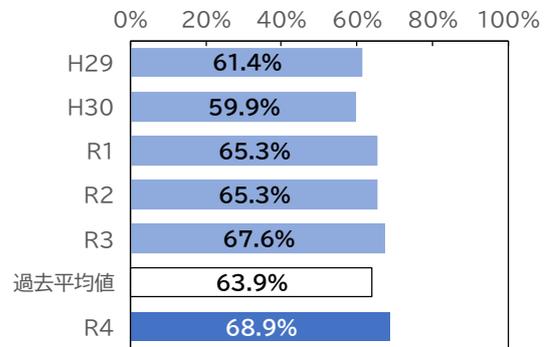
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、全ての項目において過去の平均を上回っています。

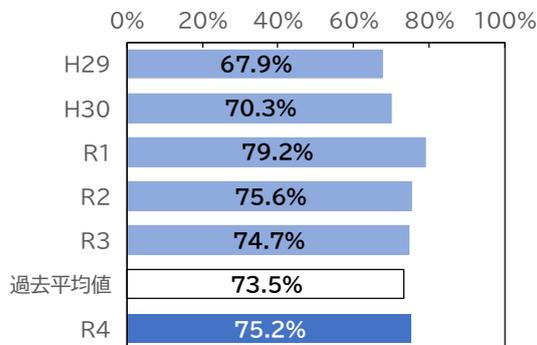
地震への災害対策



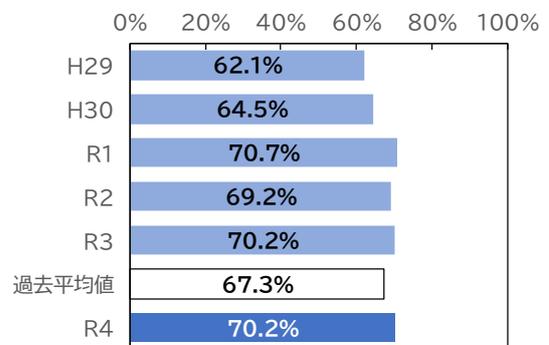
風水害などへの災害対策



火災などへの消防対策



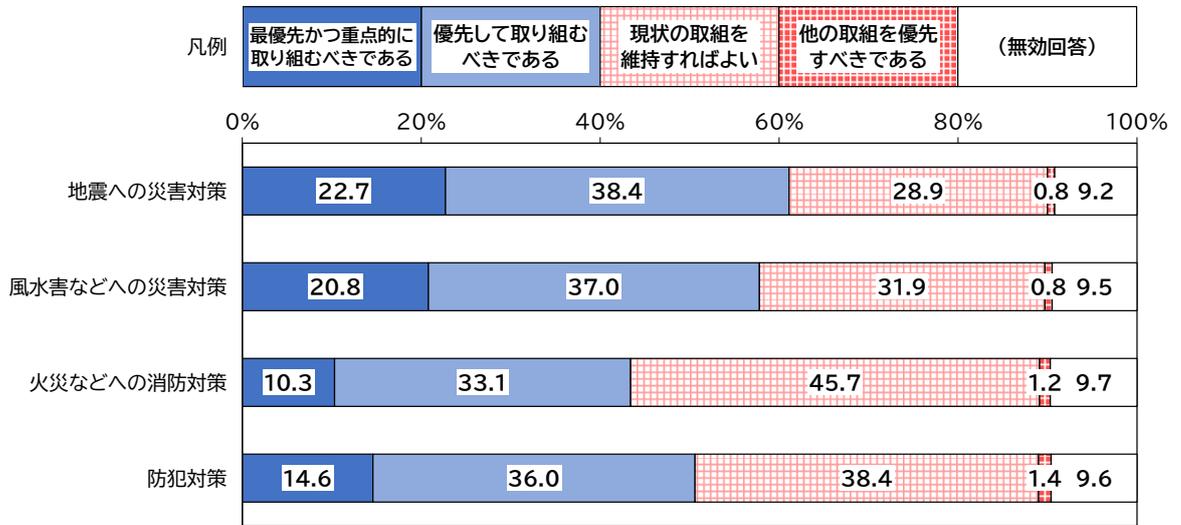
防犯対策



※「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」は、令和元年度までは「地震、風水害などへの災害対策」という1つの質問項目としていたため、その質問項目における令和元年度以前の推移及び過去の平均値を参考に掲載しています。

<優先度>

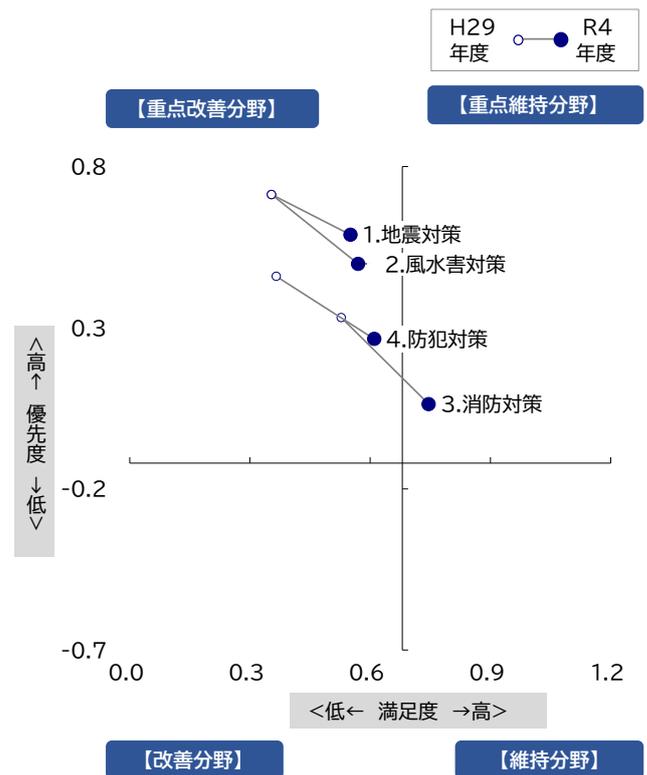
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「地震への災害対策」(61.1%)、「風水害などへの災害対策」(57.8%)、「防犯対策」(50.6%)、「火災などへの消防対策」(43.4%)の順に高くなっています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「地震への災害対策」、「風水害などへの災害対策」、「防犯対策」が該当しています。
- 平成29年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が高まり、優先度がやや低下しています。

	取組項目	満足度	優先度
1	地震への災害対策	0.55	0.59
2	風水害などへの災害対策	0.57	0.50
3	火災などへの消防対策	0.75	0.06
4	防犯対策	0.61	0.27

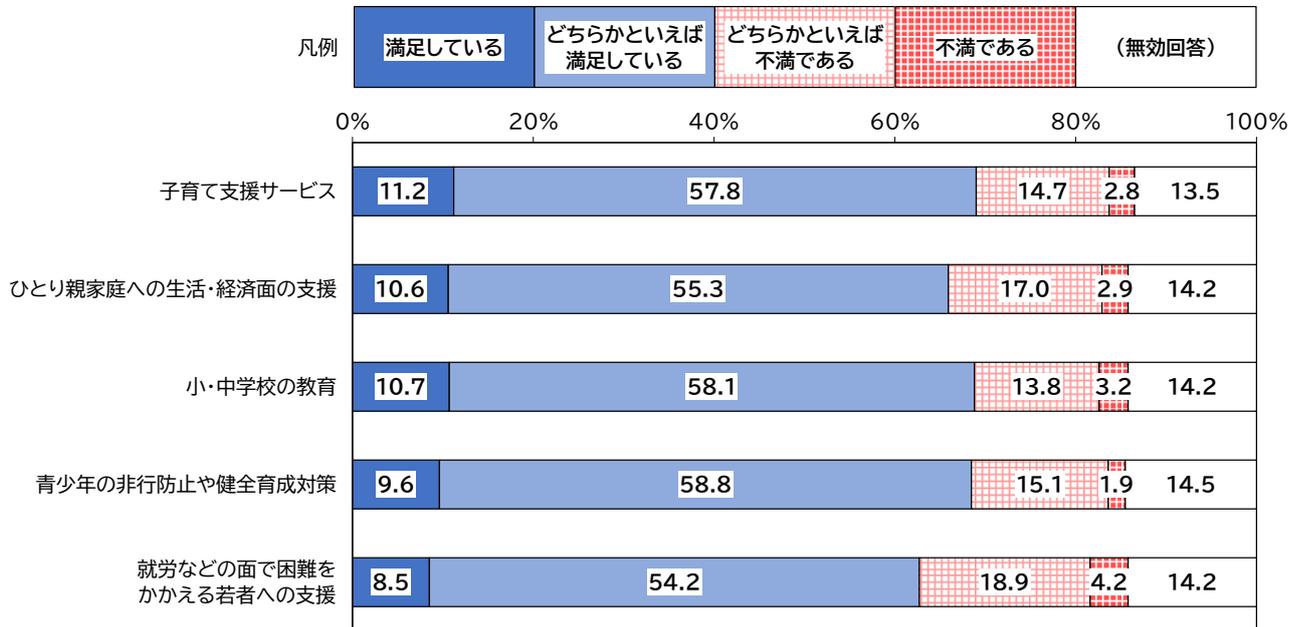


第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

基本目標2 次代を担う子どもたちを安心して育てるために(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.05~09)

<満足度>

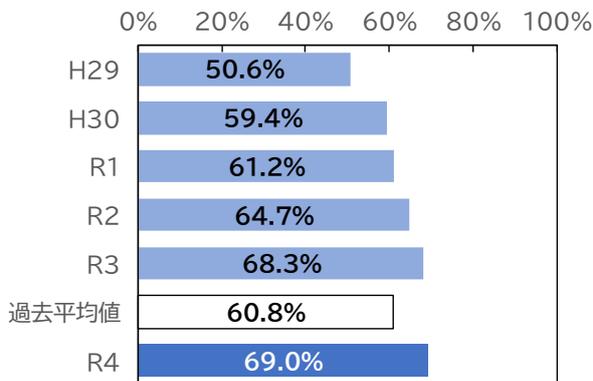
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「子育て支援サービス」(69.0%)、「小・中学校の教育」(68.8%)、「青少年の非行防止や健全育成対策」(68.4%)の順となっており、全5項目全てで60%を超えています。



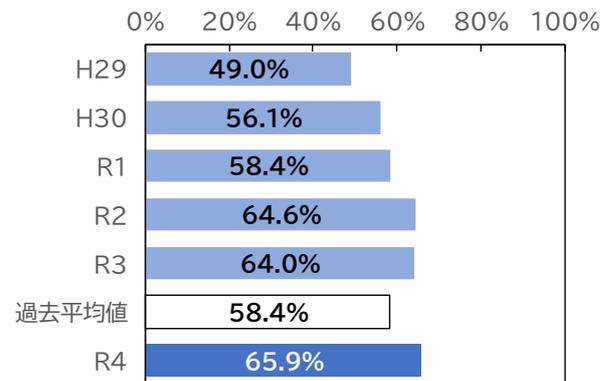
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、5項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。

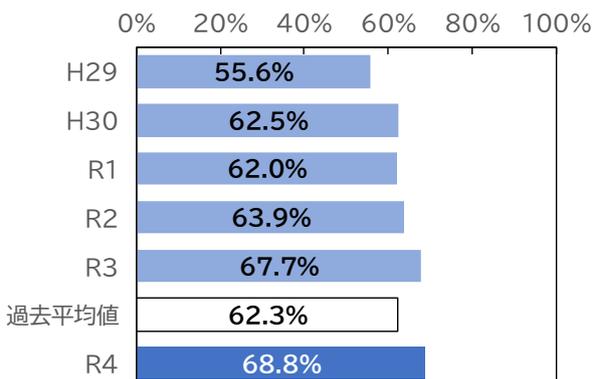
子育て支援サービス



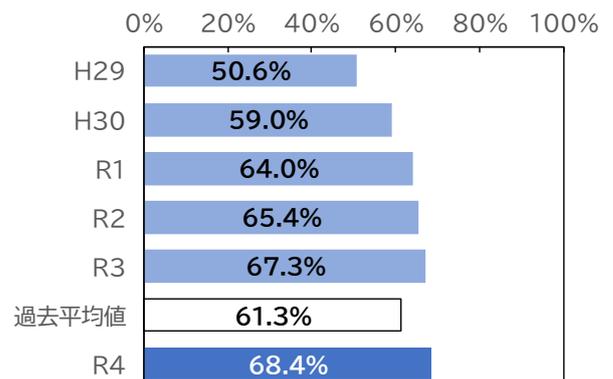
ひとり親家庭への生活・経済面の支援



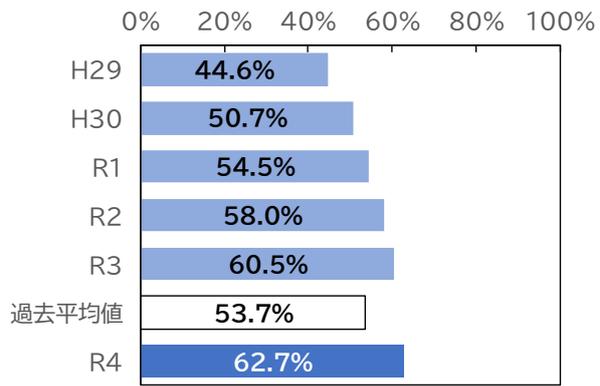
小・中学校の教育



青少年の非行防止や健全育成対策



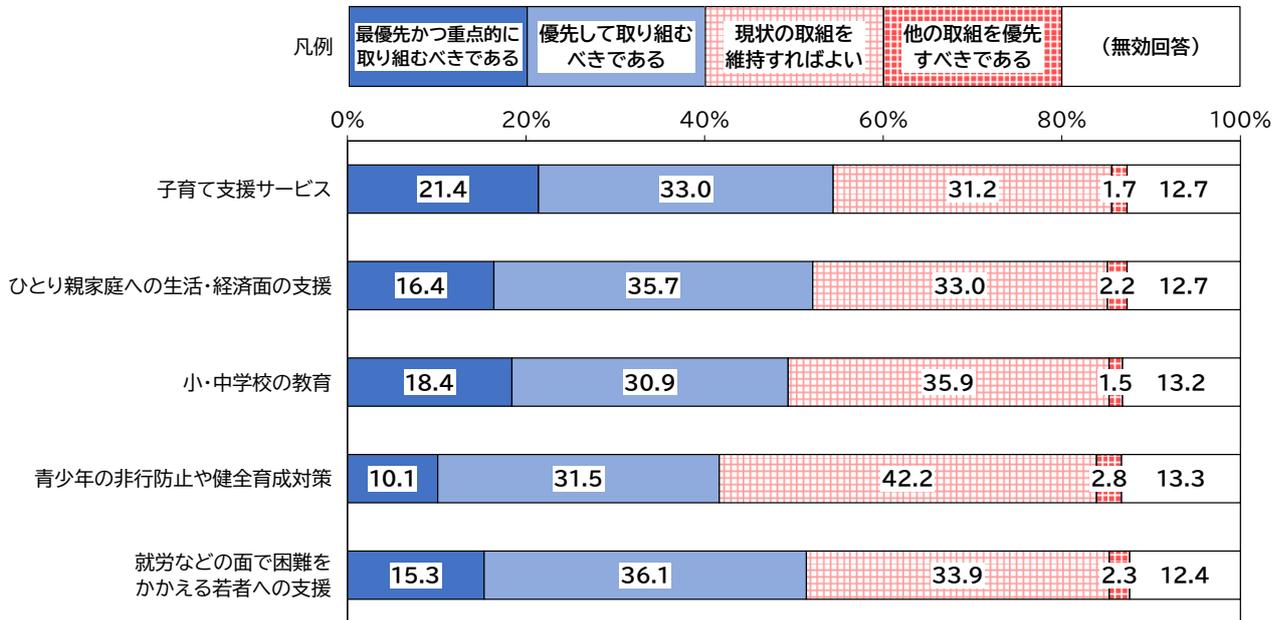
就労などの面で困難をかかえる若者への支援



第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

<優先度>

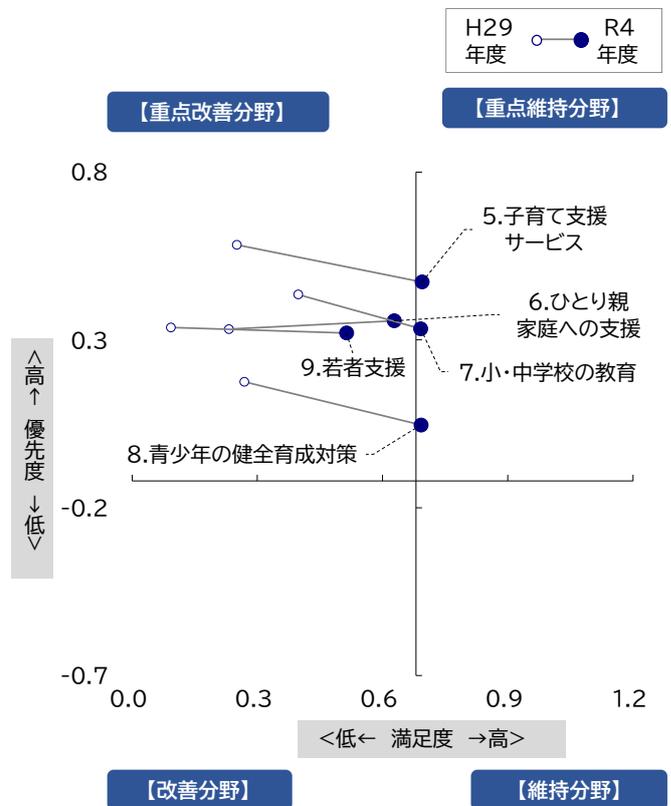
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「子育て支援サービス」(54.4%)、「ひとり親家庭への生活・経済面の支援」(52.1%)、「就労などの面で困難をかかえる若者への支援」(51.4%)の順となっており、全5項目中これら3項目で半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 2 次代を担う子どもたちを安心して育てるために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「ひとり親家庭への生活・経済面の支援」、「就労などの面で困難をかかえる若者への支援」が該当します。
- 平成 29 年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が高まり、優先度がやや低下しています。

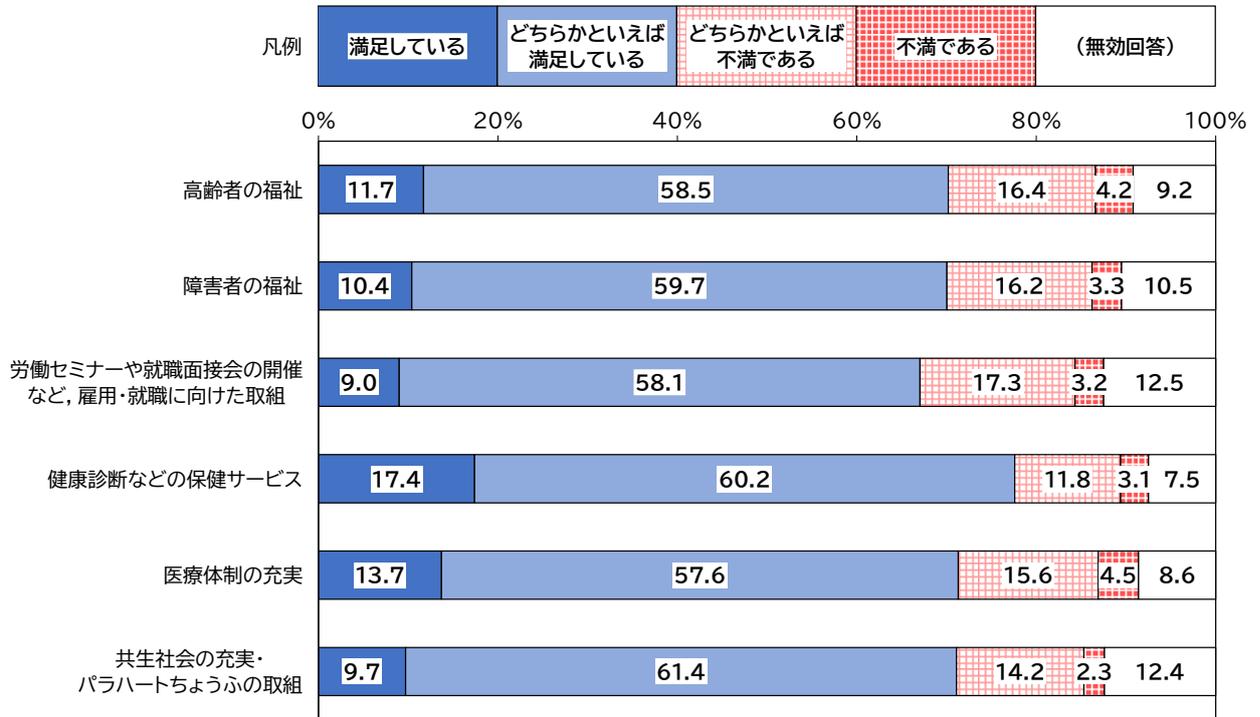
	取組項目	満足度	優先度
5	子育て支援サービス	0.69	0.47
6	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.63	0.36
7	小・中学校の教育	0.69	0.33
8	青少年の非行防止や健全育成対策	0.69	0.05
9	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	0.51	0.32



基本目標3 だれもが安心して、いきいきと暮らすために(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.10~15)

<満足度>

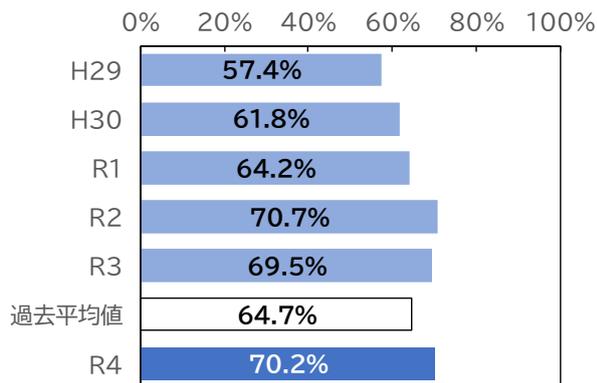
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「健康診断などの保健サービス」(77.6%), 「医療体制の充実」(71.3%), 「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」(71.1%)の順となっており、全項目で60%を超えています。



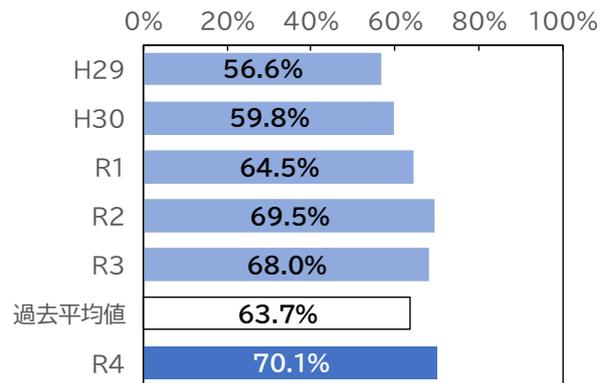
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、6項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。

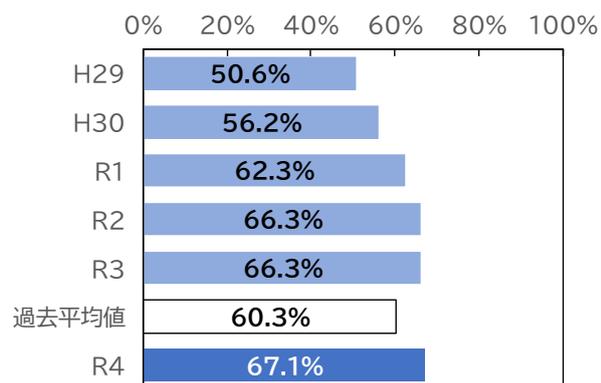
高齢者の福祉



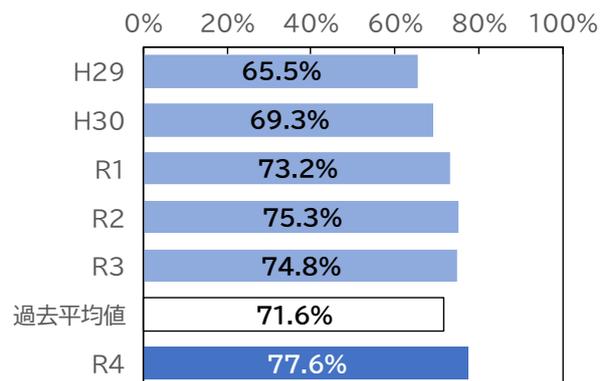
障害者の福祉



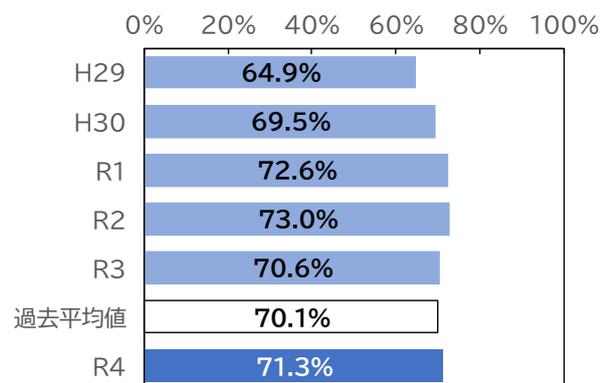
労働セミナーや就職面接会の開催など、  
雇用・就職に向けた取組



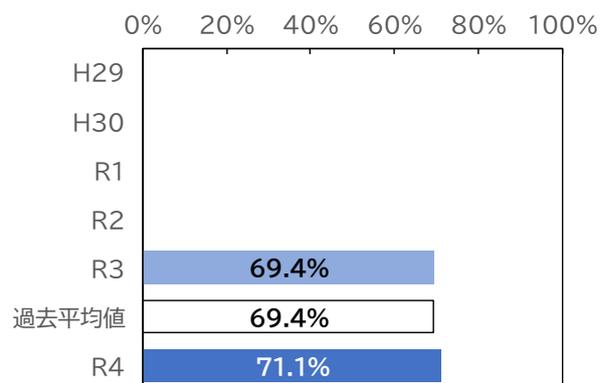
健康診断などの保健サービス



医療体制の充実



共生社会の充実・パラハートちょうふの取組

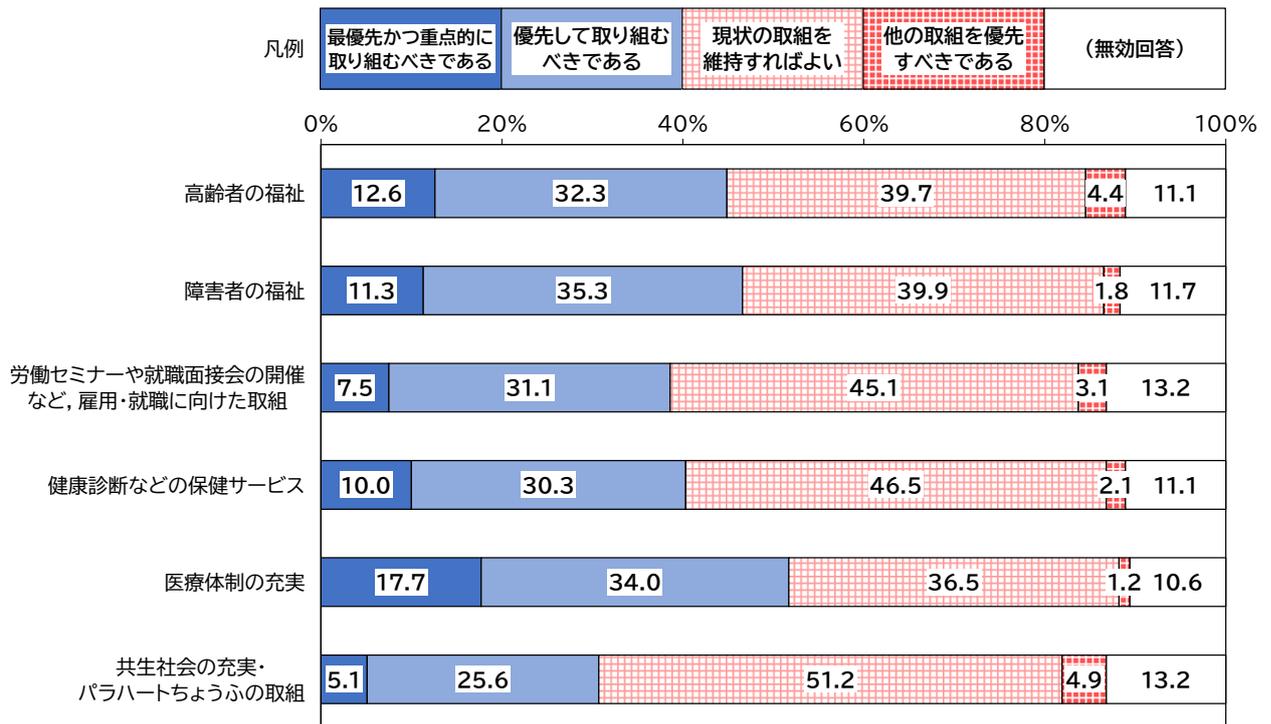


※「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

※「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」，「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，補修，清掃，点検等）」は，令和元年度までは「道路整備」としていた調査項目で，令和2年度に分離・新設した項目です。そのため，「道路整備」としていた調査項目における令和元年度以前の推移を参考に掲載しています。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「医療体制の充実」(51.7%)、「障害者の福祉」(46.6%)、「高齢者の福祉」(44.9%)の順に高くなっています。

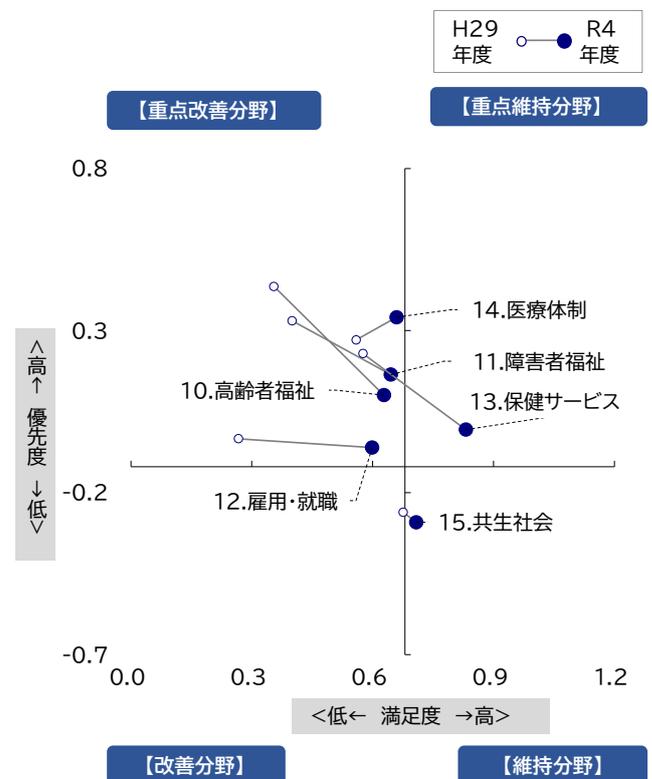


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標 3 だれもが安心して、いきいきと暮らすために」の各項目は、平成 29 年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が高くなっています。優先度は「医療体制の充実」が高くなっていますが、他の項目は低下しています。

○優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「高齢者の福祉」、「障害者の福祉」と「労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組」、「医療体制の充実」が該当しています。

	取組項目	満足度	優先度
10	高齢者の福祉	0.63	0.10
11	障害者の福祉	0.65	0.16
12	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	0.60	-0.06
13	健康診断などの保健サービス	0.83	-0.01
14	医療体制の充実	0.66	0.34
15	共生社会の充実・パラハートちょうふの取組	0.71	-0.29



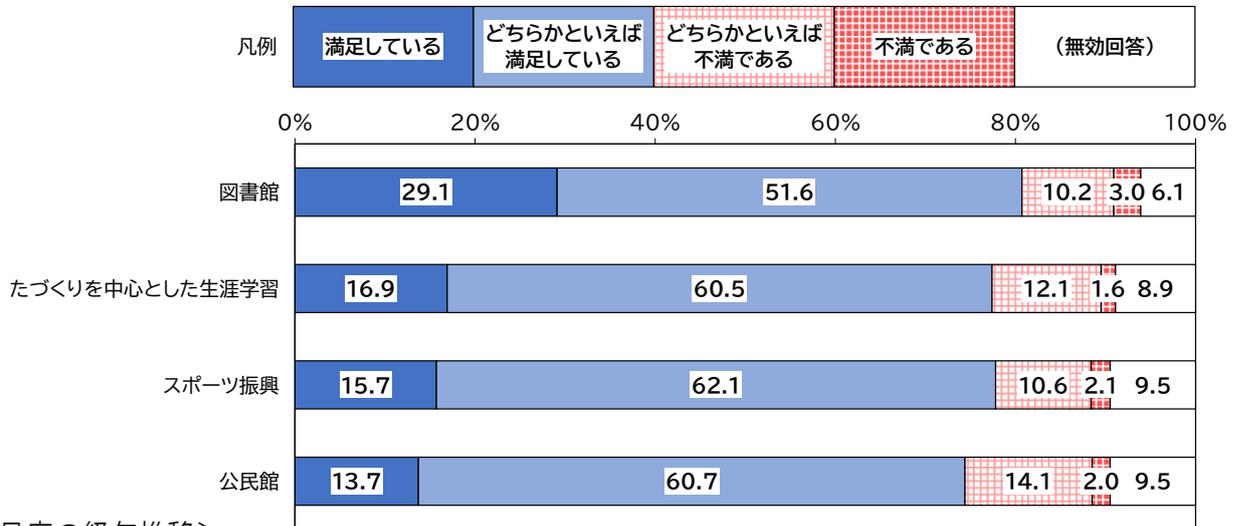
※「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

基本目標4 身近な学びと交流のあるまちをつくるために(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.16~19)

<満足度>

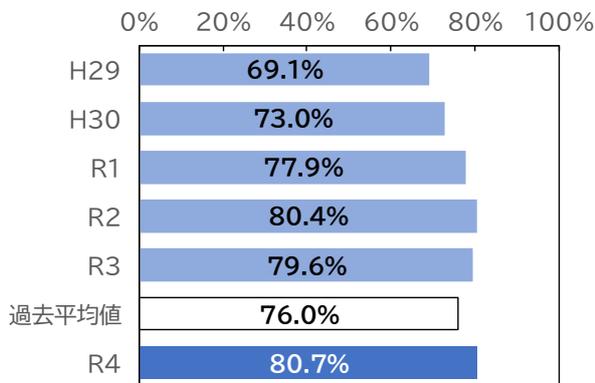
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「図書館」(80.7%),「スポーツ振興」(77.8%),「たづくりを中心とした生涯学習」(77.4%),「公民館」(74.4%)の順となっており、いずれも70%を超えています。



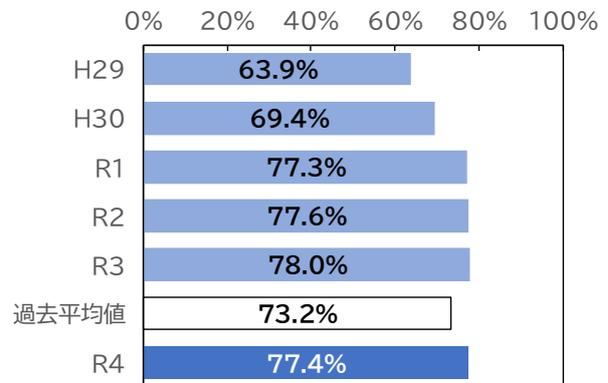
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、全ての項目において過去の平均を上回っています。

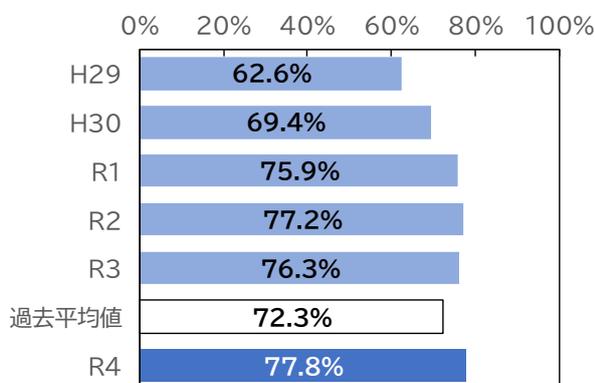
図書館



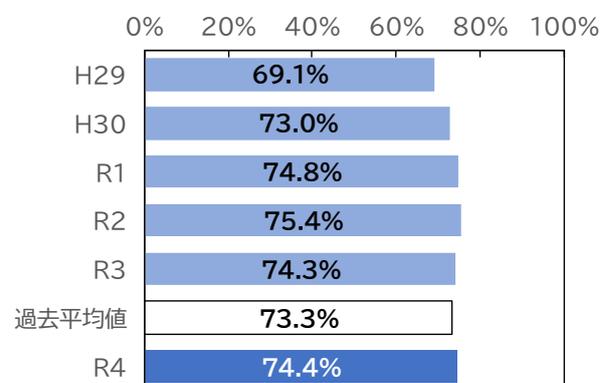
たづくりを中心とした生涯学習



スポーツ振興



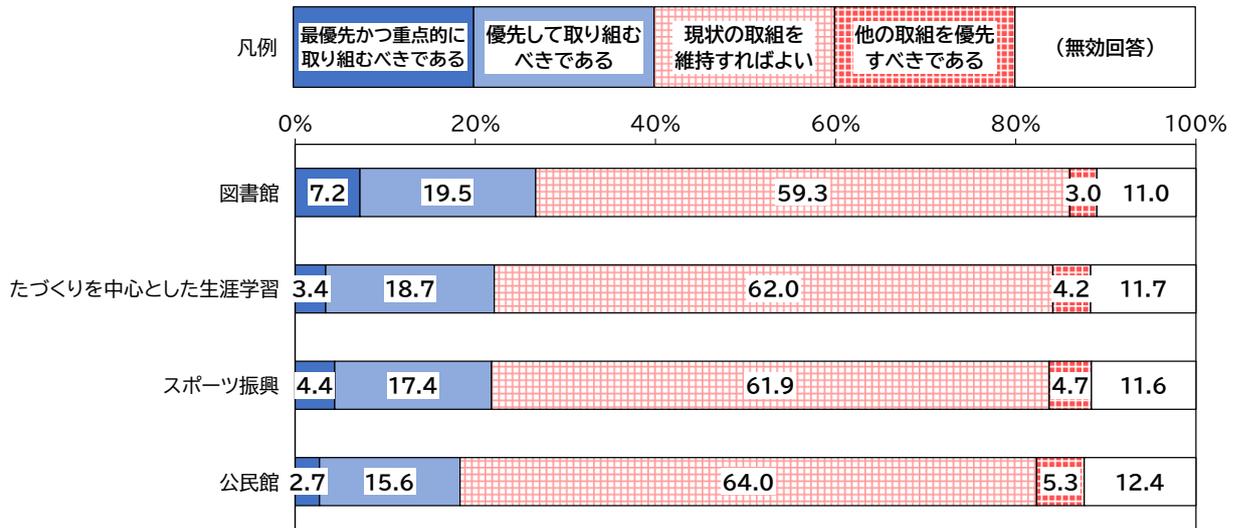
公民館



※「公民館」と「図書館」は平成30年度までは「公民館や図書館」としていた調査項目で、令和元年度に分離・新設した項目です。そのため、「公民館や図書館」としていた調査項目における平成30年度以前の推移を参考に掲載しています。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。なお、全ての項目において「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が60%台となっています。

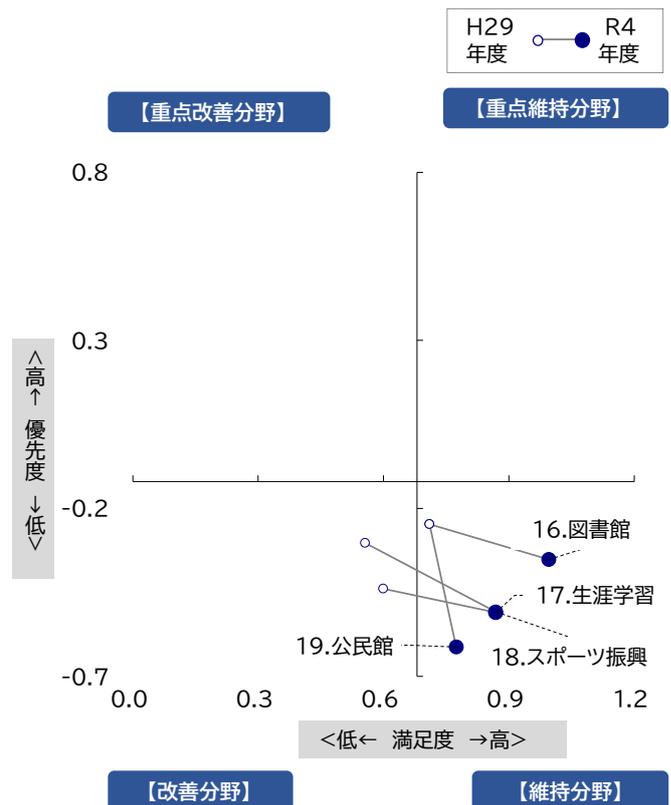


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標 4 身近な学びと交流のあるまちをつくるために」の各項目は、すべて満足度が高く、優先度が低い「維持分野」に該当しています。

○平成 29 年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が高まり、優先度がやや低下しています。このため、平成 29 年度には改善分野に該当していた「たづくりを中心とした生涯学習」及び「スポーツ振興」が維持分野へと移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
16	図書館	1.00	-0.35
17	たづくりを中心とした生涯学習	0.87	-0.51
18	スポーツ振興	0.87	-0.51
19	公民館	0.77	-0.61

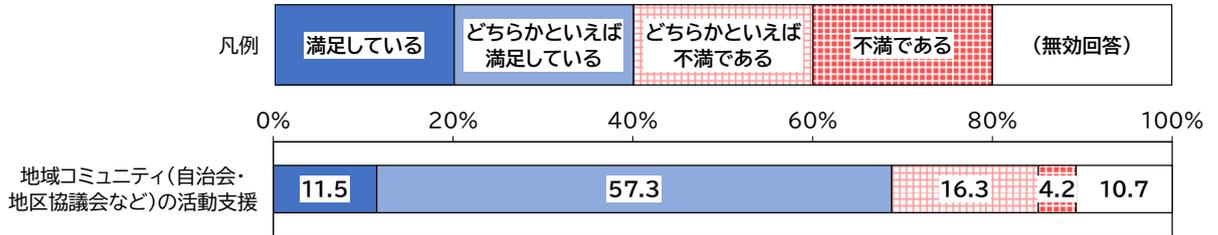


第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

基本目標5 地域のつながりの中で、ぬくもりのある暮らしをおくるために(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.20)

<満足度>

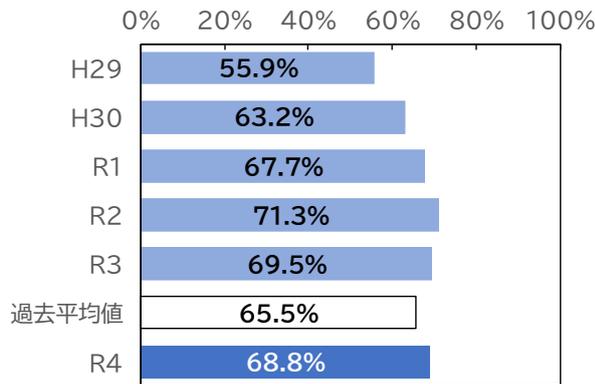
○「地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援」の「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は68.8%となっています。



<満足度の経年推移>

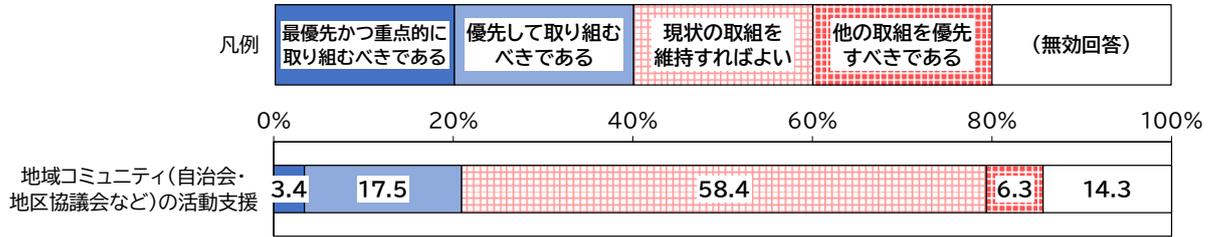
○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、過去の平均を上回っています。

地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援



<優先度>

○「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動の支援」の「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は20.9%で「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計の3分の1以下となっています。

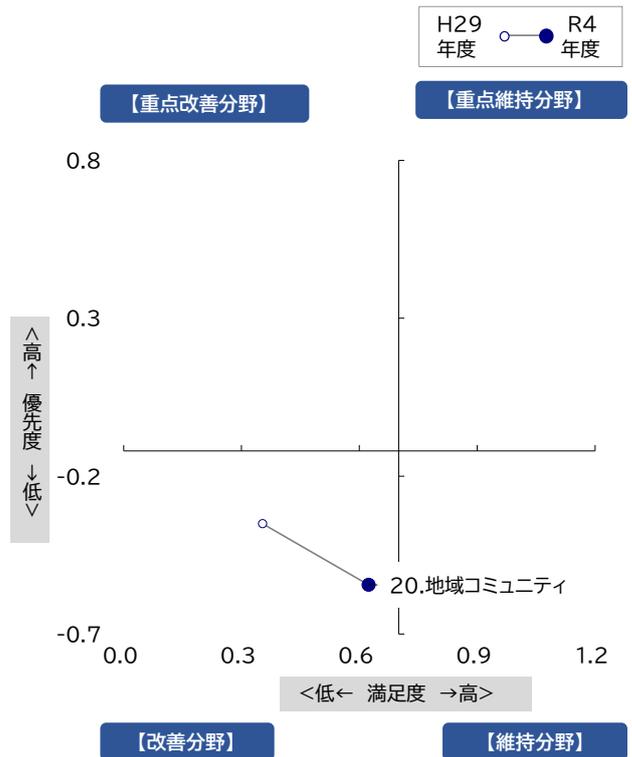


<満足度・優先度平均スコア>

○「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動の支援」は、満足度及び優先度がともに低い「改善分野」に該当しています。

○平成 29 年度の調査結果と比較して満足度が高まり、優先度は低下しています。

	取組項目	満足度	優先度
20	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	0.62	-0.54

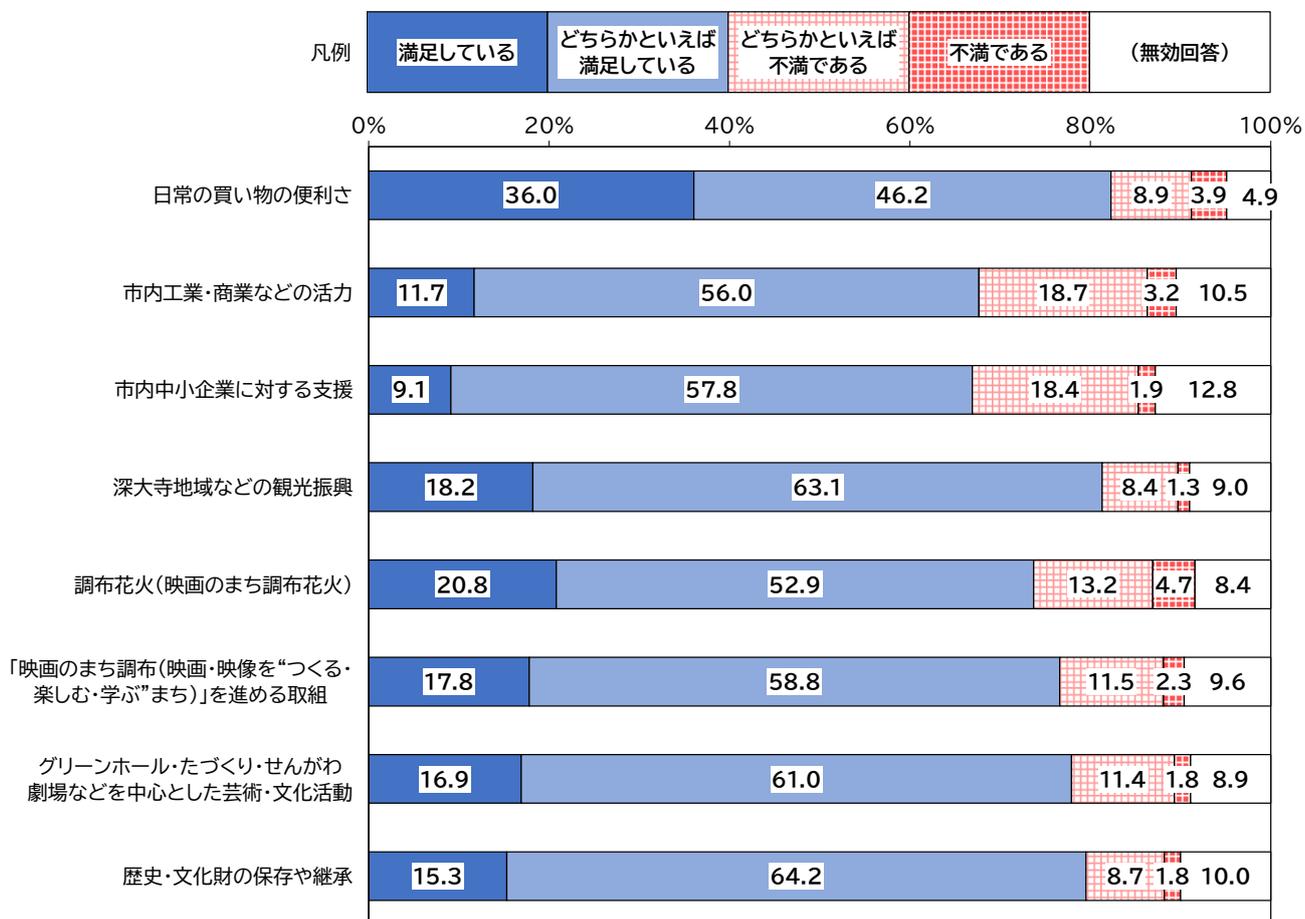


### 第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

#### 基本目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.21~28)

<満足度>

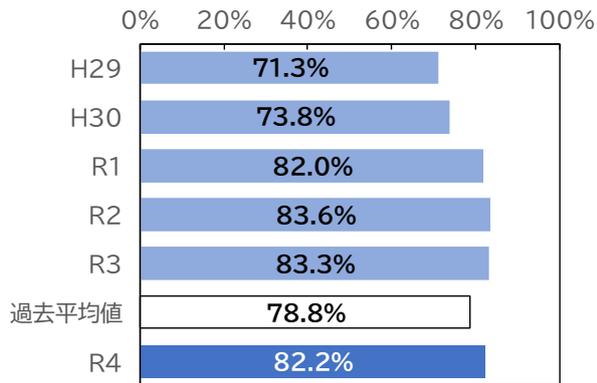
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「日常の買い物の便利さ」(82.2%)、「深大寺地域などの観光振興」(81.3%)、「歴史・文化財の保存や継承」(79.5%)の順となっており、全8項目すべてで60%を超えています。



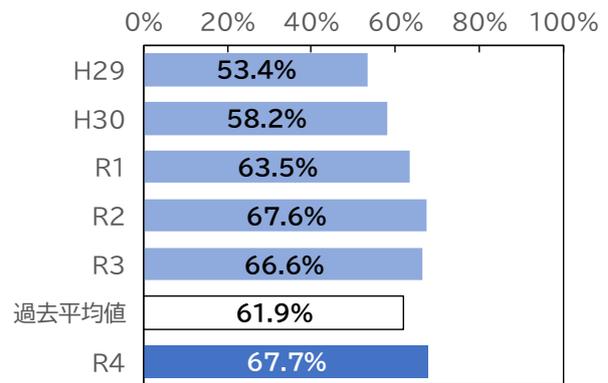
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、「調布花火（映画のまち調布花火）」において過去の平均を下回っていますが、他の項目で上回っています。

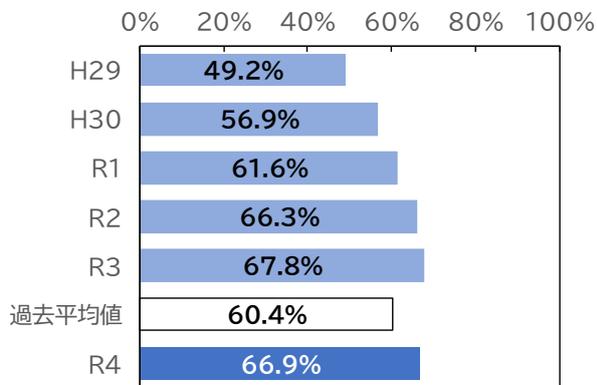
日常の買い物の便利さ



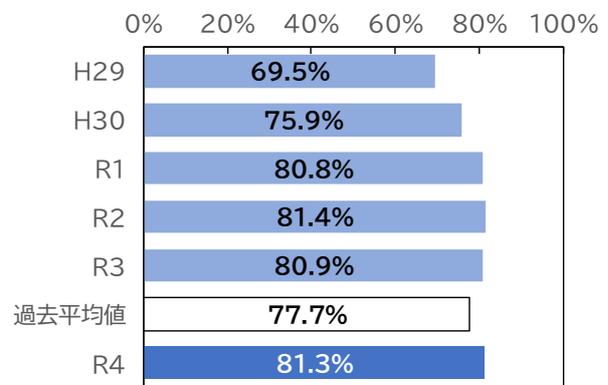
市内工業・商業などの活力



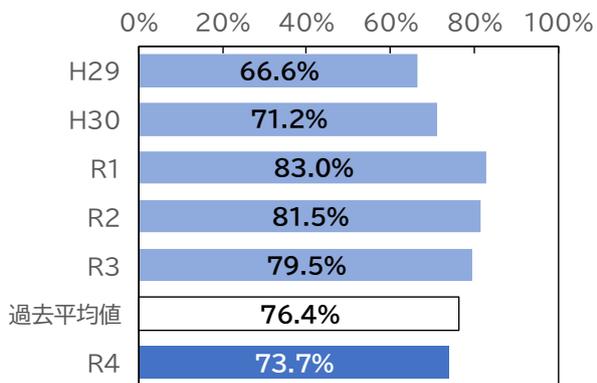
市内中小企業に対する支援



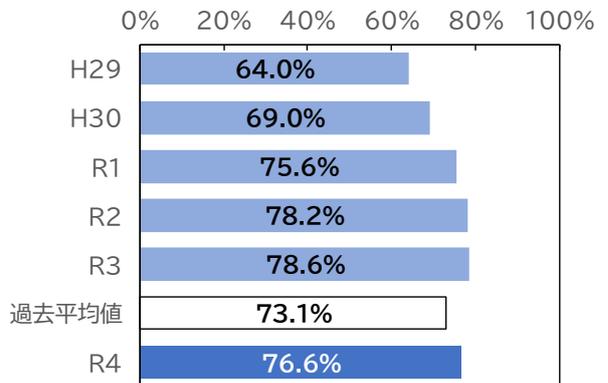
深大寺地域などの観光振興



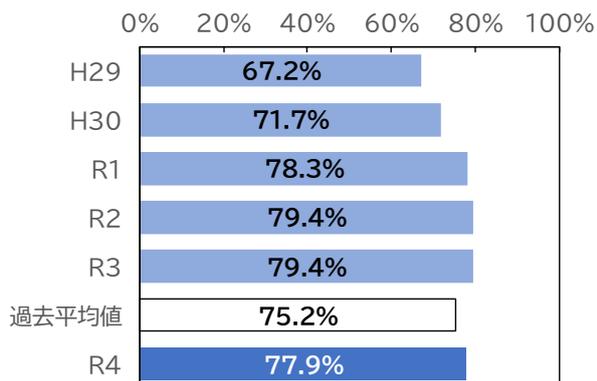
調布花火(映画のまち調布花火)



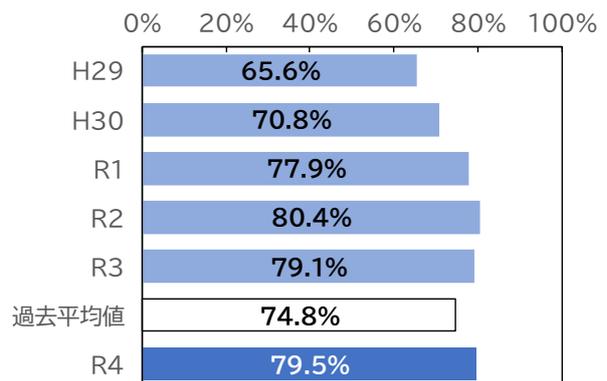
「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組



グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動



歴史・文化財の保存や継承

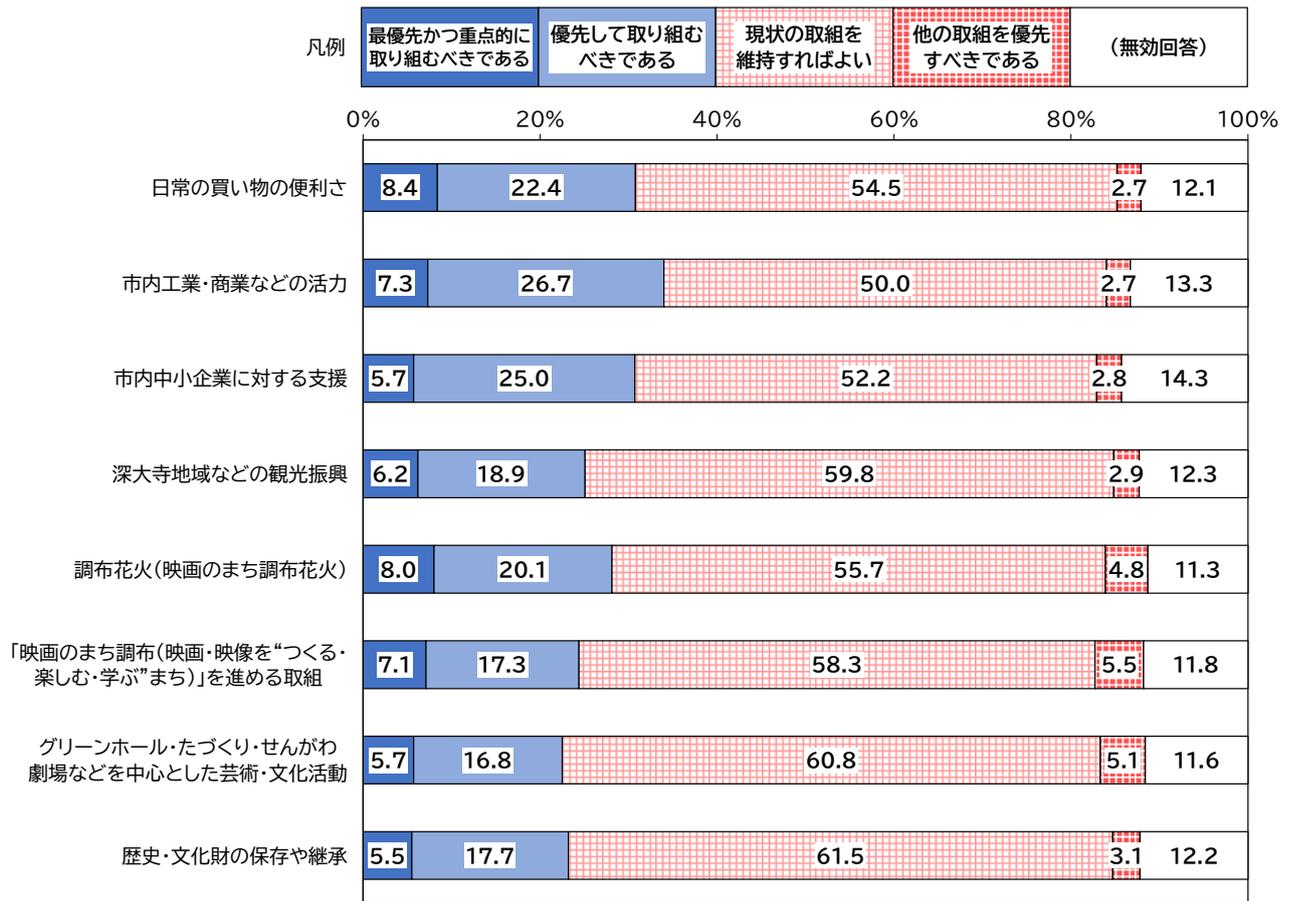


第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

※「調布花火（映画のまち調布花火）」は、令和3年度までは「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」としていた調査項目です。そのため、「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」としていた調査項目における令和3年度以前の推移を参考に掲載しています。

<優先度>

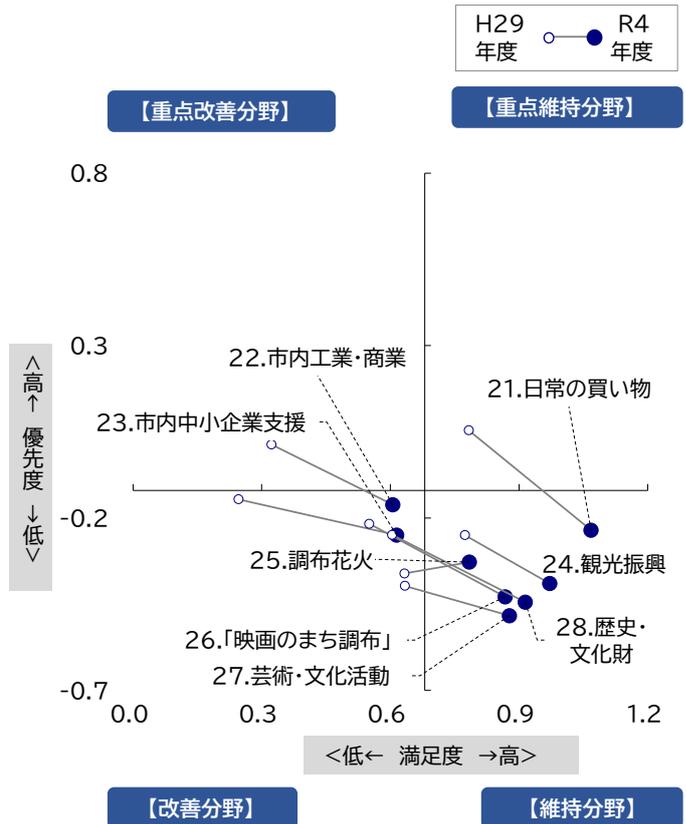
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。また全8項目すべてで、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を超えています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために」の全8項目中6項目が、「維持分野」に該当しています。
- 平成29年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が高まり、優先度が低下しています。このうち、平成29年度に重点改善分野に該当していた「市内工業・商業などの活力」は改善分野に、改善分野に該当していた「調布花火（映画のまち調布花火）」、「グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動」は維持分野に、重点維持分野に該当していた「日常の買い物の便利さ」は維持分野に、それぞれ移行していません。

	取組項目	満足度	優先度
21	日常の買い物の便利さ	1.07	-0.24
22	市内工業・商業などの活力	0.61	-0.16
23	市内中小企業に対する支援	0.61	-0.25
24	深大寺地域などの観光振興	0.97	-0.39
25	調布花火（映画のまち調布花火）	0.78	-0.33
26	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	0.87	-0.43
27	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	0.88	-0.48
28	歴史・文化財の保存や継承	0.91	-0.44

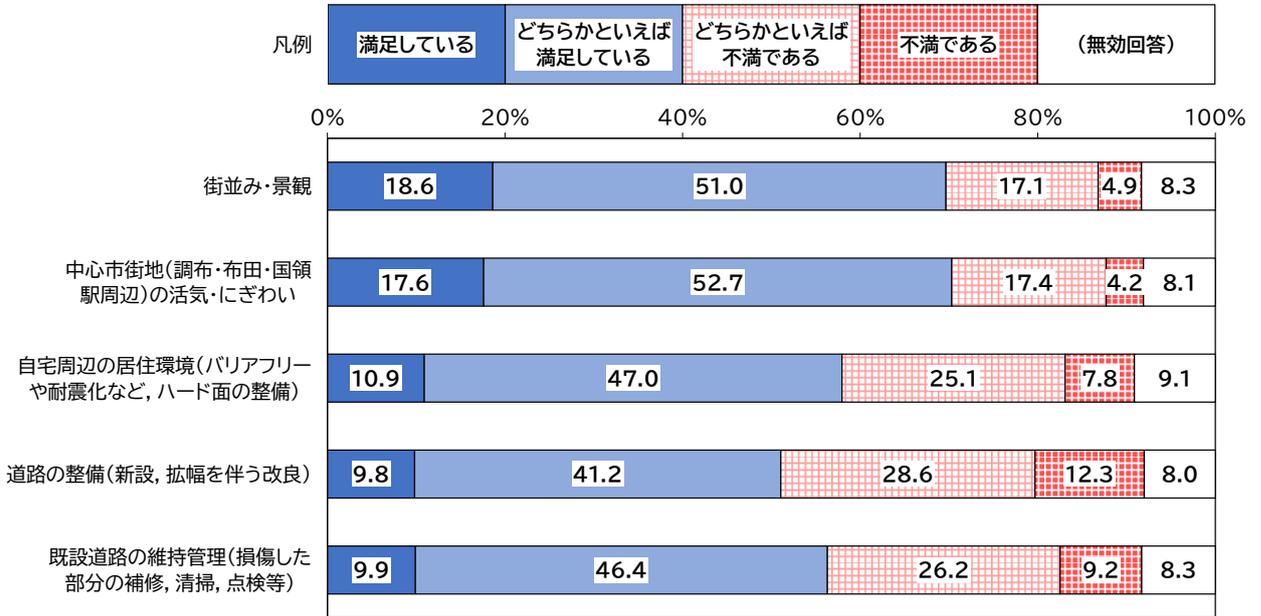


第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

基本目標7 快適でより便利なまちをつくるために(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.29~33)

<満足度>

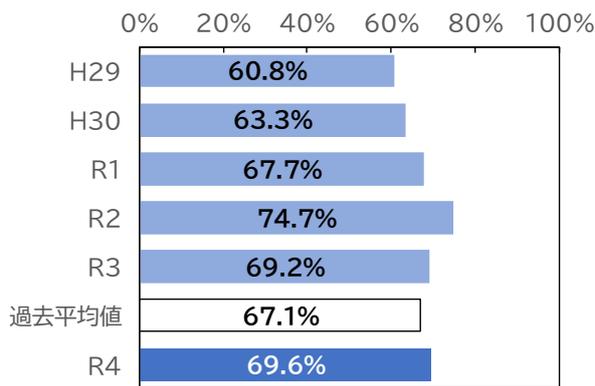
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい」(70.3%),「街並み・景観」(69.6%),「自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など,ハード面の整備)」(57.9%),「既設道路の維持管理(損傷した部分の補修,清掃,点検等)」(56.3%)の順となっており,全5項目すべてで半数を上回っています。



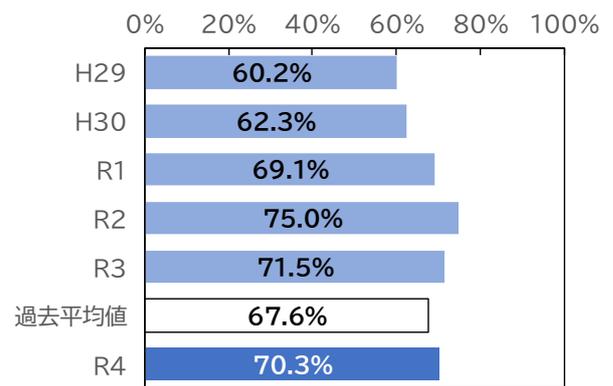
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は,「自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など,ハード面の整備)」において過去の平均を下回っていますが,他の項目ではいずれも上回っています。

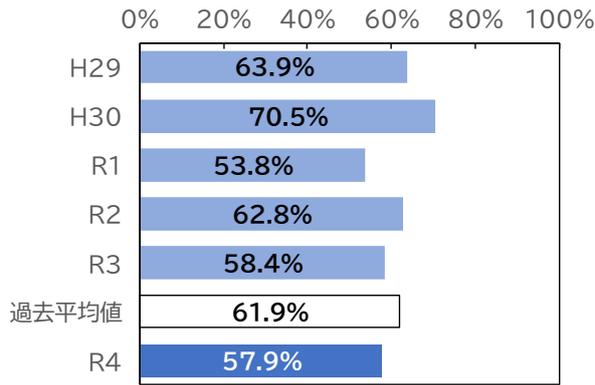
街並み・景観



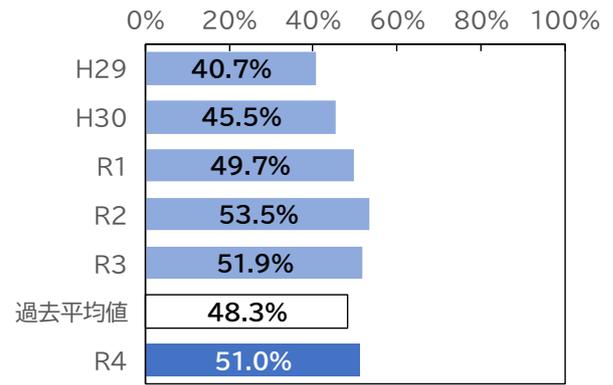
中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい



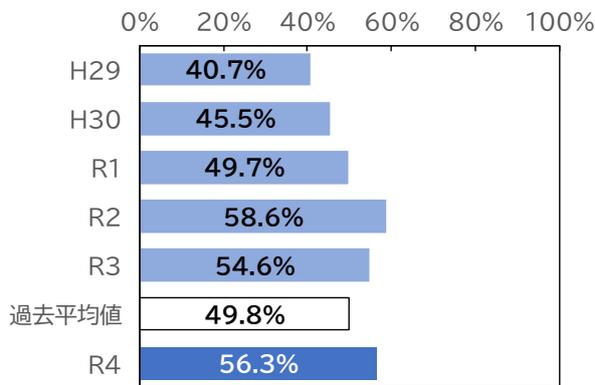
自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備)



道路の整備(新設, 拡幅を伴う改良)



既設道路の維持管理(損傷した部分の補修, 清掃, 点検等)

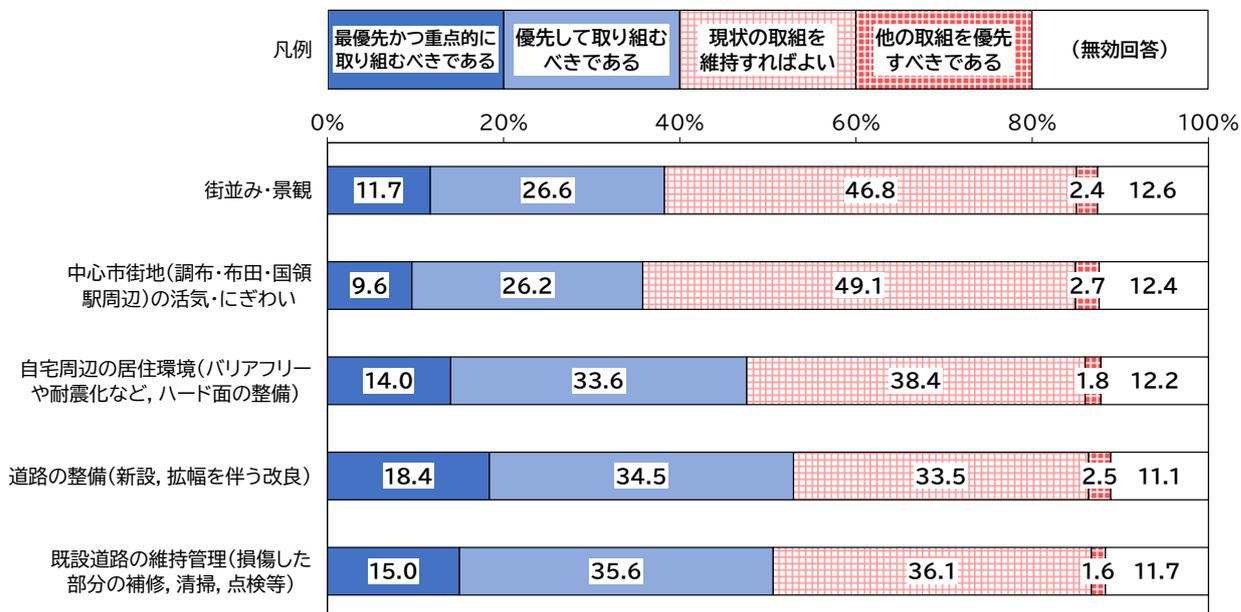


※「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」，「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，補修，清掃，点検等）」は，令和元年度までは「道路整備」としていた調査項目で，令和2年度に分離・新設した項目です。そのため，「道路整備」としていた調査項目における令和元年度以前の推移を参考に掲載しています。

### 第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

#### <優先度>

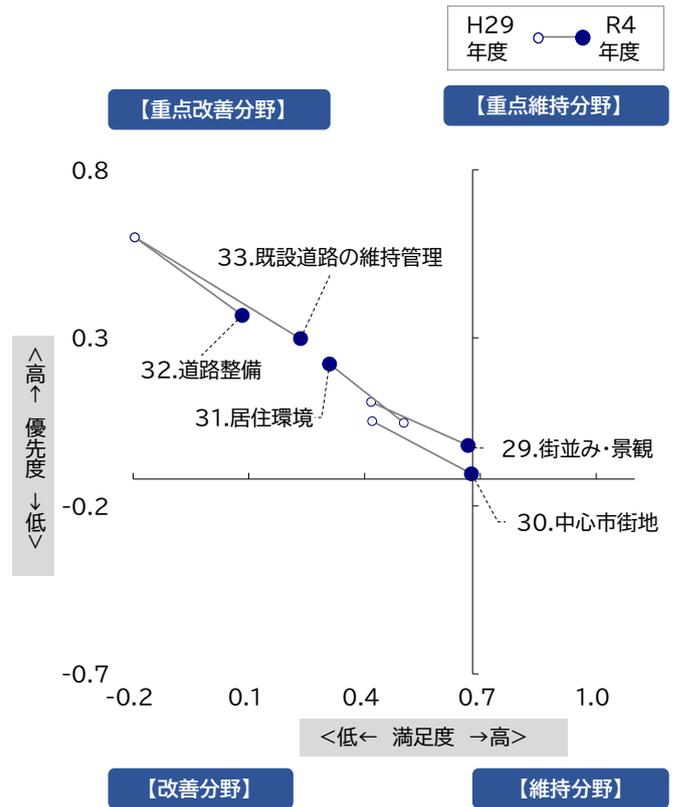
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」（52.9%）,「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修, 清掃, 点検等）」（50.6%）,「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など, ハード面の整備）」（47.6%）,「街並み・景観」（38.3%）,「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」（35.8%）の順となっています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標7 快適でより便利なまちをつくるために」の5項目全てが、優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。
- 平成29年度の調査結果と比べ、「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）」の満足度が低下し、優先度が高まっています。その他の項目は、満足度が高まり、優先度が低下しています。

	取組項目	満足度	優先度
29	街並み・景観	0.67	-0.02
30	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	0.68	-0.10
31	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	0.31	0.22
32	道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）	0.08	0.37
33	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）	0.23	0.30

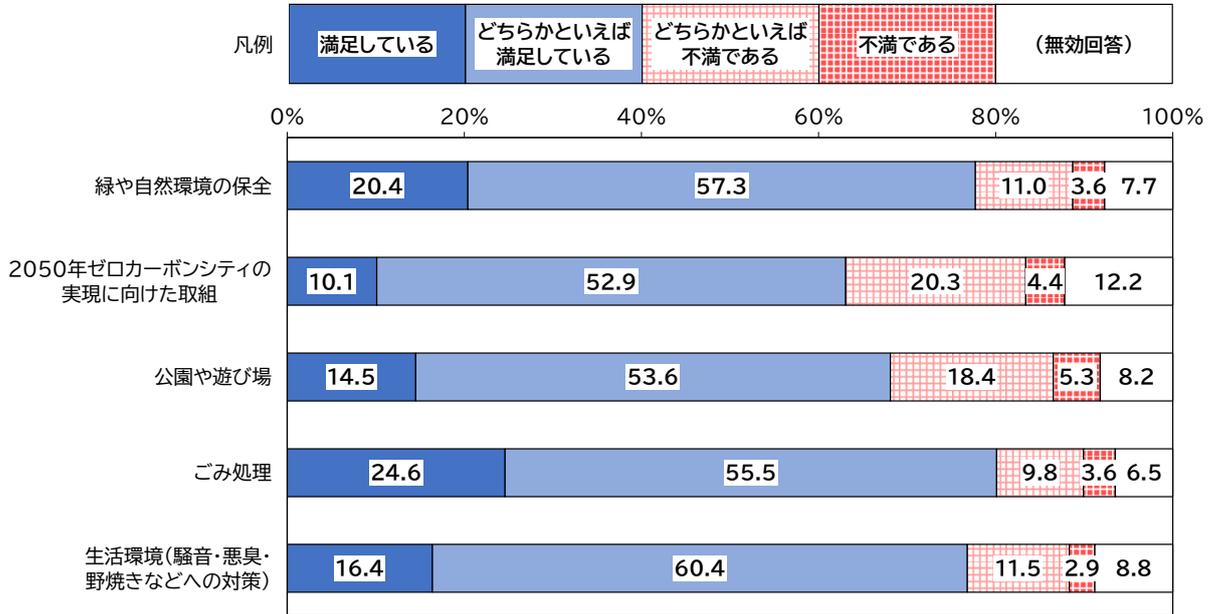


第3章 調査結果<市政全般(くらし)>

基本目標8 環境にやさしく、自然と共生するために(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.34~38)

<満足度>

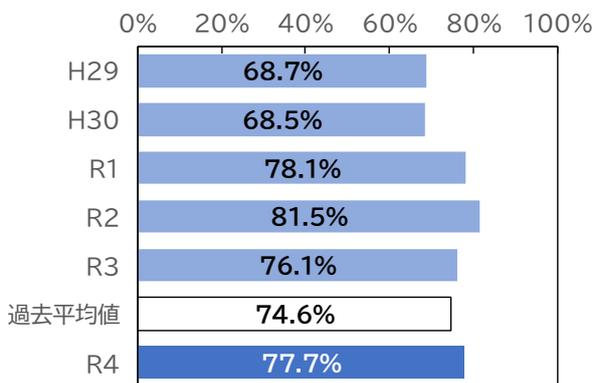
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「ごみ処理」(80.1%)、「緑や自然環境の保全」(77.7%)、「生活環境(騒音・悪臭・野焼きなど)対策」(76.8%)、「公園や遊び場」(68.1%)の順となっています。



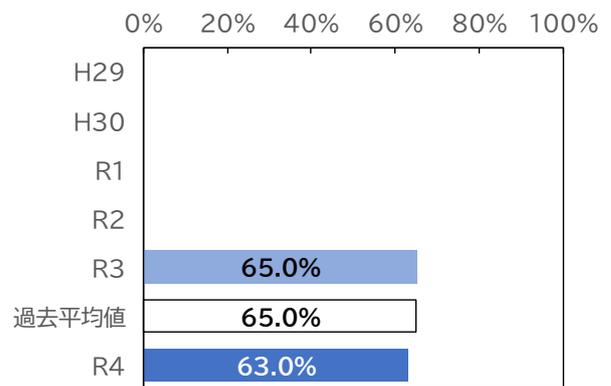
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」において、項目を新設した昨年を下回っていますが、これ以外の項目ではいずれも過去平均値を上回っています。

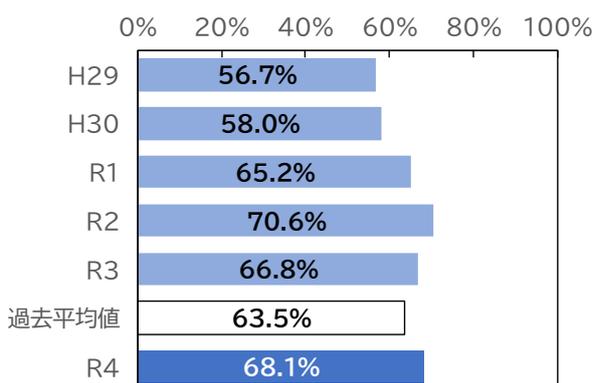
緑や自然環境の保全



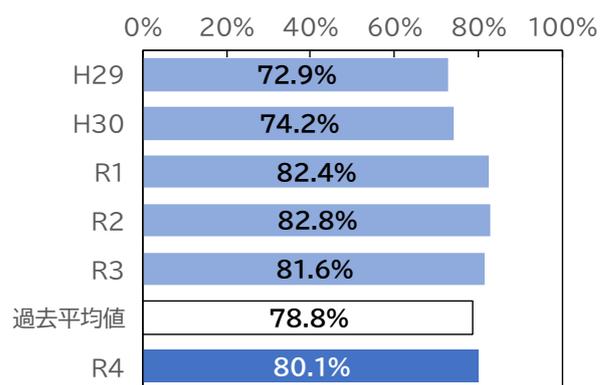
2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組



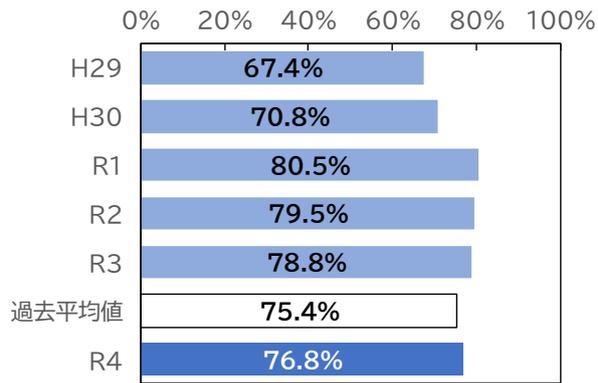
公園や遊び場



ごみ処理



生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)

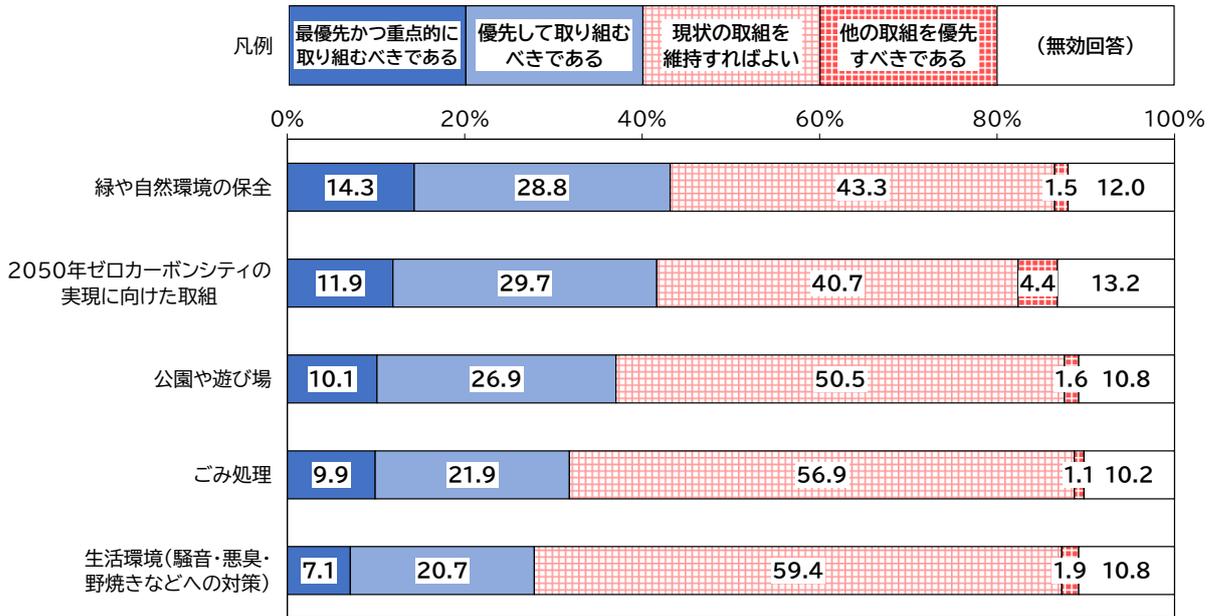


※「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は、令和3年度に新設した調査項目です。

第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。

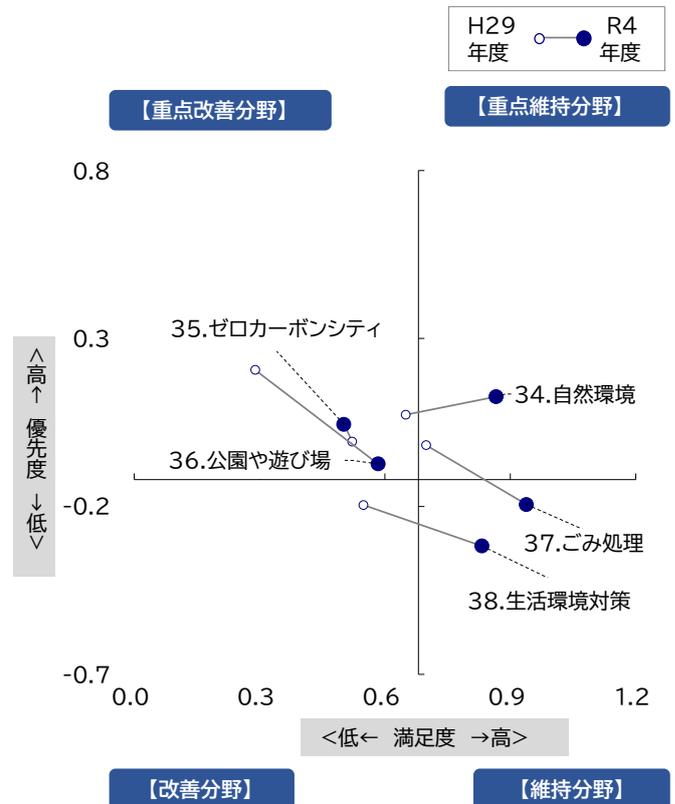


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標8 環境にやさしく、自然と共生するために」の5項目中2項目が、満足度が低く、優先度が高い「重点改善分野」に該当していません。

○平成29年度の調査結果と比べ、「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」「緑や自然環境の保全」を除き、満足度が高まり、優先度が低下しています。「緑や自然環境の保全」は、平成29年度に重点改善分野に該当していましたが、満足度の高まりによって重点維持分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
34	緑や自然環境の保全	0.87	0.13
35	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.50	0.04
36	公園や遊び場	0.58	-0.07
37	ごみ処理	0.94	-0.19
38	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	0.83	-0.32

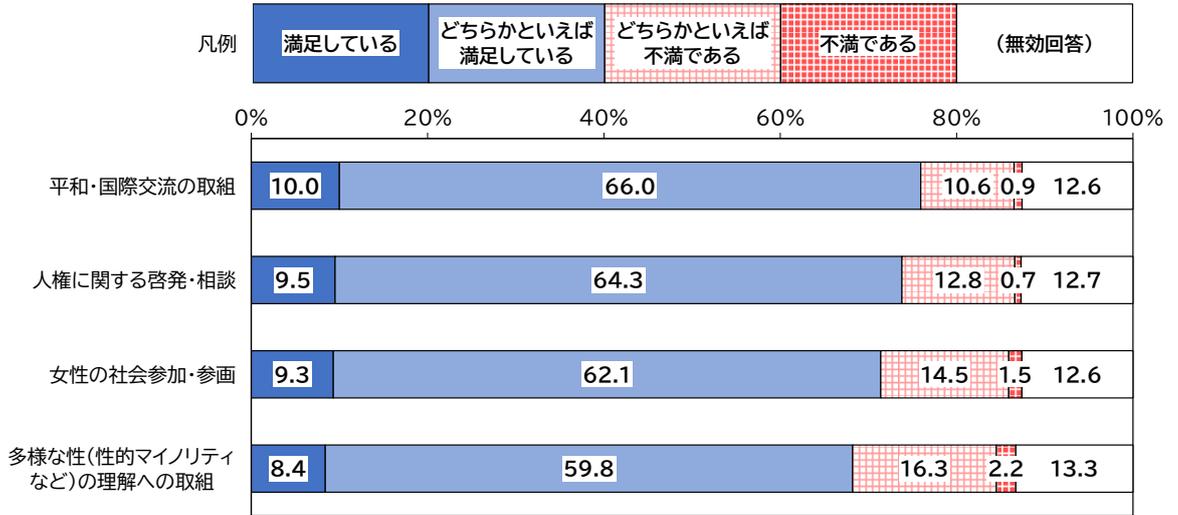


※「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

まちづくりの基本理念を実現するために(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.39~42)

<満足度>

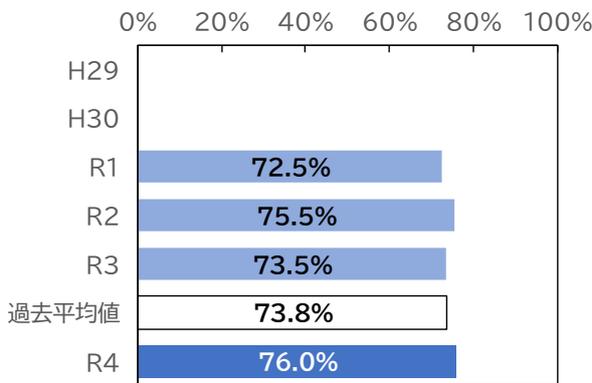
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「平和・国際交流の取組」(76.0%)、「人権に関する啓発・相談」(73.8%)、「女性の社会参加・参画」(71.4%)の順となっています。



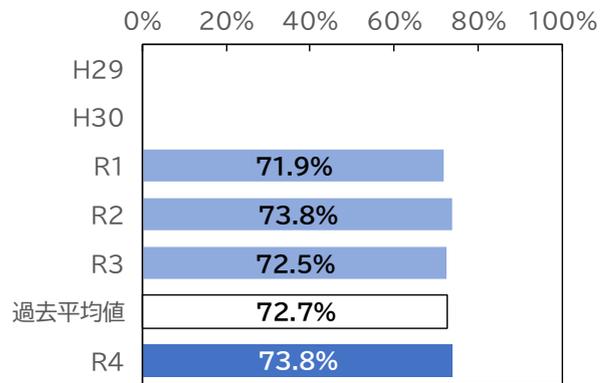
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、4項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。

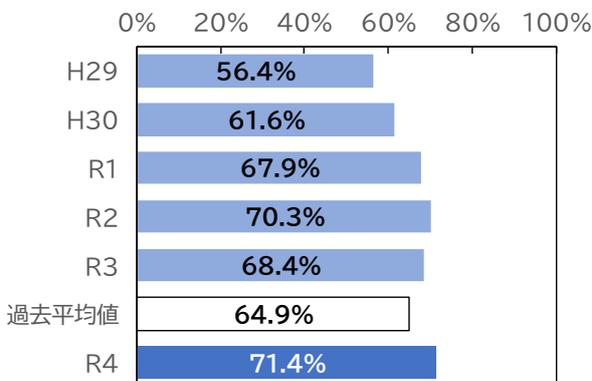
平和・国際交流の取組



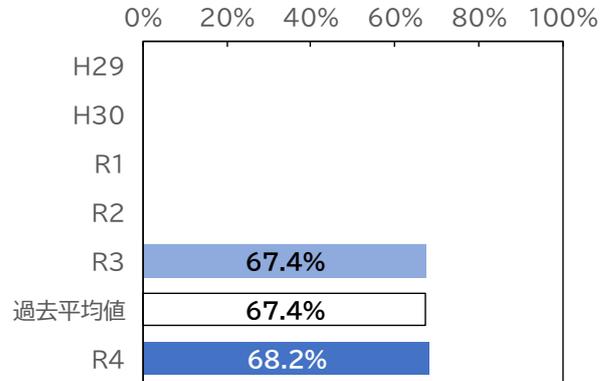
人権に関する啓発・相談



女性の社会参加・参画



多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組

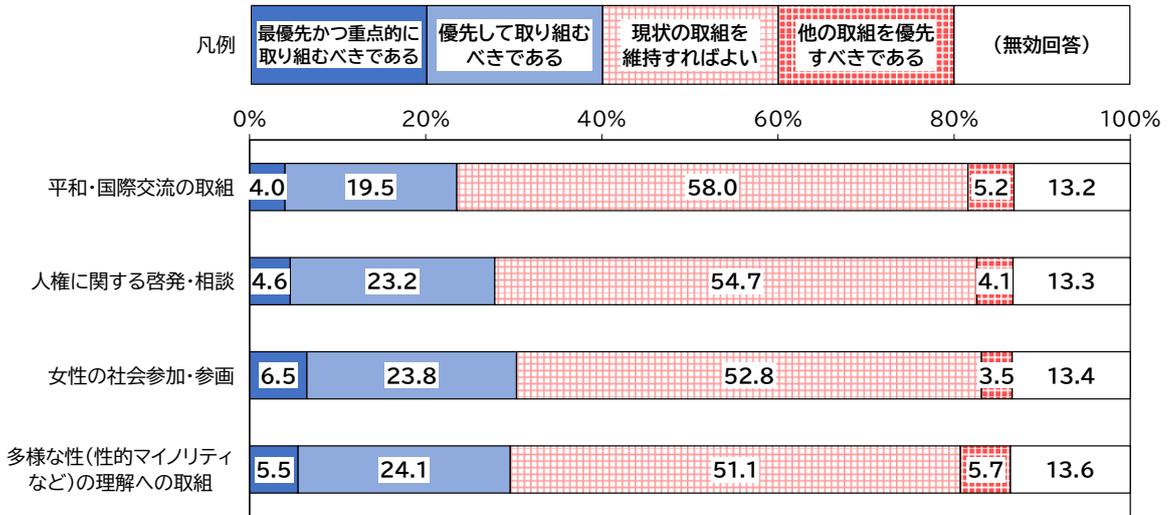


※「平和・国際交流の取組」, 「人権に関する啓発・相談」は、令和元年度に、「多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

<優先度>

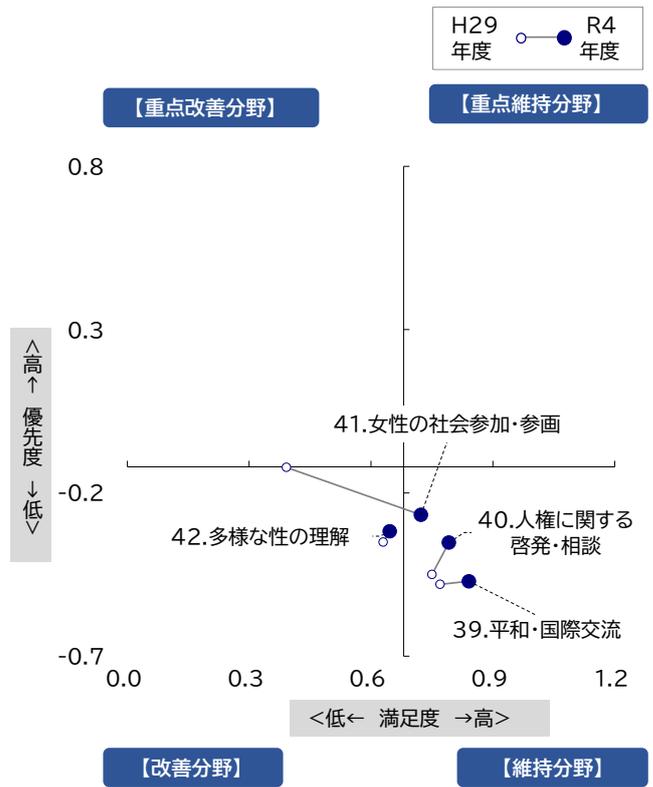
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、女性の社会参加・参画を除き、いずれも30%を下回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「まちづくりの基本理念を実現するために」の4項目中3項目が、満足度が高く、優先度が低い「維持分野」に該当しています。
- 平成29年度の調査結果と比べ、「女性の社会参加・参画」の満足度が高まっており、優先度がやや低下しています。その他の項目は、満足度・優先度とも大きな変化はみられません。

	取組項目	満足度	優先度
39	平和・国際交流の取組	0.84	-0.47
40	人権に関する啓発・相談	0.79	-0.35
41	女性の社会参加・参画	0.72	-0.27
42	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	0.65	-0.32



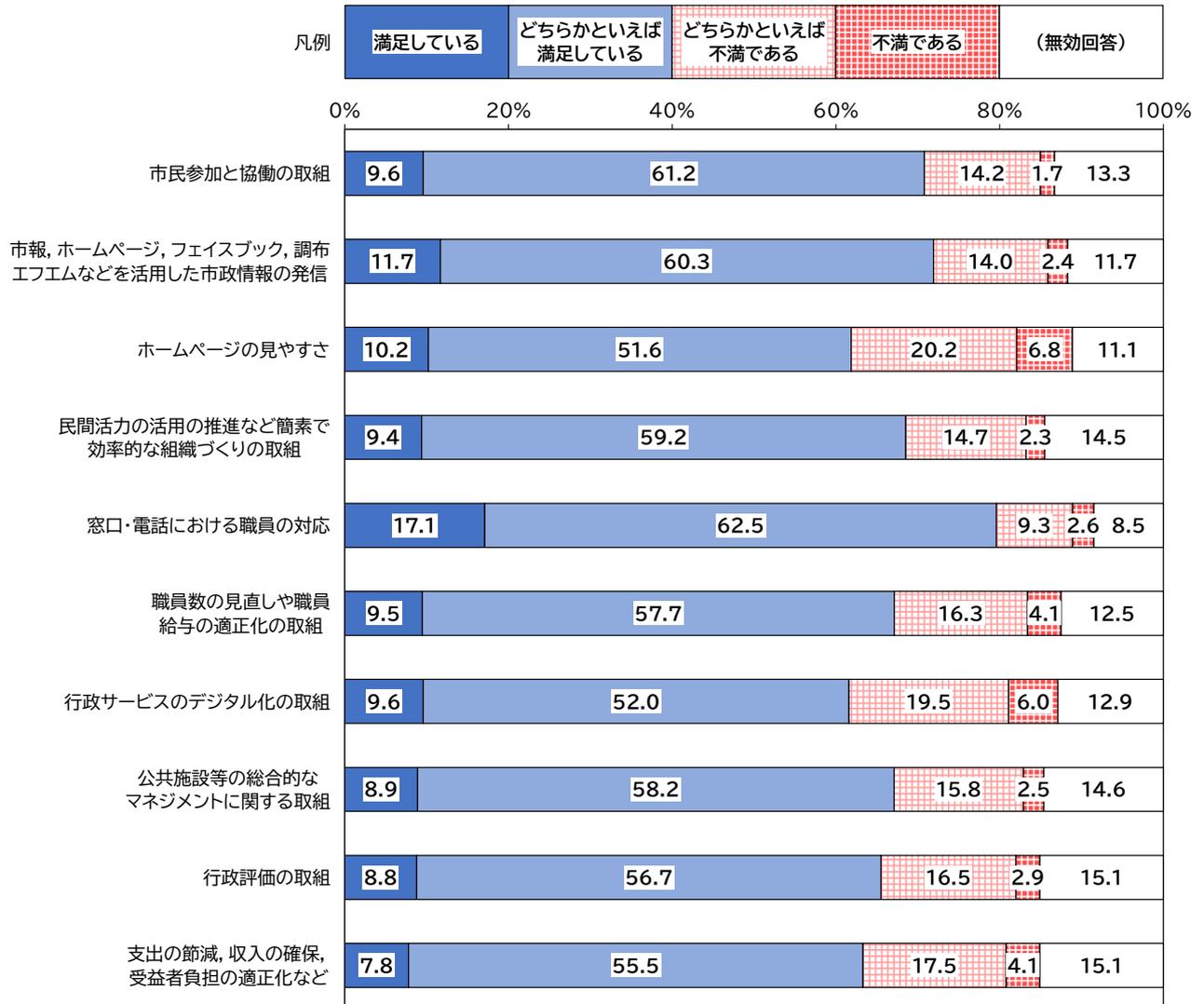
※「平和・国際交流の取組」, 「人権に関する啓発・相談」は、令和元年度に新設した調査項目です。そのため、令和元年度からの推移を参考に掲載しています。

※「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」は、令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

行革プラン 2019 (「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.43~52)

<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「窓口・電話における職員の対応」(79.6%)、「市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信」(72.0%)、「市民参加と協働の取組」(70.8%)の順となっており、全項目において60%を超えています。

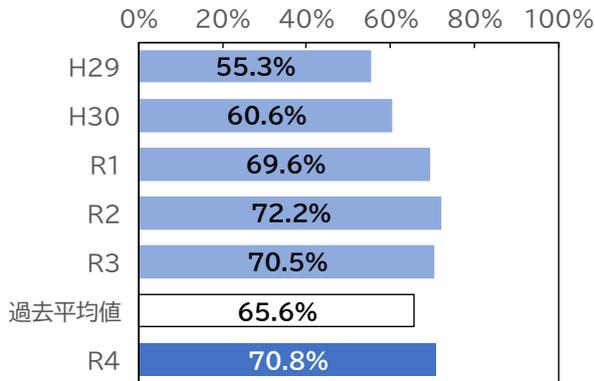


第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

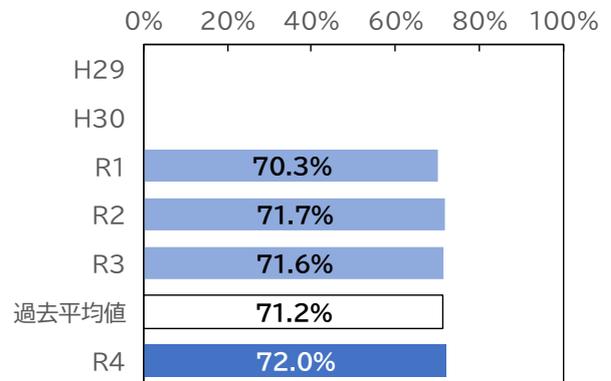
<満足度の経年推移>

○令和4年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、10項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。

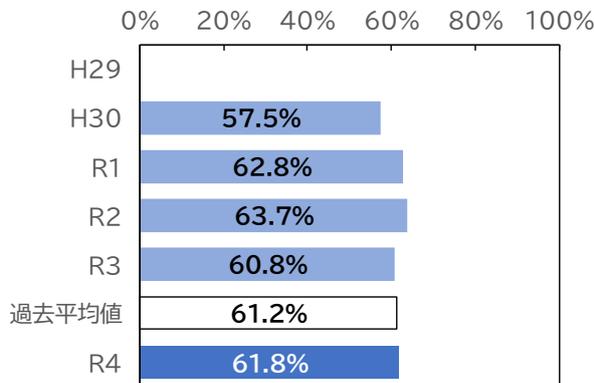
市民参加と協働の取組



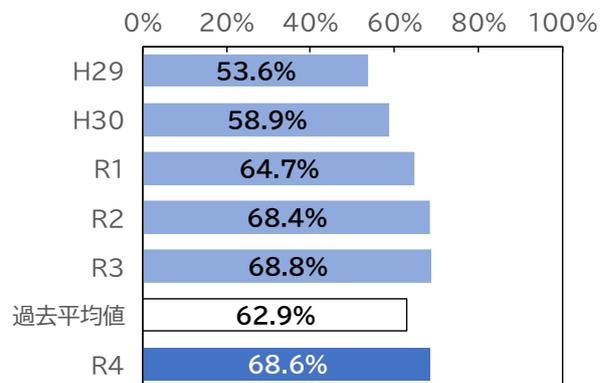
市報, ホームページ, フェイスブック, 調布エフエムなどを活用した市政情報の発信



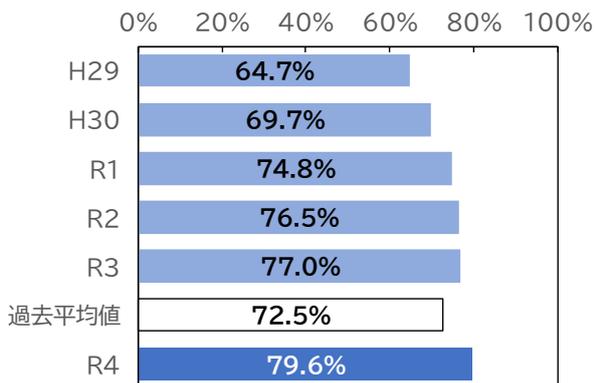
ホームページの見やすさ



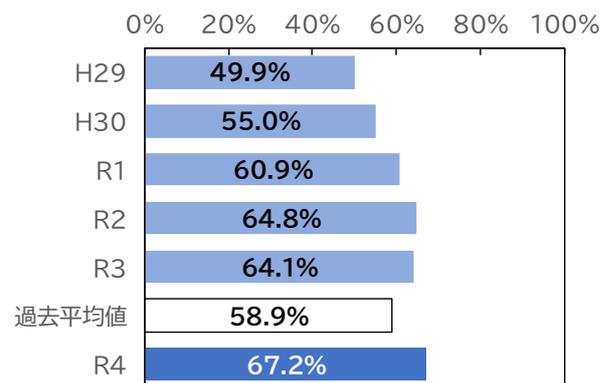
民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組



窓口・電話における職員の対応

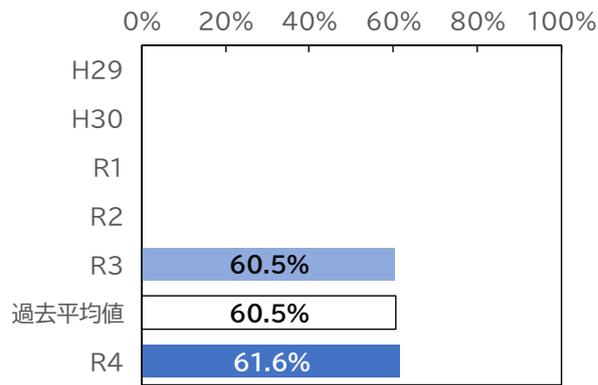


職員数の見直しや職員給与の適正化の取組

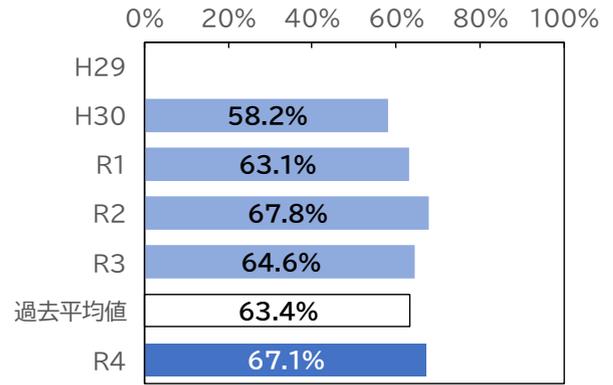


※「市報, ホームページ, フェイスブック, 調布エフエムなどを活用した市政情報の発信」は、令和元年度に、「ホームページの見やすさ」は平成30年度に新設した調査項目です。

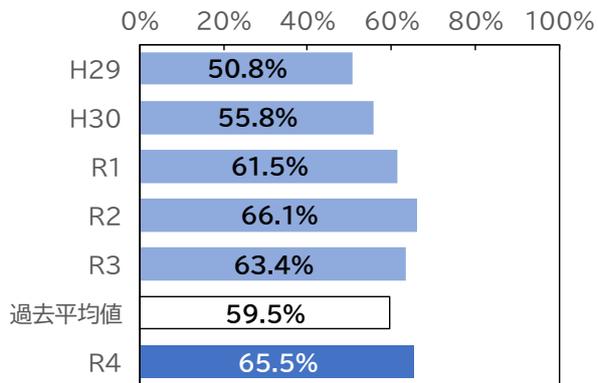
行政サービスのデジタル化の取組



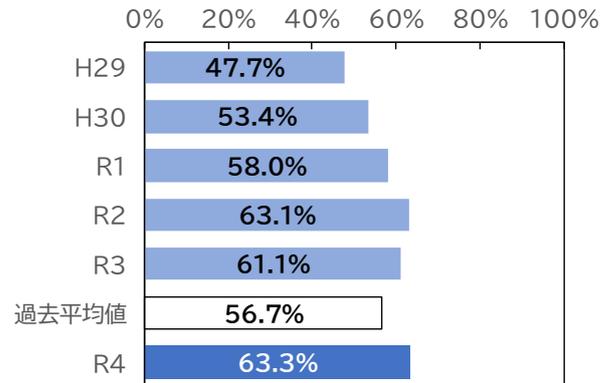
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組



行政評価の取組



支出の節減, 収入の確保, 受益者負担の適正化など

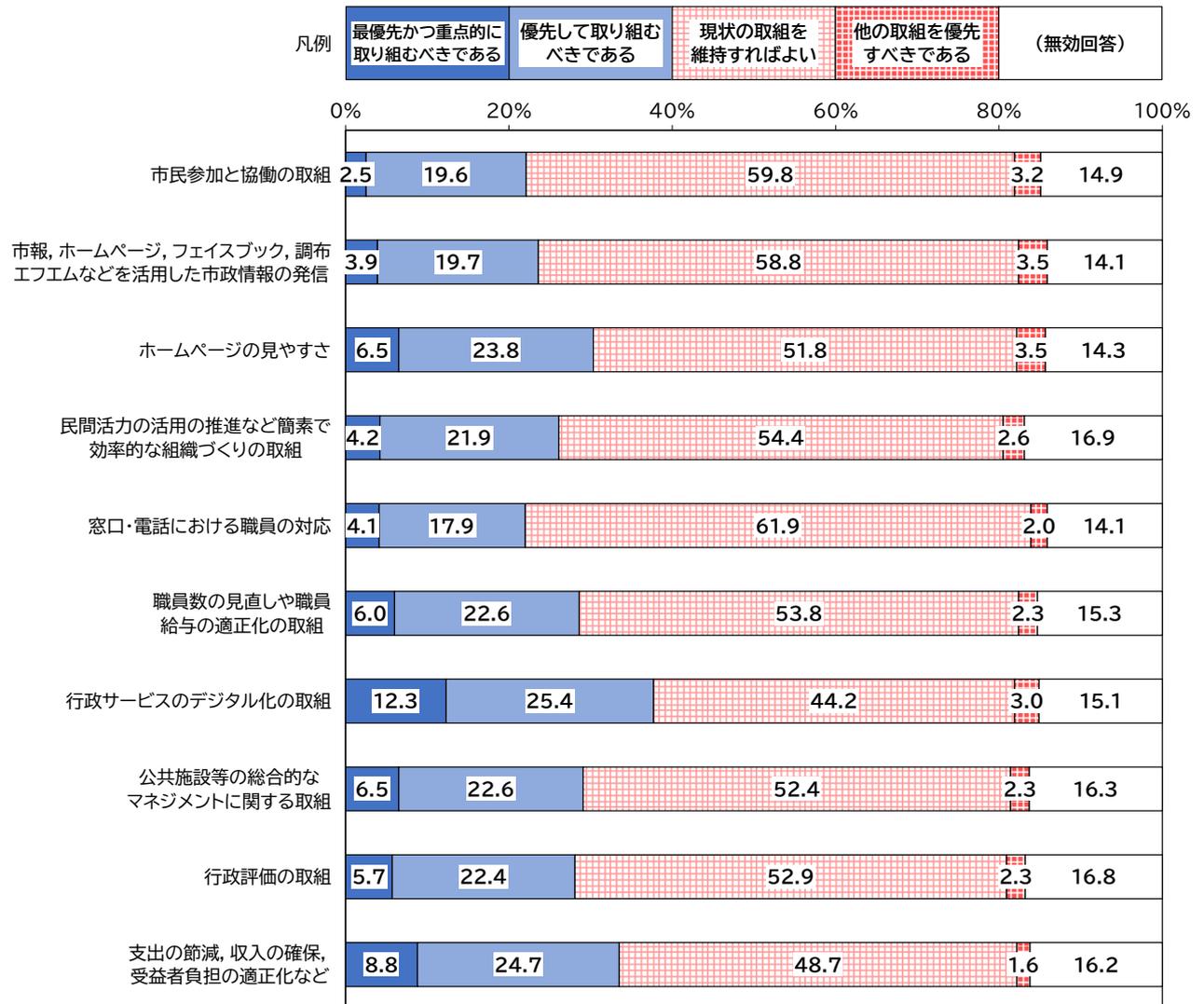


※「行政サービスのデジタル化の取組」は令和3年度に、「公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組」は平成30年度に新設した調査項目です。

### 第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

#### <優先度>

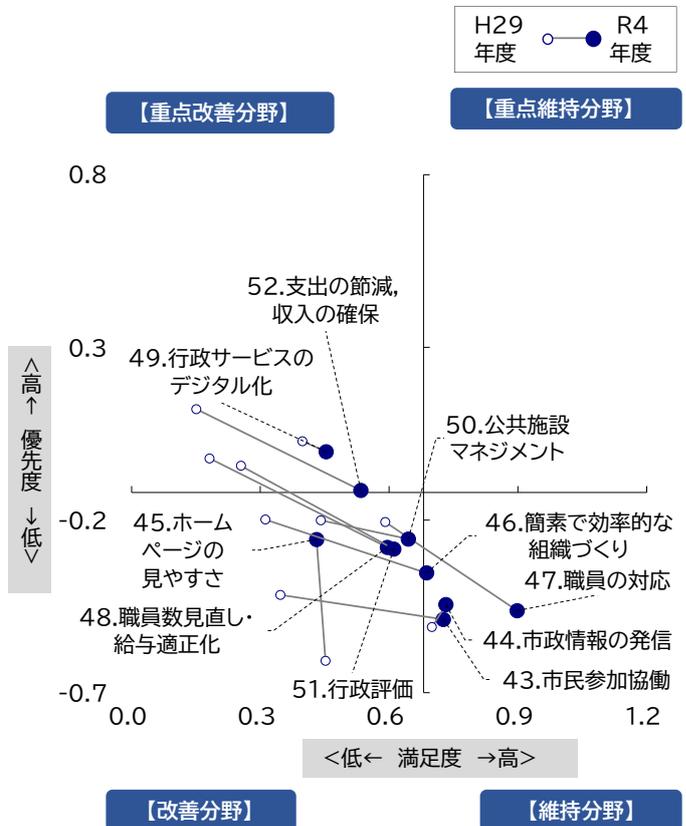
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも40%を下回っています。なお、「行政サービスのデジタル化の取組」を除く9項目では、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「行革プラン2019」の各項目は、おおむね優先度が低くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「行政サービスのデジタル化の取組」、「支出の節減，収入の確保，受益者負担の適正化など」が該当しています。
- 平成29年度の調査結果と比べ、「職員数の見直しや職員給与の適正化の取組」、「行政評価」は重点改善分野から改善分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
43	市民参加と協働の取組	0.73	-0.49
44	市報，ホームページ，フェイスブック，調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	0.73	-0.44
45	ホームページの見やすさ	0.43	-0.26
46	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.69	-0.35
47	窓口・電話における職員の対応	0.90	-0.46
48	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.60	-0.28
49	行政サービスのデジタル化の取組	0.45	0.00
50	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.64	-0.26
51	行政評価の取組	0.61	-0.28
52	支出の節減，収入の確保，受益者負担の適正化など	0.53	-0.11



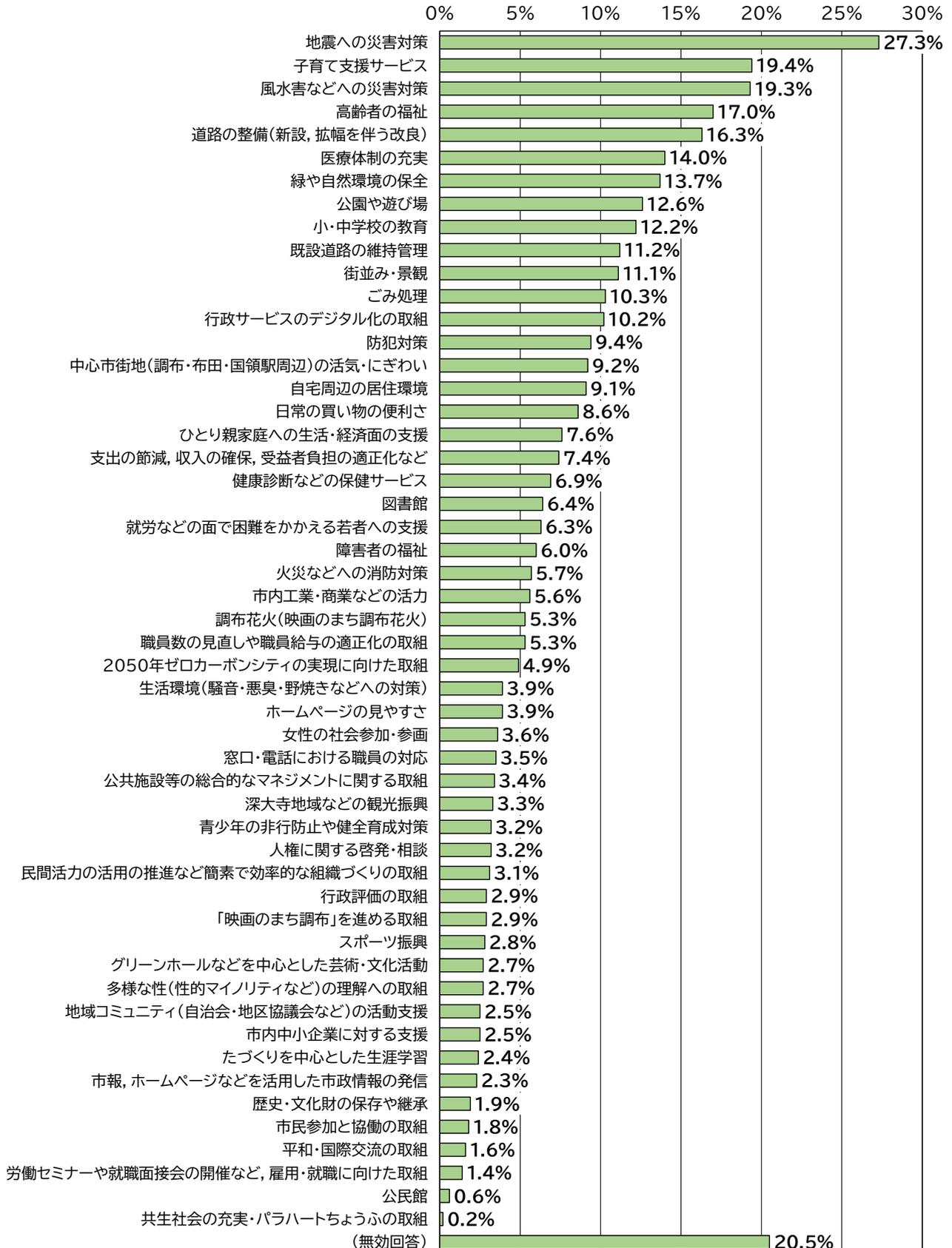
- ※「ホームページの見やすさ」、「公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組」は、平成30年度に新設した調査項目です。そのため、平成30年度からの推移を参考に掲載しています。
- ※「市報，ホームページ，フェイスブック，調布エフエムなどを活用した市政情報の発信」は、令和元年度に新設した調査項目です。そのため、令和元年度からの推移を参考に掲載しています。
- ※「行政サービスのデジタル化の取組」は、令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

問 17-1) あなたは、問 17 の No. 1～No. 52 までの取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。

<全体（n=1,193）>

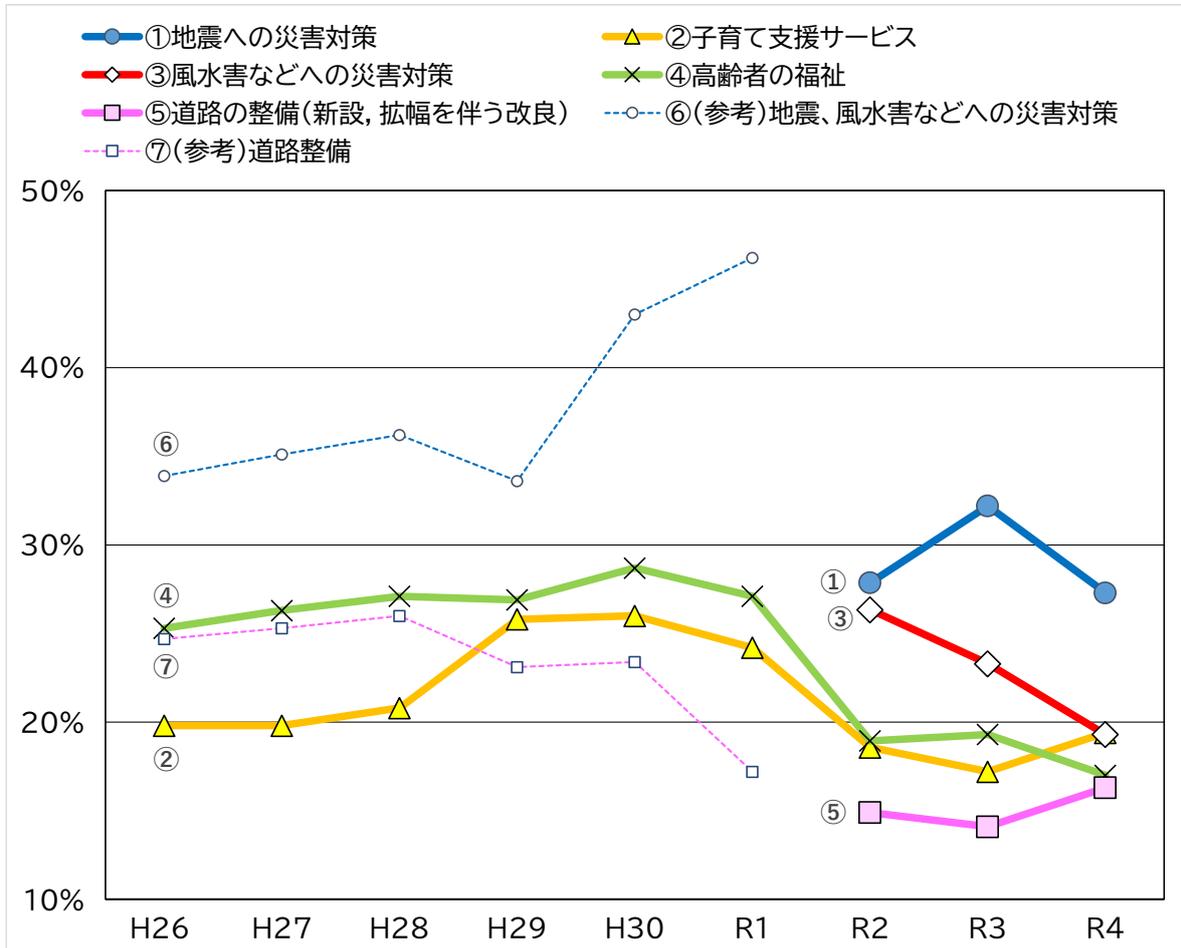
○「地震への災害対策」が 27.3%で最も高く、次いで「子育て支援サービス」の 19.4%、「風水害などへの災害対策」の 19.3%となっています。



<経年比較>

- 平成 26 年度から令和元年度まで、「地震，風水害などへの災害対策」※1 が最も高くなっています。
- 令和 4 年度も「地震への災害対策」が最も高く，令和 2～3 年度で 2 番目に高かった「風水害などへの災害対策」に代わって，「子育て支援サービス」がこれに次いでいます。

【図表 令和 3 年度における上位 5 項目の経年比較】



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
①地震への災害対策							27.9%	32.2%	27.3%
②子育て支援サービス	19.8%	19.8%	20.8%	25.8%	26.0%	24.2%	18.6%	17.2%	19.4%
③風水害などへの災害対策							26.3%	23.3%	19.3%
④高齢者の福祉	25.3%	26.3%	27.1%	26.9%	28.7%	27.1%	18.9%	19.3%	17.0%
⑤道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）							14.9%	14.1%	16.3%

参考：令和元年度までの項目

⑥（参考）地震，風水害などへの災害対策	33.9%	35.1%	36.2%	33.6%	43.0%	46.2%				令和元年度1位
⑦（参考）道路整備	24.7%	25.3%	26.0%	23.1%	23.4%	17.2%				令和元年度5位

※1 平成 30 年度までは「地震などの災害対策」，令和元年度は「地震，風水害などへの災害対策」

※2 令和元年度までは「道路整備」

### 第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

#### <年齢層別>

○65～69歳を除く年齢層においては「地震への災害対策」が、また60歳以上では「高齢者の福祉」が、それぞれ1番目または2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
地震への災害対策	326	13	25	32	62	76	26	25	38	28
	27.3%	34.2%	30.5%	25.6%	28.4%	34.5%	29.5%	23.1%	21.5%	22.4%
子育て支援サービス	232	9	30	54	56	28	7	14	17	15
	19.4%	23.7%	36.6%	43.2%	25.7%	12.7%	8.0%	13.0%	9.6%	12.0%
風水害などへの災害対策	230	13	16	21	46	56	18	16	32	10
	19.3%	34.2%	19.5%	16.8%	21.1%	25.5%	20.5%	14.8%	18.1%	8.0%
高齢者の福祉	203	4	7	6	21	38	22	31	40	31
	17.0%	10.5%	8.5%	4.8%	9.6%	17.3%	25.0%	28.7%	22.6%	24.8%
道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	195	7	15	27	35	38	11	27	25	10
	16.3%	18.4%	18.3%	21.6%	16.1%	17.3%	12.5%	25.0%	14.1%	8.0%
医療体制の充実	167	3	17	14	31	30	17	20	22	12
	14.0%	7.9%	20.7%	11.2%	14.2%	13.6%	19.3%	18.5%	12.4%	9.6%
緑や自然環境の保全	164	6	7	13	30	31	13	13	33	18
	13.7%	15.8%	8.5%	10.4%	13.8%	14.1%	14.8%	12.0%	18.6%	14.4%
公園や遊び場	150	5	14	32	34	20	7	10	18	8
	12.6%	13.2%	17.1%	25.6%	15.6%	9.1%	8.0%	9.3%	10.2%	6.4%
小・中学校の教育	145	5	15	25	47	22	8	8	10	4
	12.2%	13.2%	18.3%	20.0%	21.6%	10.0%	9.1%	7.4%	5.6%	3.2%
既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	134	6	6	18	22	26	9	15	23	8
	11.2%	15.8%	7.3%	14.4%	10.1%	11.8%	10.2%	13.9%	13.0%	6.4%
街並み・景観	133	5	11	12	32	25	7	16	16	9
	11.1%	13.2%	13.4%	9.6%	14.7%	11.4%	8.0%	14.8%	9.0%	7.2%
ごみ処理	123	2	8	16	22	26	9	13	14	12
	10.3%	5.3%	9.8%	12.8%	10.1%	11.8%	10.2%	12.0%	7.9%	9.6%
行政サービスのデジタル化の取組	122	5	14	16	24	17	12	8	15	11
	10.2%	13.2%	17.1%	12.8%	11.0%	7.7%	13.6%	7.4%	8.5%	8.8%
防犯対策	112	4	9	9	21	32	7	11	13	6
	9.4%	10.5%	11.0%	7.2%	9.6%	14.5%	8.0%	10.2%	7.3%	4.8%
中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の 活気・にぎわい	110	2	5	17	28	19	6	11	11	11
	9.2%	5.3%	6.1%	13.6%	12.8%	8.6%	6.8%	10.2%	6.2%	8.8%
自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震 化など、ハード面の整備）	108	5	3	9	23	24	6	9	16	12
	9.1%	13.2%	3.7%	7.2%	10.6%	10.9%	6.8%	8.3%	9.0%	9.6%
日常の買い物の便利さ	103	5	7	15	23	20	6	10	11	5
	8.6%	13.2%	8.5%	12.0%	10.6%	9.1%	6.8%	9.3%	6.2%	4.0%
ひとり親家庭への生活・経済面の支援	91	4	9	6	13	17	4	8	17	13
	7.6%	10.5%	11.0%	4.8%	6.0%	7.7%	4.5%	7.4%	9.6%	10.4%
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適 正化など	88	1	7	9	18	15	3	6	21	7
	7.4%	2.6%	8.5%	7.2%	8.3%	6.8%	3.4%	5.6%	11.9%	5.6%
健康診断などの保健サービス	82	1	6	6	12	14	6	6	21	9
	6.9%	2.6%	7.3%	4.8%	5.5%	6.4%	6.8%	5.6%	11.9%	7.2%
図書館	76	8	14	6	13	11	4	6	11	3
	6.4%	21.1%	17.1%	4.8%	6.0%	5.0%	4.5%	5.6%	6.2%	2.4%
就労などの面で困難をかかえる若者への支 援	75	6	9	7	12	13	5	6	9	7
	6.3%	15.8%	11.0%	5.6%	5.5%	5.9%	5.7%	5.6%	5.1%	5.6%
障害者の福祉	71	3	4	5	14	13	6	8	9	9
	6.0%	7.9%	4.9%	4.0%	6.4%	5.9%	6.8%	7.4%	5.1%	7.2%
火災などへの消防対策	68	2	2	6	16	20	3	5	10	4
	5.7%	5.3%	2.4%	4.8%	7.3%	9.1%	3.4%	4.6%	5.6%	3.2%
市内工業・商業などの活力	67	2	1	9	13	13	6	7	13	3
	5.6%	5.3%	1.2%	7.2%	6.0%	5.9%	6.8%	6.5%	7.3%	2.4%
調布花火（映画のまち調布花火）	63	5	9	7	11	17	4	1	7	2
	5.3%	13.2%	11.0%	5.6%	5.0%	7.7%	4.5%	0.9%	4.0%	1.6%
職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	63	0	4	2	9	6	8	13	8	12
	5.3%	0.0%	4.9%	1.6%	4.1%	2.7%	9.1%	12.0%	4.5%	9.6%

第3章 調査結果<市政全般（くらし）>

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	58 4.9%	5 13.2%	1 1.2%	5 4.0%	12 5.5%	12 5.5%	7 8.0%	2 1.9%	9 5.1%	5 4.0%
生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	46 3.9%	2 5.3%	0 0.0%	8 6.4%	10 4.6%	9 4.1%	5 5.7%	3 2.8%	8 4.5%	1 0.8%
ホームページの見やすさ	46 3.9%	1 2.6%	3 3.7%	4 3.2%	11 5.0%	12 5.5%	3 3.4%	3 2.8%	7 4.0%	2 1.6%
女性の社会参加・参画	43 3.6%	1 2.6%	3 3.7%	5 4.0%	7 3.2%	7 3.2%	5 5.7%	6 5.6%	3 1.7%	6 4.8%
窓口・電話における職員の対応	42 3.5%	1 2.6%	3 3.7%	4 3.2%	4 1.8%	9 4.1%	4 4.5%	6 5.6%	8 4.5%	3 2.4%
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	40 3.4%	3 7.9%	3 3.7%	2 1.6%	3 1.4%	8 3.6%	4 4.5%	4 3.7%	11 6.2%	2 1.6%
深大寺地域などの観光振興	39 3.3%	0 0.0%	5 6.1%	7 5.6%	7 3.2%	4 1.8%	4 4.5%	4 3.7%	4 2.3%	4 3.2%
青少年の非行防止や健全育成対策	38 3.2%	0 0.0%	4 4.9%	3 2.4%	11 5.0%	5 2.3%	1 1.1%	3 2.8%	9 5.1%	2 1.6%
人権に関する啓発・相談	38 3.2%	1 2.6%	2 2.4%	3 2.4%	4 1.8%	7 3.2%	6 6.8%	4 3.7%	9 5.1%	2 1.6%
民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	37 3.1%	0 0.0%	1 1.2%	2 1.6%	3 1.4%	2 0.9%	5 5.7%	3 2.8%	11 6.2%	10 8.0%
行政評価の取組	35 2.9%	0 0.0%	4 4.9%	1 0.8%	9 4.1%	6 2.7%	4 4.5%	3 2.8%	4 2.3%	4 3.2%
「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	34 2.9%	2 5.3%	7 8.5%	4 3.2%	5 2.3%	5 2.3%	5 5.7%	3 2.8%	2 1.1%	1 0.8%
スポーツ振興	33 2.8%	2 5.3%	1 1.2%	1 0.8%	7 3.2%	11 5.0%	4 4.5%	2 1.9%	4 2.3%	1 0.8%
グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	32 2.7%	1 2.6%	1 1.2%	3 2.4%	6 2.8%	4 1.8%	3 3.4%	2 1.9%	10 5.6%	2 1.6%
多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	32 2.7%	4 10.5%	3 3.7%	2 1.6%	9 4.1%	7 3.2%	2 2.3%	3 2.8%	0 0.0%	2 1.6%
地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	30 2.5%	1 2.6%	1 1.2%	4 3.2%	6 2.8%	5 2.3%	1 1.1%	1 0.9%	6 3.4%	5 4.0%
市内中小企業に対する支援	30 2.5%	0 0.0%	1 1.2%	7 5.6%	6 2.8%	5 2.3%	4 4.5%	2 1.9%	4 2.3%	1 0.8%
たづくりを中心とした生涯学習	29 2.4%	2 5.3%	2 2.4%	3 2.4%	4 1.8%	5 2.3%	5 5.7%	2 1.9%	5 2.8%	1 0.8%
市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	28 2.3%	1 2.6%	1 1.2%	3 2.4%	5 2.3%	6 2.7%	4 4.5%	1 0.9%	4 2.3%	2 1.6%
歴史・文化財の保存や継承	23 1.9%	2 5.3%	2 2.4%	2 1.6%	4 1.8%	8 3.6%	1 1.1%	2 1.9%	0 0.0%	2 1.6%
市民参加と協働の取組	21 1.8%	1 2.6%	0 0.0%	3 2.4%	2 0.9%	3 1.4%	2 2.3%	0 0.0%	6 3.4%	4 3.2%
平和・国際交流の取組	19 1.6%	1 2.6%	2 2.4%	2 1.6%	4 1.8%	4 1.8%	5 5.7%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%
労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	17 1.4%	1 2.6%	2 2.4%	2 1.6%	5 2.3%	1 0.5%	3 3.4%	2 1.9%	1 0.6%	0 0.0%
公民館	7 0.6%	0 0.0%	1 1.2%	2 1.6%	1 0.5%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%
共生社会の充実・バラハートちょうふの取組	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(無効回答)	245 20.5%	3 7.9%	9 11.0%	20 16.0%	26 11.9%	44 20.0%	14 15.9%	23 21.3%	47 26.6%	52 41.6%

(上段：実数（人），下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：